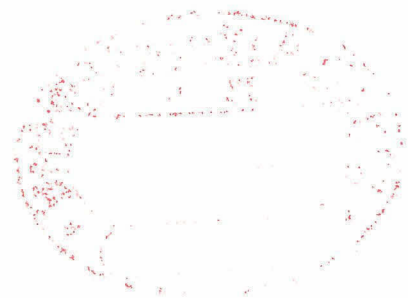


豊後國田染荘の調査

II

大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館 報告書第6集

1987



例 言

1. 本書は、大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館が、昭和56年度より行なっている国庫補助事業「国東半島荘園村落遺跡詳細分布調査」の報告書第2集である。
2. 調査対象地域は、宇佐宮領豊後国田染荘の故地であった豊後高田市の大字嶺崎・真中・平野・上野・相原・池部・落である。
3. 本書の編集は海老澤 衷がたった。
4. 本書執筆は
 - I 海老澤 衷
 - II 1 海老澤 衷
 - 2 海老澤 衷
 - 3 山田 拓伸
 - 4 久恒 章子が担当した
5. 渡辺澄夫編『豊後国田染荘・田原別符史料』（別府大学図書館 1985年）はこの報告書と密接な関連を有し、引用の際には『田染荘史料』と略称した。
6. 附図の作成にあたっては、
 - 1 真野 和夫
 - 2 渡辺 文雄
 - 3 甲斐 忠彦
 - 4 出田 和久
 - 5～13 久恒 章子が担当し、川島 東子が協力した。
7. （附）豊後国田染組村々絵図については『国東半島荘園村落遺跡詳細分布調査概報 豊後国田染荘II』（大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館1984年）を参照のこと。

目 次

I 調査の目的・方法および経過	1
1 調査の目的	1
2 調査団の構成	1
3 調査の方法	1
4 調査経過の概要	1
II 調査の成果	3
1 文献資料からみた田染	3
<1> 実名・法名索引	4
<2> 通称・官途名索引	11
<3> 有姓無名索引	17
2 地名資料からみた田染	19
(1) 近代の地名	19
(2) 中世史料に見える名・耕地・屋敷	26
3 近世の墓地と墓碑	33
4 明治21年土地利用図と小字境界図	53
(附) 豊後国田染組村々絵図	59

附 図 目 次

- 1 田染地域小字境界図 (1:10,000)
- 2 田染地域の寺社・城館と石造文化財 (1:10,000)
- 3 田染地域灌漑概況図 (1:10,000)
- 4 村落景観復原図 (元禄2年村絵図による)(1:10,000)
- 5 路地区灌漑詳細図 (1:2,000)
- 6 嶺崎地区灌漑詳細図其ノ一 (1:2,000)
- 7 嶺崎地区灌漑詳細図其ノ二 (1:2,000)
- 8 嶺崎地区灌漑詳細図其ノ三 (1:2,000)
- 9 嶺崎地区灌漑詳細図其ノ四 (1:2,000)
- 10 戸原地区灌漑詳細図 (1:2,000)
- 11 大曲地区灌漑詳細図其ノ一 (1:2,000)
- 12 大曲地区灌漑詳細図其ノ二 (1:2,000)
- 13 熊野地区灌漑詳細図 (1:2,000)

I 調査の目的・方法および経過

1 調査の目的

大分県豊後高田市田染地区は、宇佐八幡宮のいわゆる「本御荘十八箇所」のひとつである田染荘の跡として知られている。この地域については「永弘文書」等に多くの中世史料があり、現地もまた往時の状況をよく残していて、荘園村落遺跡としてもきわめて注目すべき地域である。

このような田染地区にも、圃場整備事業が計画され、すでに一部で実施段階に入っている。この調査は、このような事態に対応するため、田染地区の荘園村落の復元的調査を行い、その遺跡としての価値を明らかにし、もって遺跡保存等の資料とするものである。

いうまでもなく、荘園村落の遺跡と遺構は、例えば、現在の集落や耕地の下に、埋蔵された状態でのみ存在するわけではない。我々の前にある村落の家屋敷、耕地の畔や土手、井堰や井路、墓地や堂宇等が、そのまま荘園村落の遺構である場合も考えておかなねばならない。またこれらの遺構は、単純に荘園制下の遺跡として、前後の時代の遺跡と分離されて存在することは少ない。そもそも我々の前にある景観としての村落そのものが、その村の歴史の全体を証言する〈遺跡〉である可能性が大きいのである。従って荘園村落の復元的調査はその地域の村落史の全体を視野に入れて進められなければならない。またその遺跡としての価値を正しく把握するためには、考古学的分布調査に加えて、歴史、地理、民俗等の関連諸科学の協力が必要となる。そのいずれを欠いても、遺跡としての正確な把握は難しいという事情がある。

この調査では、こうした点をふまえ、考古学的分布調査を中心として、関連諸分野の調査員による総合的調査をめざすこととした。

また調査のテーマも、田染荘の復元的調査という点にとどまらず、地域の現状が〈村落の遺跡〉としてどれだけの価値をもつのかという点に重点を置いた。現地の調査活動の主力が、現状の記録という点に注がれたのもこのためである。

昭和53年10月1日の地方史研究全国大会において、「圃場整備事業に対する宣言」が出され、圃場整備にかかる水田そのものの記録保存について多角的な調査の必要性が強く訴えられた。現在では、これらの水田を中心とする条里制や荘園村落に関する遺跡は「広域水田遺跡」と総称されている。広域水田遺跡の調査と保存については、模索段階にあり、今回の調査が、その一助となることを願うものである。

2 調査団の構成

61年度新たに次の1名が調査員に加わった。

久恒章子 大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館嘱託

3 調査の方法

『豊後国田染荘の調査 I』参照。

4 調査経過の概要

6月6日打ち合せ会。『豊後国田染荘の調査 II』の内容等について協議。6月7日午前10時よりパ

ネルディスカッション「荘園村落遺跡の調査と保存」を開催。渡辺澄夫「荘園史研究史上における田染荘」、八賀晋「古代の条里制と水田開発」、後藤宗俊「広域水田遺跡の調査と保存」の報告があり、調査関係者のほか報道関係者を含めて討論が行なわれた。6月7日午後1時より公開シンポジウム「中世のムラを歩く」を開催。石井進「田染荘を歩く」、服部英雄「現地調査の方法による荘園史研究―用事を素材として―」があり、210名の参加者を得て熱心な討議が行なわれた。以上の内容については当館発行の『研究紀要第3集 特集・荘園村落遺跡の調査と保存』に収録される。6月中旬より補充調査を行ない、3月31日『豊後国田染荘の調査 II』を刊行。

II 調査の成果

1 文献資料からみた田染

ここでは、田染荘にかかわった人物を『田染荘史料』から抽出して示した。索引の形にしたので、大方の御利用を望むものである。

凡 例

- 1 人名は、①実名・法名 ②通称（あるいは一般の男女子名）・官途名 ③有姓無名、に分けて収録した。
- 2 女子名は別に設けず、それぞれの項に収録した。
- 3 官途名は、位階、社寺の位・職は除いた。
- 4 ②は本史料中に散見されるもののみで、前任や途中の変化は共通項だけにとどめた。
- 5 配列については、①漢音訓み五十音順、②③は五十音順とした（同音漢字の場合は画順）。
- 6 数字は『田染荘史料』の文書番号である。
- 7 本索引は若干史料中の人名比定と相違するものもあるが了承されたい。
- 8 重行／幸とあるのは同一人物が「重行」・「重幸」として史料上にあらわれることを示す。

漢 音 索 引

あ 安
い 惟 維 一
う 宇
え 永 栄 影 益 円 延 遠
か 家 鑑 覚 観
き 其 基 義 吉 久 休 宮 居 郷 興
け 桂 経 景 慶 玄 建 堅 元 言 嚴
こ 公 弘 広 光 行 幸 高 康 教 綱 国
さ 佐
し 氏 時 嗣 資 実 室 手 秀 寿 俊 春 諸 尚 昌 昇 常 紹 勝 種 繩 息
職 心 信 神 親 随
せ 正 西 性 政 浄 清 盛 聖 寂 仙 帖 宣 専 然
そ 祖 宗 則 尊

た 泰 内
ち 治 智 仲 著 忠 長 重 朝 澄 直 鎮
て 定 貞
と 通 統 道 能
は 範 繁 満
ひ 妙
ふ 豊
ほ 邦 奉 房 法 宝 保 蓬 本
め 明
ゆ 友 右 有 祐 融
よ 養
ら 頼
り 利 隆 了 良 竜
れ 蓮

<1> 実名・法名索引

あ

安義 (大佐井)	432・433	永弘 (佐保)	295・445
安弘	362	永氏	101
安守 (宇佐)	89	永親 (伊美)	153・155
		永朝 (令官)	182
		永範 (藤原)	3
		永輔 (令官)	309・328
		永輔	146・263
		永武	182
		永房 (令官)	256・302
		永明	146
		永りう	419
		栄見 (田染)	365・403・404・405・409・439・ 452・453・455・458・462・467
		栄綱	239
		栄佐 (永弘)	252・278・279・283・285・297・ 298・300・301・308・326・328・ 331・335・336・337・338・340・ 341・342・343・346・347・348・ 352・353・355・356・357・358・ 359・361・370・371・374・375・ 382・396・398・522
		栄忠 (田染)	115・117・300・324・328・329・ 333・339・342・343・344・347・ 348・350・351・352・353・357・

い

惟永 (永正) 281
惟栄 (野田) 222・223
惟久 (永正) 410・411・412・460
惟匡 (松崎) 534・548
惟氏 (真玉) 61・63・65
惟世 (永正) 232・246・305・411・412
惟定 (永正) 531・532・540・542・548
惟重 (永正) 228・232・233・315・322・448
惟平 205
維宗 (忍海) 174
一曇 → 吉弘氏輔

う

宇輔 (益永) 80・82・83・445

え

永家 146
永基 88
永兼 172

358・359・361・363・364・365・
366・367・368・370・372・373・
374・376・377・378・379・382・
383・384・386・387・388・390・
406・407・409・410・411・414・
416・425・429・431・432・436・
437・438・439・442・445・447・
474・479・480・481・489・522
栄重 (田染) 9・175・217・226・227・228・229・
231・237・239・241・245・251・
252・253・255・267・278・281・
282・283・293・294・295・301・
305・311・312・318・323・324・
326・344・360・373・384・411・
412
栄定 13・263
栄定 → 田染栄忠
栄輔 (益永) 563
影光 205
益輔 56
円位 40
延行 283
円盛 (間戸寺) 542
遠輔 101

か

家氏 139・140
家実 (近衛) 13
家忠 118
家輔 182
鑑和 (竹田津) 561
鑑介 555
鑑基 (奈多) 558・559・563・564・565・567・
571・572・573・574・575・576・
578・579・580・584・585
鑑秀 (首藤) 561
鑑述 (清田) 557・560・562
鑑生 (田北) 536・538・544・547・553・557・
558・560
鑑成 (立石) 579
鑑盛 (木付) 535・536・537・546・559
鑑速 (白杵) 553・557・560
鑑泰 549
鑑理 (吉弘) 553・557・560
覚妙 31
覚妙 203
観仏 68

き

其阿 → 宇佐宣基

基弘 (宇佐) 45・46・50・54
基守 55
基平 (宇佐) 21
基輔 3
義鑑 (大友) 517・528・545
義輝 (足利) 549
義時 (北条) 9
義詮 (足利) 171・187
義長 (大友) 583
義統 (大友) 589・595・596・598・601
吉基 (宇佐) 21・26・59・64・65・66・72・74・
169
吉近 14
吉兼カ 303
吉親 (峯) 64・66・73・77
吉増 → 永正惟重
久重 (香志田) 130・152・157・159・163・194・
195・218・263
久重 (田染) 237・277・319・320・345・401・
402・413
久澄 (尾崎) 62
久並 (永野) 323
久明親王 48
休円 (吉弘) 544・573・574・578・579
宮義 101
宮久 146
宮雄 168・256
宮氏 (今永) 365・409・439
宮政 101
宮盛 (今永) 256
宮増 256・300・302・309・328・348・
451
宮比 (祝) 101・146・182
居輔 182
郷輔 164
興濟 122

け

桂林院大僧正 6
経久 543
経清 (波多野) 119
景家 (懸樋) 127・129・445
景行天皇 1
景幸 (懸樋) 127・129・133・445
景親 86・88
景春/泰 (小田原) 42
慶増 (曾祢崎) 33・42・68
玄熊 205
建栄 (田染) 529・530・531・532・536・541・
545・547・550・551・553・554・

557・558・560・561・562・564・
 565・567・569・570・572・573・
 574・575・577・578・579・580・
 583・586・587
 建是 568
 堅永 (小佐井) 480・481・483
 元実 73
 元清 52
 言広 34
 言重 (長野) 307
 巖成 74
 二
 公永 443
 公和 (出光) 123・144
 公貫 (田染) 116
 公居 (宮成) 181・194・204
 公近 32
 公経 (益永) 182
 公兼 (到津) 300
 公憲 (到津) 563
 公公 144・146
 公弘 (到津) 217・309・356・436・439
 公幸 (宮成) 451・452・484
 公行 443
 公高 (字佐) 17・18・451
 公綱 (字佐) 254
 公佐 (宮成) 279・451
 公次 (字佐) 266
 公春 (岩根) 41・46・53
 公順 18
 公將 (宮成) 163
 公世 (宮成) 57・59・61・62・63・64・65・66・
 68・72・73・74・81・163
 公世 (安心院) 299
 公世 (八坂) 343
 公則 (宮成) 238・257・260・263・265・273・
 299・309
 公内 (宮成) 182・445
 公持 18
 公仲 8・10
 公忠 (宮成) 409
 公澄 (到津) 563
 公通 (字佐) 18
 公敦 (宮成) 55・163
 公浦 (吉松) 147・148・150・162・445
 公保 (岩根) 443・484
 公明 (九条) 111・112
 公右 (宮成) 163
 公有 (字佐) 34・35・37・38

公連 (到津) 163
 弘護 (大内) 417
 広増 15・28・29・30
 広彌 205
 光々→ 宮成光將
 光継 (藤原) 111・112
 光守 (高倉) 105・106・111・112
 光俊 (藤原) 111・112
 光世 (永弘) 229・234・248・256・257・260・
 261・263・265・269・273・286・
 289・296・297・309・348・384
 光長 (藤原) 3
 行信 47・50・51・54・68・79・93・146
 行仁 (綿貫) 33
 行忠 (二階堂) 33・42
 行妙 (永正) 203
 行輔 (字佐) 22・27
 行/幸実 (調) 118・174
 幸慶 205
 高直 131
 高輔 365
 高輔 182
 高理 (田北) 399
 高口 263
 康直 104
 教弘 (大内) 414・445
 教致 (広瀬) 338・339
 綱重 (秋吉) 526・527・531・532・535・538・
 539・541・544・551
 国綱 (伊田) 503
 さ
 佐忠 168
 し
 氏安 247
 氏栄 (永弘) 3
 氏郷 (吉弘) 198・211・212・216・295
 氏経 (斯波) 187
 氏康カ (小串) 266
 氏次 295
 氏時 (大友) 173・178・179・180・188・189・
 190・191
 氏世 (小田原) 211・213・219・220・221・226・
 445
 氏泰 (大友) 142・145・151・152・154・155・
 160・161・445
 氏忠 (田原) 404
 氏直 (吉弘) 571・576

氏伝 (石合) 258・363・382・386・387・389・
 445
 氏通 (岩永) 470
 氏輔 (吉弘) 198・199・200・201・202
 氏輔 (永弘) 370・371・380・396・400・417・
 418・420・421・422・423・424・
 434・435・436・437・438・444・
 451・456・457・474・486・488・
 489・490・503・507・515・518・
 522
 氏輔 (小袋) 439
 時久 (久保) 270・272・274・275・276
 時政 (北条) 7
 時宗 (北条) 33
 時忠 168
 時房 (北条) 12
 嗣輔 (益永) 3
 資辰 (有永) 568
 資忠 243
 資道カ 224
 資能 (少武) 20
 資頼カ (少武) 9
 実世 57
 室妙 197
 手輔 (山香) 146・256・263
 秀悦 205
 秀基 → 宇佐宣基
 秀弘 445
 秀算 122
 秀次 (古庄) 408
 秀直 (重吉) 329・333・334・390・445
 秀能 (小田原) 338・339・342・343
 寿成 314
 寿玄 (庄) 309
 俊輔 22・25
 春基 (字佐) 34・35・36・37・38・41・48・49・
 51・52・55・84・176
 諸吉 302
 諸弘 (字名瀬) 300・301・302
 諸武 182
 尚基 115・116
 昌基 3
 昌綱 (秋吉) 440・441・454
 昌佐 (佐田) 359・445
 昌秀 (飯田) 352・353・358・445
 昌勝 224
 昌世 (迫田) 445・494
 昌重 (糸永) 8・244
 昌輔 3
 昇蓮 21・22

常清 (津久見) 525
 常方 215
 紹慶 (帯刀) 590・591・592・593
 勝輔 146
 種時 (北条) 78・79・445
 縄重 (吉弘) 414・445
 息雲 (田染) 546・591・592・593
 息寿 427
 職政 (中原) 111・112
 心遠 205
 心楽軒 518
 信戒 → 能重
 信覚 (源) 57・59・67
 信景 (宇都宮) 20
 信賢 101
 信道 101
 神高 192
 信昌 52
 神川 225
 親栄/景 80・445
 親家 (田原) 458・495・508・590・594
 親貫 (田原) 596・597
 親久 247
 親景 (寒田) 461・463・464・466・467・468・
 473・475・476・477・480・481・
 483・485・486・488
 親兼 247
 親賢 (田原) 563・568・569・570・576・598
 親広 (田原) 210・222
 親幸 259・294
 親幸 (田原) 257・258・306
 親綱 (大友) 286・292・293
 親氏 (俣見) 338・339
 親次 (志賀) 601
 親時 (大友) 48
 親実 247
 親秀 (大友) 8
 親述 (田原) 507・515・516
 親昌 (長田) 311
 親昌 (長野) 317・318・363・364・365・366・
 369・382・386・388・445
 親照 (大神) 491・492・493・505・509・511・
 512・513
 親統 (久保) 520
 親職 445
 親身 (小田カ) 256・302・309
 親世 (大友) 207・295
 親成カ (重吉) 287・346
 親清 (市河) 445
 親清 383

親千 (久保) 317・318・342・343・372・373・
374・376・377・378・379・380・
381・383・384・394・445
親宣 (得永) 463・471・491・498・499
親増 (田原) 311・312・313・314
親治 (大友) 482・487
親忠カ 102
親忠 (田北) 523・524
親貞 (田原) 258
親敦 (大友) 517
親繁 (大友) 400・464・466
親武 (田原) 597
親富 (豊饒) 493・505・511
親房 (田原) 415・416
親隆 (大友) 306・307
親林 (林) 338・339

す
隨時 (北条) 58・85・445

せ
正義 146
正継 (田原) 208・219
正慧 205
正幸 (永正) 220・221・226・230・231・232・
233・253・445・494
正順 205
正勝 182
正信 (田原カ) 63・70
正清 (波多) 109
正盛 (井俣) 466
正仙 → 田原直平
正全 → 大友泰能
正曇 → 田原直貞
正法 (尼) 49
西願 (安藤) 72
西妙 203
西法 → 峯吉親
西法 → 宇佐春基
性玄 (田染) 237
政頭 (北条) 57・59・60・61・62・63・64・65・
66・67・68・69・71・72・74・76・
445
政弘 (大内) 359・417・418・420
政親 (大友) 460・479・480・481・583
政村 (北条) 20
政輔 (益永) 254・256
政頼 (小田) 302・328
浄一 205
浄源 204

清永 52
清言 (金光) 101・146
清幸 146
清常 52
清道 (金光カ) 146
清輔 98
清名 146
清房 52
盛吉 (末吉) 302
盛久 86
盛彦 192
盛勝 (江上) 101
盛重 36・37・38
盛直 (田原) 105・109・111・112・113・114・
134・136・137・138・141・144・
146・151・153・154・156・158・
164
盛法 (成鎮カ) 146
盛理 (佐田) 519
盛口 146
聖致 501
聖芳 (盛福寺) 350・351
寂妙 (小田原) 188
寂仏 → 小田原景春/泰
仙正坊 325
怙正 (永正) 440・450・463・500
宣基 92・109・111・112・113・114・
116・117・119・124・130・135・
147・148・152・156・157・158・
159・160・161・164・178・180・
182・183・185・189・190・191
宣村 178・180・189・190・191
宣輔 182
専慶 303
然姓 122

そ
祖悦 (永正) 291・459・461・466・468・471・
473・477
宗安 (小田原) 445
宗因 241
宗栄 (田染) 491・492・506・510・512・514・
518・529・530・581・582
宗歆 (吉岡) 586
宗経 (宇野) 219・220・221・224・445
宗源 (宇野) 208
宗心 (大聖寺) 489
宗忍 (小田原) 57・59・67・74・169
宗宣 (岩部) 211・212

宗甫 (都甲) 589
宗輔 (小袋) 360・365・439
宗頼 (宇都宮) 134・136・137・138・155・156・
157・158・159・160・161・445
宗麟 (大友) 566
則能 (小田原) 311
尊氏 (足利) 130・170・171
尊晴 53
尊頼 (平林) 520・521・523・524

た
泰基 46・50
泰吉 64・73
泰郷 (小田原) 64・71・73・76
泰能 (大友) 138
泰輔 302
内重 (香志田) 163・178・180・184・189・190・
191・194

ち
治景 (雄城) 547・553・554・555・556・560
治重 (古庄) 506・510・514・576・581・582
智円 (古庄) 295・445
智覚 (狭間) 61・65・69・78
智尊 231
仲実 (調) 174
仲輔 146
忠基 60・62・63・64・66・68・71・72・
73・76・77・79・82・84・85・91・
123・185・497
忠景 (佐田) 421・423
忠広 13
忠正 (田原) 395・404・456・457・462・470・
478
忠輔 (益永) 9・13
著利 (都甲) 399
長景 (臼杵) 525・528
長兼 113・445
長堅 (のはる) 533
長時 (北条) 20
長嗣 61
長増 (吉岡) 553・557・560
長方 (古庄) 555・557・560・562・576・577・
578・579・581
重家 139・140
重基 (宇佐) 34・35・36・37・41・55・497
重久 271
重興 101
重継 101・146
重弘 549

重行 61
重行/幸(永弘) 449・456・457・503・516・518・
519・522
重康 100
重国 256
重国 (杉) 359・361・421・445
重次 (藤原) 325
重昌 (田染) 344
重種 360
重親 (杉) 348
重世 (永弘) 345・347・348・398
重世 → 永弘重輔
重成 302
重成 (永弘) 362
重朝 235
重能 (上杉) 147・148・445
重輔 (永弘) 172・181・182・212・213・214・
216・217・219・220・221・222・
224・226・229・234・235・236・
237・248・253・256・263・353・
376・402・494
重房 (重安) 373
重茂/高 445
重隆 (杉) 422・425・428
朝定 (上杉) 151・152・154・445
澄永 (有弘) 578・580
直義 (足利) 133・171
直広 (豊饒) 258・329・333・334・363・377・
382・386・387・390・391・392・
393・445
直氏 (一色) 445
直重 (重安) 218・250・257・258・260・261・
263・265・269・273・299・302・
345・355・376
直貞 (田原) 126・127・129・130・445
直冬 (足利) 170・171
直輔 (吉弘) 208・219・220・221・222・445
直平 (田原) 49・100・102・104・115・116・
117・141・146・151・153・164・
201・203・204・207・210
鎮久 (上野) 598
鎮光 (古庄) 567・568・569・570・571・572・
573・574・575・576・578・579・
580
鎮富 (田染) 584・585・587・588・590・593・
599・600
鎮量 (久保) 595

て
定円 (森) 122

定基 (宇佐) 48・49・51・59・61・63・65・67・
 69・72・74・75・77・78・80・83・
 87・91・92・93・109・123・127・
 133・182
 定基 (宇佐) 134・136・137・138・141・144・
 151・153・164
 定賢 205
 定勝 (生石) 294・445
 定成カ 38
 定輔 163
 定祐 244
 貞和 (小田) 111・112
 貞家 (吉良) 132・141
 貞郷 (竈門) 156・157・158・159・160・161・
 180・445
 貞広 (田原) 94・95・96・128・129・132・133・
 139・140・143・445
 貞綱 (源藤) 14・26
 貞載 (大友) 112・114・445
 貞時 (北条) 48
 貞俊 (右田) 358・445
 貞世 (今川) 215・445・519
 貞宗 (大友) 69・75・78・79・445
 貞泰 61・66
 貞治 (田原) 134・136・137・138・141・146・
 151・153・164
 貞重 (藤原) 106
 と
 通永 (立石) 274・275
 通幸 (曾祢崎) 84
 通秀 (曾祢崎) 173
 通昌 97
 通定 (友枝) 445
 通定 (曾祢崎) 60・68・76・84・85・94・95・96・
 118・125・126・129・133・134・
 143・146・445
 通輔 (益永) 309・352・353・354・355
 統運 599
 統富 → 田染鎮富
 道安
 道永 (益永) 365・409
 道円 (八坂) 134・136・137・138・164
 道嘉 507
 道海 (八坂) 62・64・66・68・71・72・73・76・
 86
 道鑑 205
 道繼 (河野) 142・145
 道慶 (曾祢崎) 68
 道賢 (永松) 129・133・445

道玄 139
 道秀 410
 道俊 26
 道心 205
 道忍 → 大友頼泰
 道西 → 曾祢崎通定
 道妙 (秋吉) 315
 道妙 (倉成) 112
 道仏 (小田原) 47・48
 道平 (二条) 106
 道猷 → 一色範氏
 能重 31・47・62・68・73
 は
 範国 (岡崎) 111・112
 範氏 (一色) 143
 繁栄 (本多) 383・481
 繁綱 (大津留) 480・481・483
 繁秀 (波多) 432・433
 繁正 (田原) 267・389・428・437・442・445・
 446・447・455・458・459・463・
 464・465・466・468・469・473・
 474・475・476・477・478・485
 繁直 (永留) 480・481・483
 繁貞 (竈門) 370・372・373・374・384・425・
 429・430・431・442・445・460
 繁通 (曾祢崎) 502
 満輔 256
 ひ
 妙円 → 香志田久重
 妙縁 122
 妙覚 122
 妙幸 (上嶋) 245
 妙心 122
 妙忍 205
 妙性 → 宇佐吉基
 妙斉 122
 妙仙 268
 妙蔵坊 244
 ふ
 豊宗 (真玉) 520
 ほ
 邦輔 8
 奉輔 (宇佐) 98・149・166
 房佐 (幡手カ) 302
 法光 → 田原盛直
 宝吉 205

宝掌 210
 宝心 291
 宝通 (安藤) 90
 宝妙 205
 保実 (永弘) 7
 保範 (永弘) 131・146・149・167・168
 保房 146
 蓬山 118
 本端 205
 め
 明守 (吉用) 101
 明秀 205
 明正 (小田) 101
 ゆ
 友輔 146
 右述 (本庄) 493・505・511
 右輔 (益永) 182
 有快 (植田) 189・190・191
 有寛 42
 祐賢 205
 祐秀 53
 祐禅 174・186
 融昭 (田原) 415・416
 よ
 養学院 325
 < 2 > 通称・官途名索引
 あ
 あいねうこせん 73
 あいます丸 73
 安芸守 (安藤) 389
 安芸守 → 安藤利尚
 い
 伊賀守 (萱嶋カ) 259
 伊賀守 (本庄) 428
 伊賀守 → 本庄右述
 伊賀亮 → 得永親宣
 伊賀入道 → 本多繁栄
 老岐中内左衛門 → 宇都宮信景
 伊三郎入道 51
 伊勢守 (曾祢崎) 292
 伊豆守 → 上杉重能
 伊豆守 → 古庄長方
 和泉守 (上野) 487

ら
 頼吉 (寒田) 343
 頼継 182
 頼元 (宇佐) 9
 頼尚 (少式) 143・171
 頼生 (宇佐) 50
 頼泰 (大友) 42
 頼朝 (源) 583
 り
 利尚 (安藤) 449
 利治 247
 利貞 (上野) 343・370・429・430・431
 利輔 162・166
 隆位 205
 隆資 (四条) 111・112
 了俊 → 今川貞世
 了曇 → 吉弘直輔
 良秀 205
 良勝 295
 良棟 122
 良夢 122
 竜綱 (永正) 448
 れ
 蓮秀 205
 蓮任 122
 蓮仏 74
 蓮法 122
 和泉守 (山下) 528
 和泉守 (真玉) 564・571
 和泉守 → 岩永氏通
 和泉□ → 井俣正盛
 市三郎 122
 一次郎入道 23・24・25
 因幡守 (田原) 220
 因幡守 → 大友親時
 因幡守 → 佐田忠景
 因幡守 → 北条貞時
 因幡太郎 (田原) 267
 因幡入道 → 佐田昌佐
 因幡入道 → 立石智尊
 因幡八郎 (田原) 226
 今房丸 (久保) 404
 弥五郎 → 小田原泰郷
 弥五郎 → 八坂道海

弥五郎 → 田染栄忠
弥五郎 → 田染栄重
弥五郎(田染) 383・385・388・391・433・445・
464・479・480・481・488・490
いや三郎 77
弥三郎 398
弥三郎(田原) 246・250
弥三郎 → 尾崎久澄
弥三郎 → 永弘栄佐
いや四郎 73
弥四郎 → 田原忠正
弥太郎 453
弥太郎(豊前) 125
弥太郎(田染) 298・308・316・322・340・428
弥太郎 → 宇佐奉輔
弥藤士 122
いや六郎 73
弥六 291
伊予入道 → 有弘澄永カ
石見守(小袋) 361・423
石見守 → 貞俊
石見守 → 俣見親氏
石見守 → 吉弘繩重
石見入道 → 飯田昌秀

う
右衛門(伊美) 404
右衛門三郎(田染) 180
右衛門三郎入道 → 尾崎行信
右衛門次郎(長野) 138
右衛門大夫(吉弘) 491
うくいす 73
うふたこせん 73
右馬頭 → 田原親實
右馬丞(吉弘) 428・485
右馬/馬次郎(長野) 43・58・86・91・122・134・136・
137・141・151・153・164
右馬助(重安) 372・373・374・384
右馬助 → 古庄治重
右馬助 → 古庄鎮光
馬二郎 → 宇佐定基
馬太郎入道 73
馬入道 → 源信覚

え
越後守 → 林親林
越前守(帯刀) 576
衛門九郎 280・316
衛門大夫 → 藤原実吉
衛門大郎 205

衛門次郎 76

お
大炊助(齊藤) 513
大炊助 → 貞重
大炊助 → 木村鑑盛
大炊助 → 久保親千
大炊助 → 永正惟世
おゝい入道 315
近江入道 → 田原親賢
大蔵左衛門入道 → 小田原宗安
大蔵左衛門入道 → 小田原宗忍
奥次郎大夫 279
おとあいこせん 73
おはま 73
織部助(疋田) 567・578
尾張入道(名越) 42

か
甲斐守 → 常方
加賀守(内田) 404
加賀守(幸野) 399
加賀守(渡辺) 596
勘解由次郎(高田) 212・216・219・220
主計允(長野) 596
上総(曾祢崎) 404
上総守(小俣) 597
上総守 → 永留繁直
上総介 → 北条政頼
上総入道 → 田原正継
かなはう丸 87
かめくそ 73
かめはう 73
掃部(秋吉) 398
掃部(安藤) 337
掃部 → 久保時久
掃部守 → 都甲著利
掃部蔵人 → 田原貞治
掃部允 → 景親
掃部助(石岡) 445
掃部助(吉弘) 578
掃部助入道 → 小田原道仏
掃部入道(上嶋) 243
掃部入道 → 帯刀紹慶
河内守 → 有永資辰

き
紀伊守(渡辺) 517
きくねん 225
形部四郎 205

形部大輔 → 大友氏時

く
くそほうし 73
くそ丸 104
宮内(木付) 465
宮内丞(大畠) 594
宮内丞(小袋) 445
宮内丞(古庄) 545・547
宮内少輔 269
宮内少輔(帯刀) 592
宮内少輔(中村) 600
宮内少輔 → 一色直氏
宮内少輔 → 木付鑑成
宮内二郎入道(大/長野)
久次郎(河野) 325
九郎 73
九郎 330
九郎(林) 404
九郎 → 重吉親成
九郎右衛門(中野)
蔵人 → 上野利貞
蔵人 → 寒田頼吉
蔵人頭 → 曾祢崎繁通
くわのうまる(いいつか)

け
けさと(倉成) 446
元阿/けんあみ 169・195
源右衛門(岡部) 458
源五郎 → 田染建栄
けん六(松尾) 73

こ
上野介(田原) 269・292
上野房 51
光房丸(香志田) 194
小観音六郎 51
小四郎 → 伊美永親
小次郎(竹田津) 141
小次郎(古庄) 404
小太郎 397
小太郎(紀) 205
五郎 73
五郎(尾崎) 62
五郎(久保) 255
五郎(田染) 180
五郎(古庄) 445
五郎(みね) 77
五らう三郎 92

五郎四郎(伊美) 113・114・445
五郎二郎 389
五郎大郎 205
五郎太郎 67・445
五郎入道(恵良) 75
五郎入道(賀来) 113・445
五郎入道(矢野) 142
五郎兵衛(川野) 325
五郎(江嶋) 22
権右衛門尉(宗像) 590
権三郎形部入道(田染) 22・23・24・25
権次郎(竈門) 255
権太郎 325

さ
左衛門九郎 304
左衛門五郎 → 八坂道海
左衛門三郎 453
左衛門三郎(長/永野) 169・195・203
左衛門三郎入道(久下) 445
左衛門少尉 → 親栄/景
左衛門少尉 → 言広
左衛門尉 → 岩部宗宣
左衛門尉 23・24
左衛門尉(宮) 37
左衛門尉 → 定成カ
左衛門尉 → 重康
左衛門尉 226
左衛門尉 → 佐保永弘
左衛門尉(中原) 53
左衛門尉(益永) 23
左衛門次郎 → 友枝通定
左衛門次郎入道(都甲) 88
左衛門大夫(都甲) 219・220・403・405・406・445
左衛門大夫(広瀬) 399
左衛門大夫 → 大神親照
左衛門入道(高田) 41
左衛門入道 → 行仁
相模守 → 北条時宗
相模守 → 北条時房
左近五郎 205・304
左近將監 → 良重
左近將監(久居) 84
左近將監(成松) 445
左近將監 → 大友貞載
左近將監 → 大友貞宗
左近將監 → 田原直平
左近將監 → 北条種時
左近將監 → 吉弘氏郷
左近次郎 → (田原カ) 正信

左近大夫 → 田原親武
左京(永正) 246・250
左介 → 上野鎮久
佐渡守(田染) 347・398・413
三郎 92
三郎(飯塚) 51
三郎(いつか) 184
三郎(久土知) 576・577
三郎けとうとの 11
三郎検校(なかの) 236
三郎左衛門尉 → 懸樋景幸
三郎次郎(高田) 219・220・221
さふらうたゆ 24
三郎兵[] → 田北親忠
三郎[](安岐) 23
左馬助(古庄) 509
左馬助 → 津久見常清
左馬助 → 田原繁正

し

式部 244
式部 375
しきふ尉 永正氏輔
式部丞(永弘) 515
式部丞 → 大友氏泰
式部丞 → 大友親世
式部丞 → 永弘氏輔
式部少輔(田染) 400
式部少輔(渡辺) 566
七郎左衛門(ほうきゅうし) 434・435
七郎太郎 397
信濃守 → 藤原光繼
信濃守入道 → 古庄智門
信濃判官入道 → 二階堂行忠
治部四郎入道 139
十郎 73・205
十郎左衛門三郎 → 曾祢崎通定
十郎左衛門尉 → 曾祢崎通幸
十郎二郎 280
十郎次郎 389
修理亮(倉成) 134・136・137・138・141・151・153・164
將監 → 平林尊頼
四郎 546
四郎 → 田染鎮富
四郎左衛門(小田原) → 智覚
四郎左衛門入道 → 狭間智覚
四郎左衛門入道 74
四郎三郎 576
四郎二郎 389

四郎二[] 575
四郎次郎入道 → 永松道賢
四郎入道(都甲) 75・118
二郎 397・410
次郎(秋吉) 398
次郎(おかのや) 446
次郎(田原) 226・243・253
次郎(古庄) 14
次郎(益永) 444
次郎(吉用) 211
二らう → 重久
次郎 → 小田原氏世
次郎 → 田染久重
次郎 → 永弘重成
次郎左衛門尉(下野) 124
二郎三郎 92
二郎大郎入道 73
次郎入道(都甲) 164
次郎入道 → 小田原道仏
二郎丸(宇佐) 168
次郎[] → 首藤鑑秀
新右衛門 451
しんさへもん → 永正惟重
新左衛門 → 佐保永弘
新左衛門 → 永正帖正
新左衛門尉(長野) 198
新左衛門尉(堀) 521
神左衛門尉 → 田染宗栄
新三郎入道(安心院) 445
進士兵衛入道(野田) 142
しん大郎入道(尾崎) 73
新兵衛尉 → 野田惟栄

す

周防入道(小篠) 211・212・216
すけ三郎(なかの) 228
すけ三郎(益永) 289
助三郎 → 曾祢崎通秀
助四郎(曾祢崎) 214
助二郎(田染) 323・402
助太郎 → 永弘重世
助入道(小田原) 118
図書 → 田染宗忠
図書允/助 → 田染宗重
駿河守 → 秋吉綱重
駿河守 → 秋吉昌綱

せ

清九郎 284
清五郎 284・304

摂津守 → 波多繁秀

そ
惣四郎 325

た

大膳(佐智) 279
大膳亮 → 杉重親
たうしう(永正) 349
たちまの守 97
但馬守(大島) 594
ためめ 218
太郎 122
太郎(岡部) 259
太郎(岡屋) 404
太郎(永弘) 419
太郎(丹生) 404
太郎(渡辺) 601
太郎 → 香志田内重
太郎三郎 330
太郎三郎(渡辺) 528
太郎入たう(はかへ) 73
太郎入道(安藤) 89
太郎入道 → 安藤宝通
弾正(小田原) 250
弾正忠(丹生) 404
弾正忠(野上) 513
弾正忠(平林) 482・483
弾正忠 → 小田原秀能
弾正忠 → 豊饒親富
弾正忠 → 豊饒直弘
弾正忠入道 → 小田原寂妙
丹波守 → 古庄秀次

ち

主税助(丹生) 446・487
忠兵衛尉 → 真玉豊宗
千代一御れう 448
長右衛門(財前) 325
長右衛門尉(大島) 594

つ

つしま 397
対馬守 → 公世(宮成)
つしま入道(都甲) 428
鶴亀丸(河野) 178・188・189・190・191
つるくそ 73
鶴若御料人 529

と

藤右衛門尉 → 田原親家
藤五入道 → 香志田久重
藤左衛門 → 佐田盛理
藤左衛門(帯刀) 223・492
とう三郎入道(永正) 135
藤七(帯刀) 506
藤七郎 533
遠江守 → 北条随時
遠江入道 → 生石定勝
徳次郎 50
徳次郎(三野) 458
得太郎 72・73
土佐守 → 竈門繁貞
土佐守 → 古庄長方
土佐守 → 古庄治重
利根二郎 → 大友親秀
舎人允 → 久保鎮量
刀一丸 → 田染助二郎
とらはう丸 73

な

中務(佐知) 238
中務丞(秋吉) 581・582
中務丞(都甲) 211・212・216
中務丞 → のはる長堅
中務大輔 → 田原親述
長門守 → 永正惟定
長門入道 → 都甲宗甫
長門入道 → 永正正幸
長門入道 → 吉弘休円

は

八郎 316
八郎(田原) 253
八郎 → 田染重昌
八郎 → 峯吉親
八郎五郎(田染) 459・460
八郎さへもん(本庄) 295
八郎四郎 280
八郎二郎(永正) 496

ひ

彦右[](渡辺) 325
彦九郎(松尾) 201・202・203・204・207・213
彦五郎入道 → 八坂道円
彦三郎 324
彦三郎入道 → 八坂道円
彦七郎(永正) 531・533・538・540・541・544
彦四郎 534・535・538・539

彦六入道(豊前カ) 124
 肥前守(益永) 451
 肥前権守入道(日田) 118
 肥前次郎(日田) 141
 備前介 → 宇都宮宗頼
 常陸介 → 大津留繁綱
 日向入道(内尾) 414
 ひょうへ二郎 ひらもと 497
 兵衛次郎 → 行妙カ
 兵衛二郎 → 永正行妙
 兵衛太郎 51
 兵庫助 → 永正惟久
 兵部少輔 → 石合氏伝
 兵部少輔 → 寒田親景
 備後(朽網) 342・346
 備後守 → 田原親増
 備後入道(小田原) 245
 備後入道(古庄) 219・220・445

ふ

福松(田染) 283
 豊前守 → 益永栄輔
 豊前蔵人次郎入道 → 田原盛直
 豊前左近蔵人 → 田原直平
 豊前六郎蔵人 → 田原貞直
 文蔵 325

へ

平内太郎 267
 平八 267
 遍光丸(曾祢崎) 143

ほ

伯耆守 → 重吉秀直
 伯耆守 → 杉重国
 伯耆守 → 長田親昌
 伯耆守 → 長野親昌
 伯耆守 → 長野言重
 伯耆守 → 八坂 世
 伯耆(長カ賀) 404
 ほうめう(永正) 193

ま

孫五郎(立石) 145
 まこ三郎 92・183
 孫三郎 → 宇佐宣基
 孫三郎 576・577
 まこ三郎入たう 130
 孫四郎 → 河野道継
 孫四郎 → 重安重房

孫四郎 → 真玉惟氏
 孫太郎左衛門尉 → 竈門貞郷
 孫六 → 宇佐忠基
 孫六(大/長野) 86
 まこ六 183
 益寿丸 36
 又五郎 503
 又五郎(あらひら) 77
 又三郎 73
 又三郎(永正) 541・544
 又四郎 97
 又二郎 92
 又二郎 280
 又二郎(しもつけ) 179
 又二郎 → 小田原景春/泰
 又次郎(真玉) 118
 又二郎入道 54
 又太郎 454
 又太郎(久保) 576
 又太郎 → 重安直重
 又太郎左衛門尉 51
 松若丸(田染) 588
 まん五郎 453
 まん二郎 271

み

ミかわ 73
 三河守(長野) 504
 三河守 → 杉重隆
 美濃守(綾部) 564・565
 美濃守(広瀬) 403・405・406
 美濃守 → 大佐井安義
 美濃守 → 広瀬教致
 宮乙/一丸 324・327・360・412
 みんふ 283
 民部左衛門尉 → 懸樋景家
 民部少輔 451
 民部少輔(真玉) 552・573・574・576・583
 民部少輔 → 親忠カ
 民部少輔 → 臼杵長景
 民部入道(伊勢) 118
 みんふの少輔(しんの) 116・117

む

武蔵守 → 高師直
 武蔵守 → 北条長時
 武蔵三郎(深水) 445
 陸奥守 → 北条政村
 陸奥守 → 北条義時

や

山城(岐部) 342
 山城守 403
 山城守(松田) 493
 山城守 → 久保親統
 大和守 533
 大和守(伊美) 404
 大和守(田北) 528
 大和守(渡辺) 187
 大和守 → 小佐井堅永
 大和守 → 田北高理

よ

米持丸(宇佐) 56

ろ

六郎 504

<3> 有姓無名索引

あ

赤山 533・540
 秋吉 564・565・572・576
 安部 3

い

一万田 414
 糸永 140

う

宇佐 25・31・126・300・439
 宇佐氏女 → 田染性玄
 宇佐氏女 51
 宇佐太子 73

お

大内 358・522
 大神氏女 36・37・38・45・46

き

木付 208
 岐部 414

く

久保 246・250・315
 倉成 416

こ

小田原 392・393
 惟宗 3・13

六郎(いいつか) 73
 六郎(伊美) 334・482・483
 六郎(永正) 282・322・411・425・427・442・460・471・472・499

六郎 → 田原親幸
 六郎右衛門 → 竹田津鑑和
 六郎蔵人(渡辺) 171
 六郎さへもん 337・350・397
 六郎三郎 205
 六郎三郎 → 永正惟永
 六郎大夫(田中) 22・24・25
 六郎太郎 284

わ

若狭(古庄) 447
 若狭守(田原) 198
 若狭入道 → 庄寿玄

さ

さう田 195
 佐田 451
 佐保 217・218
 寒田 445

し

新庄 250

す

末永 246・250・271・344・397

そ

曾祢崎 239・250・446

た

平 3・13・124
 田染 120・135・276・392・393・394・445・465・469・477・478・484・485・493・495・498・499・501・502・508・513・520・521・527・534・535・537・544・548・549・555・559
 田部氏女 99・123・128・132・133・134・136・137・138・141・144・145・146・151・153・155・163・164・165・170・182・184・185
 田原 195・302

たん	246・250	藤原	ふ	3・9・13・14・325
		藤原氏女		68・79
利行	と 246・250	藤原太子		26
		古庄		238・250
中原 永弘	な 9 270・272・274・275・277・313・ 316・317・319・321・429・445・ 475・476・478	俣見	ま	446
			み	8
丹生	に 344・446	源 三善		111・112
			も	259
秦氏女 林	は 152・157・159 246・250	森	よ	250・535
		吉弘		

2 地名資料からみた田染

はじめに

荘園村落を研究するにあたって、地名の調査は大きな比重を占めるが、その方法については模索段階にあると言えよう。田染荘の復原調査においても、まず最初に取り組んだのが、大字嶺崎における地名調査であった。その成果は、「文化財レポート（136） 豊後国田染荘の復原調査」（『日本歴史』393号 1981年2月）に収められている。この後、田染荘の荘域内にある7つの大字について、調査が進み、本報告書では、合計して416ヵ所の小字と442ヵ所の小字内地名を収録した。地名採取の方法は、まだ完璧とは言えないが、ここでは大字嶺崎の方法を基本的に踏襲した。小字内地名の採取は聞きとり調査に拠ったが、行政小字の数を上回る数が採取できたことは注目すべきことであろう。

この報告書では、以上のような近代地名の採取結果を載せると同時に、『田染荘史料』に載せられた中世地名の一覧を掲げた。なお、附図の「1 田染地域小字境界図」（1：10,000）に行政小字の境界と小字内地名の位置を示した。これによって調査領域内における収集データの全体像を確認することができる。中世地名の位置比定は、これらの資料により慎重に検討していかなければならない。

(1) 近代の地名

前掲の「文化財レポート」では、地名調査において、網羅性と位置確認が不可欠の条件であるが、行政資料にあらわれない、いわば自然状態下にある地名を採取するに際してはこの二条件を満足させることが難しいことを述べ、さらに次の3つの方法を挙げた。

- ①近世以来の基本的な村落（またはその集合体）であった大字内の地名を悉皆的に調査する。
 - ②大字内の小字を調査単位として重視し、数ヵ所の小字を一つのブロックとして、その区域の地名に精通している人を選び、聞きとり調査を行なう。
 - ③地名採取にあたって、小字の枠を確実におさえ、可能な限り地番を確認する。田の畦畔が明瞭に示されている五千分の一地形図で照合する。
- ①・②については、その後も変更はないが、③については、小字内地名の地番を統一的に把握することは困難であり、一覧表に載せたように小字を構成する地番を示すにとどめた。また、ここで利用する五千分の一地形図は、この目的のために作成した「小字境界図」である（II-4「明治21年土地利用図と小字境界図」参照）。

地名の検出にあたっては、神祠を除いたほか小字と同等ないしはそれ以上の領域を有するものは除いた。このような例として、『豊後国田染荘の調査 I』の第73図（P.135）の第V階梯（集落複合）と第VI階梯（集落）をあげることができる。これらの中には小字名と合致するものもあるが、共通し

ないものも多い。近代の行政資料からは洩れたが、「無常講」の単位になるなど、意外に根深く日常生活にかかわっている点は見逃せない。

小字内の地名を検討すると、同名の地名がいくつかの小字に存在している例が見られる。これは二つの形態にわかれる。一つはヒロブサの例である。大字嶺崎の中で鈴ヶ森・園田・岩脇の各小字内に存在するウサあるいはブサはこの地域では水田のことを指すのであり、ヒロブサは面積の広い水田をあらわす普通名詞であった。それが小字内の特定の水田のみに呼称が限られるようになり、固有名詞化したものである。もう一つの例は大字嶺崎の原と堂山にみえるヤマノクチである。これは隣接した小字にまたがって一つの地名が存在したものである。以上のような場合には重出すること自体にも意味があるので繁をいとわず、個別にあげておいた。

凡 例

- 1 掲載の表は、各列とも① 大字内の小字通し番号 ② 小字名 ③ 小字の番地 ④ 小字内地名の順序で示した。
- 2 小字内地名は、現地の人々の発音をカタカナで表現した。

大字嶺崎				ウエノノジ			
1 日ノ出	1~115	コシノイワ・ショウガツデン・ザッコク	14 平原	914~987	シタノノジ		
2 堀田	116~182	イワフキマエ・ツカブサ・カマグサ・ソトシンデン・コダケ・カワダ・ババ	15 下屋敷	988~1103	センジュウ・ニイズミ		
3 鳥免	183~214		16 岩脇	1104~1155	ニナジリ・ヒロブサ・マエトウ		
4 鈴ヶ森	215~234	ナガヌキ・ギヤギヤ・トビウサ	17 古野	1156~1265	タンコベラ・タラ・イワノウエ		
5 園田	235~290	ヒロブサ・フカマ・フチノベ・ヒロブサ	18 中フケ	1266~1315	ツルガイケ		
6 江ノ元	291~326		19 中屋敷	1316~1393	ウエノクボ		
7 川原田	327~354		20 カヲトフ	1397~1436			
8 田中	355~381	リョウサンダ・クチノダ・センジョウガケ・ナシノモト	21 坂本	1437~1522	シンコグニ		
9 小原	382~432	タネンブ・ジョウニユウ	22 畑	1523~1588	カマミガキイシ・ツツミイシ		
10 松尾	433~535	ホリノウチ	23 地蔵平	1589~1682	ノダ		
11 恵良	536~614		24 高山	1683~1803	シング・ヒデン・ナカヤブ		
12 西田	615~686	カドゴウ・フタゴザン・リュウタツ・コウジツ・マツモト	25 サセフ	1804~1921	ハネイワ・ニシガヘラ		
13 上屋敷	687~913	スギノシタ・オオタニヤ・キョウツカ・ノジ	26 重山	1922~1954			
			27 峯	1955~1976			
			28 六郎園	1977~2046			
			29 上ノ原	2047~2142	ショウタク・ハカハラ・ドウノマエ・ヒガシ・ミスミ・ナカヤシキ・タネノブ・カド・ミドオ・イイツカ		
			30 六反田	2143~2182	ニナジリ		

31 行司田	2183~2257	タカオサ	57 堂山	4481~4653	ギョクセン・ヤマノクチ・ニシガヒラ・ハラエ・ロッコウサマ・ロウガイワ
32 竹ノ下	2258~2288	ゴクデン	58 大平山	4654~4654	
33 池ノ内	2289~2467	テラダ・ワクドイワ・ヤケヤマ	59 門天	4655~4734	
34 下ノ山	2468~2591	カベツ・マドタ・カドタ・カズラモリ・ミチノシタ・ビワオサ・ナワシロタ・ドベタ・ガキニワ・ミチウエ・イワノウエ・オヤマ・ソウズガモト	60 惣ヶ迫	4735~4861	ハゼバタケ
35 原	2592~2774	ナガンダ・イワノハナ・イワタ・ケンノキ・ハルシモノタ・イセヤマ・オセドウ・ナカゴウラ・ヤマノクチ	61 赤迫	4862~5071	マルガオ・デミノクチ・ノジ・ハチガス
36 ナナツヤ	2775~2852	キレイケ・ハナノタ・トオバタケ	大字真中		
37 ケシナ	2853~2951	シガキ	1 官田	1~146	カマウド・シノハラ・カグラデン・クツダ
38 合田	2952~3023	ハカノシタ・ヤナガツボ・イヤレミチ	2 長野	147~407	タドオリ・カンニョウジ・ツカモト・イワダ・スイシ・サコ・カワダケデン・トリゴエ・ミヤモト
39 上大平	3024~3089	タブノキ	3 戸原	408~586	オチオサ・ナガヌキ・ドウキユウタ・カマオサ・サンカクタ・ヒロオサ・モンゼン・スエツギ・ハタケドウシ
40 大平	3090~3256	タノハタ	4 大門	587~724	ドウノマエ・イゼノウエ
41 多々良	3257~3364	ババノシタ	5 大平	725~928	クロマツ・ウラノクボ・ベザイテン・ブクデ
42 弓切	3365~3438	オツケバ・マツバラ・アサノサコ	6 旭	929~1057	コモリイワ・ダンゴイワ・アナイド・ドウノマエ・ヒロハタケ・ブマイ・ドンド・アミダヘラ
43 上弓切	3439~3478	ミイサコ	7 焼山	1058~1100	
44 合畑	3479~3577	オテ・マタシロ・フシンド・マツボリ	8 一ツ岡	1101~1221	フカサコ・シゲノサコ・ムコウヤマ・ケイバトコ
45 犬ヶ迫	3578~3674	カマオサ・イッタンギレ・ウメノキワタリ・チシャノキ・ツエガサコ	9 間戸	1222~1431	ニシノボウ・ナカニシノボリ・カズラモリ・オカタ・キタニド・ヒガシ・ホンケ・サンブツ・ヒガシノボリ・シタノクボ・イナリヤマ・セイレンボ
46 上犬ヶ迫	3675~3695		10 草場	1432~1609	サヤノカミ・ホリ・ドウノヤシキ
47 タノキ	3697~3754	イマザイキ・ミヤノマエ	11 北畑	1610~1752	ウメヤ・ニナジリ
48 大堂	3755~3838	シモノムカイ・ウツギバタケ・イワノウチ・ソノ・ゴマドウ	12 随願	1753~1896	ババサキ・イケダ・エンマドウ・クロクサドウ
49 小藤	3839~3914	ウシロノサコ・コナゴザコ	13 前田	1897~1998	カマオサ・ナナツエ
50 米山	3915~4014				
51 大山	4015~4092	コシキイシ			
52 上大山	4093~4097				
53 上空木	4098~4186	カヤバ			
54 空木	4187~4344	カサノヘラ・タカイワ			
55 升淵	4345~4386	カプトイワ			
56 タカイ	4387~4480	ウキイシ・ヨンザコ・ウメノキ・マルヤマ・ヒラトコ			

14	城山	1999~2204	スエサキノハナ・タド
15	東菊山	2205~2294	コロ・ヌキヤ
16	田ノ口尻	2295~2415	ピワオサ
17	土ノ尾	2416~2445	シラハゲ・ハカモト・
18	五反田	2446~2593	アカデイ・ムセオサ・
19	西菊山	2594~2680	ヤセオサ
20	下菊	2681~2741	
大字平野			
1	早田	1~157	ココノセオサ・ヤセオ
2	前田	158~362	サ・ジゾウデン・ジゾ
3	上ノ平	363~488	ウマツ・アキヤマ・コ
4	シケヤマ	489~616	ントウ・アキヤマイワ
5	田代	617~705	ジツウ・カイクキイワ
6	池ノ上	706~776	
7	嶽ノ下	777~832	シロクイン
8	宮ノ迫	833~965	タヌキガサコ
9	道広	966~1020	コナンサコ・オンナサ
10	上久保	1021~1091	コ
11	長谷	1092~1214	ヤセオサ
12	平畑	1215~1334	ピワオサ
13	藪ノ木	1335~1467	ヤマナカ・ニシガサ
14	千道	1468~1580	コ・フルヤマ・ジュン
15	土ノ尾	1581~1710	ゼ・カタヘラ
16	西ヶ平	1711~1777	キタノサコ・ナガサ
17	後ノ迫	1778~1815	コ・アンナイ
18	高岩	1816~1893	マグゾウ
19	竹ノ下	1894~1995	アカイワ
20	田ノ口	1996~2081	ナガオサ・ニシガヘラ
21	神田	2082~2134	ウシロノサコ
22	熊野	2135~2239	
23	向ヶ平	2240~2317	シショウダ・ナバゴ
24	近道	2318~2474	ヤ・マツモト・ケンシ
			チダ
			トリイヤマ・タノクチ
			ゴエ
			キド・コウサツバ・カ

25	無畑	2475~2540	ミノイド
26	登尺	2541~2641	マエダ
27	橋本	2643~2762	カジヤヤシキ
28	松本	2763~2861	クスノキ・ムセブサ・
29	観上軒	2862~2976	ハシノモト・カンノキ
30	向ヶ平	2977~3056	バラ・ミヤヤマ・ヒロ
31	生子岩	3057~3115	ハタ・アシカケイシ・
32	地獄石	3116~3178	ミヤノシタ
33	宇須木	3179~3248	
34	大迫	3249~3270	ゼジンノウサン
35	屋敷	3271~3424	ムコウツジ
36	前	3425~3477	サズワラ
37	長正	3478~3559	タカイワボウズ
38	下小曲	3560~3631	クリイワ
39	小曲	3632~3683	カンノキハラ・シライ
40	間戸岩	3684~3719	シ・ラカンノクボ・オ
41	中尾	3720~3819	オヒラ・オズエ・シチ
42	周ヶ尾	3820~3922	ロウクボ・イシカン
1	コブシ	1~38	メ・テングイワ・サン
2	スガフタ	39~52	ジョウイン
3	用心田	53~67	ホリノクチ・モンゼ
4	三王田	68~112	ン・ミオノツジ
5	市場	113~135	ミヤノシタ
6	クズレ	136~156	ナガマサイケ・マイド
7	アラセ	157~188	ン
8	小石原	189~228	ゴウドウ・マドイワ
9	西ノ尻	229~289	
10	園田	290~329	オマンサンヤシキ・ダ
11	大石川原	330~412	ンゴゼ
12	ホキノ下	413~436	フドウヤシキ
13	シマオサ	467~491	
14	一ノ坪	492~548	
15	神田	549~577	

16	平畑	578~626	
17	平原	627~684	
18	立石	685~714	
19	ヤシキ	715~804	ニシ
20	大山	805~839	イッタンギレ
21	東平	840~865	ヒガシ・キンベイバタ
22	ツルイ	866~1024	ケ
23	山ノ神	1025~1066	カズラモリ
24	尾辻	1067~1090	
25	牛ノ神	1091~1120	
26	雀岩	1121~1199	
27	ナゲ石	1200~1222	
28	高取	1223~1279	
29	宮原	1280~1291	
30	鍋山	1292~1293	
大字相原			
1	牛王手	1~5	
2	下酒屋	6~14	
3	流田	15~37	
4	小石原	38~54	セドグチ
5	口ノ丸	55~58	
6	峯田	59~69	
7	石王	70~75	
8	堂ノ脇	76~103	シモノハシ
9	西ノ迫	104~127	
10	ヒエ田	128~137	
11	神田畑	138~151	
12	上屋敷	152~175	ウエルイ
13	上ノ迫	176~200	デグチ・オク
14	六反田	201~216	
15	梅ヶ迫	217~264	ホキノシタ
16	小五郎	265~349	
17	深迫	350~374	
18	天久保	375~421	
19	両田河内	422~476	ウジンキ・イケダ
20	櫛木山	477~505	
21	夫舞	506~521	
22	水谷	522~532	
23	葉山ノ上	533~549	
24	障子ノ迫	550~564	
25	影平	565~574	
26	出水	575~592	
27	宮ノ上	593~629	
28	大久保	630~654	
29	宮ノ原	655~675	
30	丸尾	676~684	
31	金丸田	685~704	
32	ヒカケ	705~739	

33	向野	740~782	
34	向流田	783~807	
35	園田	808~818	
36	早稲田	819~828	
37	神田	829~841	
38	サルバミ	842~859	
39	天涯	860~935	
40	大石川原	936~961	
41	向田	962~1015	
42	下高平	1016~1053	
43	広畑	1054~1075	
44	高平	1076~1122	
45	中屋敷	1123~1200	
46	円太郎	1201~1231	
47	四郎二郎	1232~1256	
48	池ノ中	1257~1285	
49	西原河内	1286~1390	
50	隠畑	1391~1416	
51	次原成	1417~1425	
52	新涯	1426~1468	ハカンマエ
53	向山	1469~1503	
54	四反田	1504~1517	
55	沖台	1518~1572	ジデン・ロクタダ・ヒ
56	五反田平	1573~1595	トツウサ・ユウジャ
57	岩ノ下	1596~1618	ク・ゴタダ・ナガヌキ・
58	坊園	1619~1663	フケ・イッタンギレ
59	桜畑	1664~1711	
60	八ツ江	1712~1730	
61	永松迫	1731~1776	
62	屋敷ノ下	1777~1809	ワサダ・シモテ
63	中園	1810~1824	
64	東早稲田	1825~1838	
65	戸成	1839~1861	
66	庵ノ上	1862~1881	
67	杉ノ木田	1882~1890	
68	茶園	1891~1905	
69	政所	1906~1916	
70	屋敷	1917~1943	ホンキョ・オオゾノ
71	石割ヶ迫	1944~1957	
72	丸山	1958~1970	
73	畑田	1971~1990	
74	ミソカルイ	1991~2005	
75	島巡	2006~2055	
76	中河内	2056~2089	オソヨダ
77	東河内	2090~2123	
78	三ツ石	2124~2128	
79	柳ヶ谷	2129~2154	

80 吉ヶ迫 2155~2165
 81 限リ迫 2166~2173 カギリガサコ
 82 タフノ木迫 2174~2179
 83 鶉ヶ迫 2180~2210 ジイゼタ
 84 竹之迫 2211~2240 フチノハタ
 85 朴ノ木迫 2241~2263
 86 柳渡 2264~2277
 87 桜山 2278~2322
 88 地藏ヶ尾 2323~2346
 89 大内ヶ迫 2347~2386
 90 宮ノ谷 2369~2382 シメダ
 91 瓦田 2383~2419
 92 鴨ノ尾 2420~2444
 93 麦田ノ上 2445~2489
 94 下竹ノ迫 2490~2528
 95 囲イ迫 2529~2556
 96 内原 2557~2606
 97 ニタ 2607~2645
 98 森ヶ迫 2646~2680
 99 桃園 2681~2713 オカタ・ミヤタ・オシヨ
 ウヤ・マエダ・シンダ
 100 井ノ尻 2714~2727 シマダ
 101 森園 2728~2744
 102 下山 2745~2782 ヒロオサ・スサキ・フカ
 タ・イゼノウチ
 103 深迫窪 2783~2800
 104 葉山 2801~2859
 105 光枝 2860~2869

大字池部

1 日ノ鶴 1~181
 2 中林 182~388 シンヤシキ・クルマヤ
 3 大平前 389~585 オシヨウヤ・ナカゾ
 ノ・アラヘラ・テラダ・
 サンタンギレ
 4 吳竹林 586~706 トウノツジ・カクハラ
 5 カシヤ林 707~904
 6 大石 905~995
 7 池ノ下 994~1036
 8 一ツ石 1037~1059
 2046
 9 小ガクラ 1060~1173
 10 長迫 1174~1295
 11 ソウツ 1296~1375
 12 内迫 1376~1507 ウエノテラ
 13 上ノ平 1508~1607
 14 峯平 1608~1736
 15 茶園 1737~1776 ウマノリ
 16 五反田 1777~1831 ウマノリ・ヒノクチ
 17 四十田 1932~1962 ゴテイン

18 年ノ神 1963~2045 マツキヤ
 大字 露
 1 縄手ノ内 1~45 ナワテノウチ
 2 熊畑 46~104 カド・ホンキョ・イン
 キョ・カンテ・オダ・
 ユリガサコ・オカタ・
 イシブツケ・クマバタ
 ケ
 3 水ヶ迫 105~219
 4 熊ノ迫 220~299
 5 大平 300~352
 6 尾迫 353~405
 7 茂原 406~461
 8 甲ヶ平 462~497
 9 山ノ神 498~519
 10 深迫 520~568
 11 紺屋畑 569~623
 12 立畑 624~708
 13 生地尾 709~745
 14 百合ヶ山 740~802 イゼンゲ・ドウカン・
 15 西ノ迫 803~866
 16 迫 867~910
 17 永ヶ迫 911~976 ナカ・ナカゾノ・トコ
 ラ・カメイシ
 18 塚原 977~1008 ナナセ・マルダン・ヤ
 マグチ
 19 道ノ下 1009~1092 イシガマル・スナゴ
 20 糸永 1093~1133 ハタケドウシ・タネツ
 ネ
 21 日ノ出 1134~1196 オミナサンヤシキ
 22 竹安 1197~1289 タケヤス・タビラ
 23 古屋敷 1290~1366 フルヤシキ・ウエノク
 ボ
 24 城付 1367~1430
 25 茶ノ木 1431~1477
 26 ニタノ 1478~1505
 27 栗灰 1506~1524
 28 川原畑 1524~1576
 29 大迫 1577~1615
 30 水ヶクボ 1616~1645
 31 小河内 1646~1675 オゴウチ
 32 白ハケ 1676~1708
 33 夫婦石 1709~1728
 34 小豆田平 1729~1743
 35 西田平 1744~1776
 36 西田 1777~1828 ニシダ
 37 柵 1829~1842 シガラミ
 38 下ノ原 1843~1882 シモノハル

39 塔ノ尾 1883~1892
 40 音無久保 1893~1917
 41 平原 1918~1943 ヒラバル
 42 金政 1944~1986 カネマサ
 43 寺田 1987~2010
 44 近石 2011~2032 チケイシ
 45 奥畑 2033~2046
 46 古庄屋 2047~2087 コジョウヤ
 47 其田 2088~2108
 48 六只 2109~2125
 49 宮ノ前 2126~2178 ショウゾノ・ミヤスエ
 50 浦山 2179~2190
 51 宮ノ上 2191~2239
 52 西ヶ迫 2240~2256
 53 堀口 2257~2319 エゲ・トムシ・タニグ
 チ
 54 政所 2320~2344
 55 宮ノ谷 2345~2390
 56 塚 2391~2408
 57 佛生田 2409~2430 ダイモン・ハスイケ
 58 前田 2431~2494
 59 山門 2495~2528
 60 小迫 2529~2540
 61 山口 2541~2562
 62 大山 2563~2617
 63 峯 2618~2655
 64 矢尽 2656~2689 タナサコ
 65 東 2690~2717
 66 中田 2718~2739
 67 北畑 2740~2764
 68 山ノ添 2765~2788
 69 鳥越 2789~2821
 70 櫛木山 2822~2836
 71 タタラカキ 2837~2855
 72 音世山 2856~2869
 73 水ヶ台 2870~2880
 74 喜十坊 2881~2902
 75 宮野 2903~2918
 76 岡尾 2919~2957
 77 岡下 2958~3013 ミゾシタ
 78 真駄 3014~3041
 79 大畑 3042~3070 シシヨウデ
 80 中畑 3071~3094
 81 穴井本 3095~3119
 82 向田 3120~3140
 83 久京坊 3141~3166 シタヤマ
 84 下り山 3167~3177
 85 尾田 3178~3205
 86 長葉山 3206~3236
 87 カヤノハナ 3237~3279 クボタ・ヤマノカミ・

88 岡田 3280~3320 ヒノギレ・オクヘラ
 ソノダ・ロクジュウ
 ロッケン
 89 ラン畑 3321~3363
 90 朝ノ迫 3364~3382
 91 崩稜 3383~3396
 92 中山 3397~3416
 93 宮ノ前 3417~3466
 94 入口 3467~3513
 95 的場 3514~3522 ムコウダ
 96 葉迫 3523~3538
 97 神田 3539~3545 ハトノテイ
 98 グミヶ迫 3546~3558
 99 桜山 3559~3583 イチガサコ
 100 水ヶ迫 3584~3608
 101 九日田 3609~3637
 102 フケイ迫 3638~3653
 103 カゲ平 3654~3675
 104 源太郎 3676~3689
 105 小迫 3690~3695
 106 貝ノ迫 3696~3705
 107 上河内 3706~3719
 108 大平 3720~3728
 109 鬼ヶ迫 3729~3738
 110 下川内 3739~3791
 111 三郎迫 3792~3830
 112 高平 3831~3868 オゾノ
 113 平原 3869~3880 マキワラ
 114 岩本 3881~3892
 115 畑ヶ城 3893~3910 ショウエン・ナナセダ
 ン・サンブイチ・ナカ
 ノダン・サンセダン・
 ヨコダン・クチノダ
 ン・ミゾデイ
 116 畑ヶ中 3911~3925 ウチヤシキ
 117 平藪 3926~3931
 118 尾迫 3932~3988
 119 中山畑 3989~3994
 120 宮ノ脇 3995~3999
 121 宮ノ谷 4000~4009
 122 陽平 4010~4020 アンノシタ
 123 東 4021~4039
 124 屋敷 4040~4046
 125 本明 4047~4059 シンタク・テラヤシ
 キ・タンジリ
 126 前田 4060~4077
 127 真貝 4078~4090
 128 中野 4091~4108 タノウエ・ナカノジ・ヨ
 ガタ・ホンキョ・イン
 キョ・ソラ

129 木 森 4109~4129 テラノウエ	135 コ イ デ 4235~4262
130 ヒ ワ 迫 4127~4140	136 西 ノ 平 4267~4291
131 堂 ヱ 尾 4141~4156	137 中 ノ 迫 4292~4306
132 阿部ノ木 4157~4184	138 船 ヱ 迫 4307~4326
133 西 ノ 谷 4185~4192	139 野 添 4327~4373 オコウシントウ
134 僧都ヶ迫 4193~4234	140 鋤 山 4374~4408 カンノキ

(2) 中世史料に見える名・耕地・屋敷

ここでは、『田染荘史料』から中世地名を抽出し、索引の形でまとめた。なお、横嶺村・上野村に
関しては近世地名の拾い出しが可能であるが、今回果せなかった。他日を期したい。

凡 例

- 1 番号は『田染荘史料』の文書番号。
- 2 番号中で報—89(1)などとあるのは、『豊後国田染荘の調査 I』のII—9「文献資料からみた田染」
の写真番号である。

あ	飯塚屋敷	報—90(2)(重安・末次名)
赤岩 118	いかり	報—90(1)(重安・末次名)
赤坂 63	池田	434(重安分)・435(重安分)
赤坂居屋敷 445	いけのうち	77(末次名)・332・398(重安・末次名)
赤迫 51・51(末次名)・77(永正名)・177・183(末次名)・184(永正名)・185・報—89(1)(永正名)	いけはのでんち	228(内小野名)
赤左近 367	池部・池辺	82(近弘名)・453(金丸名)
あかたいはたけ 308	いけへこくさうのまえ	330(金丸名)
秋吉 167	伊三郎入道屋敷	51
秋吉次郎方居屋敷 398(重安・末次名)	石王丸名	98・166・175
朝日岩屋 118	いしつか	298(重安分)
愛宕 325	石丸	60・84・367(重安分)・368・報—89(2)(永正名)
愛宕勝軍地蔵 325	井尻	77(重房名)
雨引 51・77(永正名)・445・報—89(1)(永正名)	いた	
雨引新田 51(永正名)	伊多伊	118
阿弥陀寺 10・174・244	いたいその	297
阿弥陀佛供田 報—89(1)(永正名)	いたやその	77(重安分)・332・398(重安・末次名)
あみた佛その 77(近弘名)	いちいき	265
あひつらしりふしのはな 330(金丸名)	いつかの三郎貫主の居屋敷	184
荒平 49・77(近弘名)・82(近弘名)	いつかのやしき	77
荒平薬師堂 400	井手の口まつほり	349
在原 54(重安名)	糸永	21・68・230・306
	糸永新方	250
	糸永放田	10
	糸永本方	250
	糸永本名	173
	糸永名	3・8・17・18・19・33・42・68・
い		
飯塚 51・77(末次名)・77・報—90(2)(重安・末次名)		
飯塚三郎火木屋敷 51(末次名)		

77・84・94・95・96・97・139・140・167・172・181・219・320・382・386・388・445・589	小野 215(田染弁分)
糸永綿田 244	尾立美尾 118
稲積岩屋 118	おやま 77(重安名)
稲積不動堂 118	御こくてん 報—91
いのしり 297・340	御はらいてん 報—91
今熊野 122	御ミたうのまえ 報—89(2)(永正名)
今熊野寺 118	
今熊山胎蔵寺 4	か
井本 139(糸永名)	かいもと 236(末久名)・169
いや三郎のその 77	かうた 77(末次名)
いや敷 330(金丸名)	かうたの口 報—89(1)(永正名)
いや四郎官人がやしき 77(近弘名)	柿木田 453(行成名)
いやろくかいその 77	垣本 327・385
岩脇 564・565	かしすきてん 77(近弘名)
	かちやその 139(糸永名)
	かつらまわり 316(重安・末次名)
	かとた 192
う	かとのいやしき 77(永正名)
上野 127・314(金丸名)・327・330	かとのおうさ 77(永正名)
上ノ迫町堀 551	かとぬはたけ 報—90(2)(重安・末次名)
上野徳次郎居屋敷 445	金丸名 27・56・169・212・216・219・220・221・226・228・241・253・255・290・293・314・327・330・385・445・453・465・490・593
宇佐若宮奉寄田 77	
内小野名 226・253・273・445	え
	越門 453
	えぼしだけ 118
	お
	おうしかわら 330(金丸名)
	大石 453(行成名)
	大石河原 453(金丸名)
	大おさ 184(永正名)・185・報—89(2)(永正名)
	おゝその 77
	大菌 報—90(1)(重安・末次名)
	大まかり 284(永正名)・304(永正名)・327・469・報—89(2)(永正名)
	大まかり名 593
	大曲山神 231
	大山 280(重安・末次名)
	大能丸名 27
	荻 444
	御こうその 316(重安・末次名)
	御こうのまえ 228(永正名)
	おさき 77・77・77・77・82・316(重安・末次名)・319・320・325・332
	尾崎屋敷 62・68・79
	おさこ 335・336・337
	おその 280(重安・末次名)
	金丸島 241・458・495
	上秋吉名 250
	上深田 453
	掃部方居屋敷 398(重安・末次名)
	からき 報—90(1)(重安・末次名)
	唐木、加良木 80・83・51・360(末次名)
	からしま 192
	かやもと 210
	河そい 報—89(1)(永正名)
	かわそいてんち 77(重房名)
	河そいはたけ 319
	河そへ 報—90(1)(重安・末次名)
	河内 327(永正名)・367(重安名)・報—90(1)(重安・末次名)
	河内堂 231
	河引田 51
	かわら 332
	河原島 344・355・356・357・358・359
	かわらほりあけ 398(重安・末次名)
	観音寺 176・331・368・369・397
	観音寺さこ 報—89(1)(永正名)
	観音丸 51
	き
	聞山岩屋 118
	岸田 453

きたのそのいやしき 344
 きやうてん 報-91
 清成 9・13
 く
 くきつか 192
 草葉名 98(田染弁分)・166(田染弁分)
 楠田 211(末次名)
 くすのき 280(重安・末次名)
 くすのきのした 77(末次名)・103(永正名)
 楠木の坪 183(末次名)・347(重安・末次名)・398(重安・末次名)・529(末次名)
 口田 117(光並名)
 くちと 192
 口之丸 197・232(永正名)・262・284(永正名)・464・496・報-89(2)(永正名)
 かつり 497・報-90(1)(重安・末次名)
 くぼた 192
 熊野地 448
 くまの寺 448
 熊野山 205
 九郎いやしき 77の2
 九郎その 316(重安・末次名)
 くろくさ 77(重安名)
 くろさききくま 77(重安名)
 くろふさ名 593
 桑田 報-90(1)(重安・末次名)
 こ
 香水庵 419(永正名)・526・551
 高しんか屋敷 324
 小おさ 報-89(2)(永正名)
 こくそうの前 330(金丸名)
 こくそさこ 77(重房名・重安名)・332・報-89(1)(永正名)・報-90(1)(重安・末次名)
 小久曾廻栗林 145
 御供田 57(永正名)・522
 こけら佛 118
 御菜免 272(重安・末次名)・444(重安分)
 小迫 197・262
 こしきいはのみを 11(永正名)
 こしけ 報-90(1)(重安・末次名)
 腰之岩 249・250
 こせんのほら 177
 小竹 319・320(永正名)・382(永正名)・386(永正名)・388(永正名)・445(永正名)

小手則名 123・133・134・136・137・138・141・144・151・153・155・164・170・177・178・179・180・182・189・190・191・203・207・218・(445)
 こふけ 77(末次名)・183(末次名)・280(重安・末次名)・319・320・332・398(重安・末次名)
 御宝前田 184(永正名)
 小峯 77(近弘名)・82(近弘名)
 小峯方居屋敷 398(重安・末次名)
 惟久居屋敷 410(永正名)・412(永正名)
 惟松 215(田染弁分)
 是行 9・167(田染弁分)
 小やふの本 報-90(1)(重安・末次名)
 さ
 西叡山高山寺 4
 佐き園 139(永正名)・140(永正名)
 さくらの尾立 118
 迫 118・284(永正名)・304(永正名)・576
 さこた 77
 ささ原 227
 三郎丸 139(永正名)
 猿喰 63(永正名)・77(永正名)・87(永正名)・197(永正名)・228(永正名)・232(永正名)・233(永正名)・303・315・330(金丸名)・441・445・453(金丸名)・464・468・470・473(永正名)・500(永正名)・501・報-89(2)(永正名)
 猿喰の居屋敷 262
 山王田 報-91
 し
 重房門田 報-90(1)(重安・末次名)
 重房名 77
 重安 250・434・435・444
 重安名 31・47・54・60・68・77・79・91・99・123・126・128・132・133・134・136・137・138・139・140・141・142・144・145・146・163・164・165・167・170・178・179・180・182・189・190・191・201・203・204・207・218・257・258・261・271・272・273・274・275・279・285・287・298・301・310・316・326・340・341・345・346・347・354・356・357・358・359・

361・364・367・372・374・376・382・384・385・386・387・388・398・424・430・431・432・436・443・445・452・457・478・490・497・515・516・518・590・591・593・報-90(1)(2)
 したのまつほり 349
 篠原 36・74・139・140・250
 篠原名 74
 下羽弘田 127
 下深田 453(行成名)
 十郎かいやしき 77
 正御供田 285・346・449(吉丸名)
 正かくはたけ 324
 常住房その 77(近弘名)
 上りう 280(重安・末次名)
 上料田 332
 尻 報-90(1)(重安・末次名)
 二郎三郎かいやしき 92
 四郎丸 441
 城のその 139(永正名)
 志んかい 報-89(1)(永正名)
 新開太郎丸居屋敷 589(永正名)
 しんかいまえ田 327
 す
 すえつきの山口 77
 末次名 34・35・47・51・64・66・71・77・82・91・93・123・133・134・136・137・138・141・151・153・155・164・169・170・177・178・179・180・182・183・184・185・189・190・191・203・207・211・218・250・258・261・272・273・279・285・287・301・316・326・331・345・346・347・354・356・357・358・359・360・364・367・382・385・386・387・388・398・424・430・431・432・436・445・452・453・490・497・515・516・518・529・報-89(1)(2)
 すえひさ 236
 末久納所 18
 すえひさのやしき 236
 末久名 10・51・167
 末弘 214
 末正居屋敷 184(永正名)・185(永正名)
 末吉 66・77・319・320・345
 すか六田 453
 須加牟田 59・80・83・87・114・148・154・

156・158・160・213・219・220・221・224・226・228・249・253・293・295・305・327・440・441・445・450・451・453・494・496・539
 雙六田 43(行成名)・115
 清瀧寺 118
 千口四郎屋敷 184(永正名)
 千如四郎居 185(永正名)
 そ
 増寿名 445
 園田・園田 64(永正名)・115(行成名)・184(永正名)・185(永正名)・295(永正名)・453(金丸名)
 た
 大日岩屋 118
 平名 546・590・591・593
 たうの下畠 349
 たかみのした 551(永正名)
 高山 118・140
 田口 116(光並名)
 匠園 77(永正名)・139(永正名)・140(永正名)
 たけそへ 228(永正名)・322
 たけつねみょう 246・250
 田染(庄)弁分 86・98・105・162・166・167・188・215・264
 田染別符 125
 たたらのほら 77(末次名)
 田淵名 546・590・591・593
 為包 167
 為延 82・177・280(重安・末次名)・367(重安名)・報-90(2)(重安・末次名)
 為延屋敷 68・77(永正名)・79
 太郎丸 139(永正名)・140(永正名)
 田原村 71(末次・永正名)
 ち
 近弘名 77・82・250
 つ
 つく田 277
 つらさこ 報-90(1)(重安・末次名)
 つづらさこの尻 77(重安名)
 つねすへみょう 246・250
 恒任名 26・48・65・69・75・78・80・83・92・123・133・134・136・137・

138・141・144・147・152・157・
159・161・164・169・170・177・
178・179・180・182・184・185・
189・190・191・203・207・212・
216・218・219・220・221・226・
228・229・231・248・253・293・
326・327・385・445・490・報—89
(1)
つね信名 246・250
つへかさこ 11
□つほ 報—90(2)(重安・末次名)
鶴池 453(行成名)
つるのいけ 77(重安名)

と
堂前 185・327
遠見石 197・262・315・報—89(2)
徳次郎屋敷 50(永正名)・497(永正名)
とく太郎その 77(近弘名)
得太郎屋敷 72(近弘名)
とくちう 279(重安分)
とねつしま方屋敷 347
鳥目岩屋 118
鳥山(鳥山カ) 249

な
中尾その 139(糸永名)
中その 報—90(2)(重安・末次名)
長田 116・117・報—90(2)(重安・末次
名)
中津尾岩屋 118
中津尾山観音寺 4
長野 176・197・262
長野くり林 11(永正名)
長野之次郎久並之居屋敷 323(光並名)
永正居屋敷・永正
名屋敷・永正屋敷 291・315・349・445・460
・462・464・470・531・536・537・
報—92
永政祖悦居屋敷 461
永正本屋敷 報—89(2)(永正名)
永正名 11・14・26・35・45・46・50・51・
57・61・63・64・70・71・77・80・
82・83・87・103・109・111・112・
113・120・123・133・134・135・
136・137・138・141・144・147・
151・152・153・155・157・159・
161・164・167・169・170・177・
178・179・180・182・184・185・
189・190・191・197・202・203・
207・213・218・219・220・221・

224・226・228・232・239・248・
253・281・284・293・295・301・
304・305・315・326・327・351・
385・410・411・412・419・442・
445・467・469・473・490・494・
497・500・526・531・538・545・
547・548・551・報—89(1)
永正六郎居屋敷 282・471・472
長渡 35
ならはやし名 593
なりみちおとりいまえやしき 192
なわてそい 327・報—89(1)(永正名)

に
西野 77(永正名)
にしのおやま 457(重安名)
にしのそい 報—89(2)(永正名)
にたた 77(糸永名)
如福院 398

の
野すみのくさは 77(末次名)
のそい地門 233(永正名)
野添 350・351(永正名)

は
はかへの太郎入とうのいやしき 77(近弘名)
八枝・八枝田・八枝田 258(重安・末次名)・319・320・
332・377・378・394・401・413・
445
はは名 250
はやしの下畠 77(糸永名)
はやたつ名 250
羽弘田 54(重安名)・77(永正名)

ひ
ひる畠名 246・250
東園 331(末次名)・367(末次名)・368・
報—90(2)(重安・末次名)
ひがしのおやま 398(重安・末次名)
引入たうのその 77(糸永名)
日五郎のその 77(永正名)
日野岩屋 118
ひのくち 280(重安・末次名)・332・398(重
安・末次名)・453
日野 77(重安名)・139(糸永名)・258(重
安名)・376・377・378・401・413・
445
日野山岩脇寺 4
ひやうこのあみた佛その 77(近弘名)

日焼 116・117・169・236(末久名)・
258(重安名)・277・308・332・377・
378・398・401・413・445
ひらの大石 315
ひんかしのその田 184(末次名)

ふ
深田 453(行成名)
ふくてん 284(永正名)・報—89(2)(永正名)
落浦 10
落寺 4・118・139・249
藤木はたけ 報—90(2)(重安・末次名)
ふしの 453(金丸名)
両子園 77(糸永名)・84
両田 453(金丸名)
ふちの木畠 457(重安名)
佛性田 331(末次名)・368
古菌 77・280(重安・末次名)・332・
398(重安・末次名)
ふへいや太郎かやしき 77(近弘名)

ほ
ほりあけ 398(重安・末次名)
ほり内 324
本郷 42
本屋敷 77(永正名)・115(行成名)

ま
まい淵 118
馬城山 118
馬城山伝乗寺 4
牧村・真木邑 106・209
正幸居屋敷 232(永正名)
又四郎屋敷 184(永正名)・185(永正名)
間戸 564・565
間戸岩屋 12
間戸寺 4・118・249・531・532・542
まとのハラ 77
間戸原 281(永正名)・284(永正名)・319・
320
まつ□ 報—89(1)(永正名)
松尾 77・84
松尾いやしき 77(糸永名)
まつをのけん六やしき 77
まつはら 77(末次名)
松本 報—90(1)(重安・末次名)
まつりてん 報—89(1)(永正名)
前田 報—89(1)(永正名)
まゑはたけ 398(重安・末次名)
まわたり 103(行成名)・115(行成名)

まん二郎はたけ 271(重安名)
政所 224・258・312・314・315・399・
442・445・483・505・511・525・
553・564・565・582

み
みすみはたけ 77
南そのた 77(永正名)
みなみのこはたけ 77(永正名)
みなみのその 77(永正名)
南屋敷 64(永正名)
みのおさ 報—90(1)(重安・末次名)
三野徳次郎屋敷 458
みたうその 77
道秀屋敷 327
光並名 100・104・116・117・169・219・
220・221・224・226・237・293・
323・327・328・333・334・402・
413・415・416・445・490・527
118
光廣 35・77・322
御堂 51(永正名)
御堂上屋敷 77・324・497・報—89(1)(永正名)
みね 51・115(行成名)
峯田 250
みね名 73
峯屋敷

も
森下 89(吉丸名)・90・285・385・449・
490・503・600

や
薬師堂 400
弥三郎方居屋敷 398(重安・末次名)
□やその 報—(2)(重安・末次名)
やつへた 236(末久名)
山下 139(糸永名)
山下美尾 118
山添 551(永正名)
山神新田 469
山之口 77・457(重安名)・報—(1)(永正名)

ゆ
夕日岩屋 118
行成名 43・49・52・100・103・104・115・
116・167・169・210・214・219・
220・226・253・267・293・327・
328・385・415・416・445・453・
490・527
ゆの木 192・321・448

	よ
よこやまその	報—90(2)(重安・末次名)
よし重いはい田	報—89(1)(永正名)
吉之内	385・490・495
よし畠	197・262
吉松	60・77・177・報—89(1)(永正名)
吉松尻	84
吉丸・由丸	11・167・285・449・497・報—89(2)
吉丸名	42・72・89・90

蓮華山富貴寺	れ	4
	ろ	118
六太郎美尾		
	わ	
わせ田	330(金丸名)	
わたし田	330(金丸名)	
綿田	51・244(糸永名)	
わたみやその	280(重安・末次名)	
	を	
をこさ	183(末次名)	
をそののくち	183(末次名)	

3 近世の墓地と墓碑

報告書 I では、熊野墓地を中心に墓碑の材質、型式、銘文、分布などについて述べた。ここでは、その補足資料として熊野墓地の墓碑の刻銘年代表とそれに対比できるように墓碑分布図を載せた。分布図中の番号は墓碑を調査した順番でこれを墓碑番号とし、刻銘年代表の墓番欄に対応している。また、刻銘年代表の碑型欄では屋根付地藏浮彫型を屋地浮のように省略したものがある。同じく、材質欄では安は安山岩、凝は凝灰岩を示す。これらの表や図をもとにさらに考察をしてみよう。

刻銘年代表と比較する資料として後藤俊三郎氏所蔵文書がある。この文書は簿冊と横帳よりなり、その内容からほぼ同時期に書かれたものと思われる。簿冊には下記の事柄が記されている。

寶永五^戊子年

豊後國^{豊前}屋床検地帳

三月二日

一 式畝廿四歩	※仁助
一 壹畝三歩	太助
一 壹畝	九兵衛
一 式畝廿壹歩	※仁右衛門
一 式畝拾貳歩	※与右衛門
一 壹畝	理助
一 廿四歩	※源四郎
一 壹畝六歩	平吉
一 式畝廿壹歩	半三郎
一 式畝廿七歩	※市之助
一 四畝	善七
一 式畝拾貳歩	勘兵衛
一 拾八歩	作之助
一 四畝三歩	※作兵衛
一 三畝拾八歩	弥六郎
一 壹畝九歩	太左衛門
一 壹畝六歩	※太右衛門
一 壹畝九歩	吉蔵
一 式畝廿四歩	※平六
一 四畝廿四歩	※弥惣

- 一 式畝九歩 傳助
- 一 壹畝六歩 久太郎
- 一 壹畝 ※惣三郎
- 一 式畝廿四歩 清助
- 一 式畝九歩 ※市郎

反数ノ五反四畝九歩
此屋敷数式拾五軒

右本帳除地所跡之年貢諸役者免除

寶永五^戌子年三月二日 森本作平

太田治助

種村七左衛門

種村新五兵衛

団 竹右衛門

熊野村

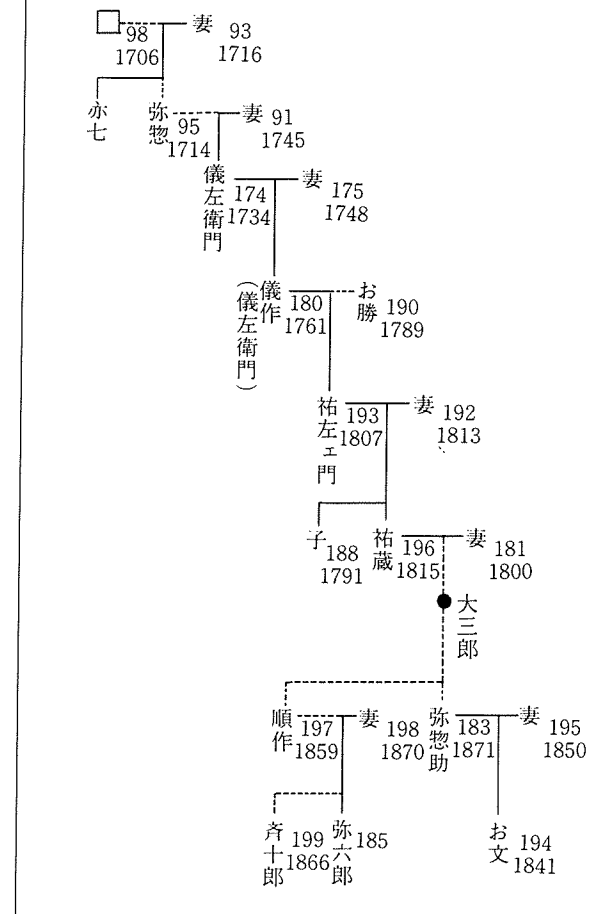
大庄屋

小庄屋

また、横帳には胎藏寺や山神、地蔵などについても記されている。上記25名のうち刻銘年代表にその名を確認できる者は11名（名前の前に※印を付けた者）である。善七が善兵衛などと改名したと考えるとさらに3名が追加されるが、ここでは一応11名の確認にとどめておく。一方、墓碑には俗名等が全く刻まれていないものがある。これらの事から墓碑はこの当時半数程度が建てられていたと判断される。この検地帳に見える弥惣は刻銘年代表の墓碑番号95、西暦1714年〔以下墓碑95（1714）のように略す〕に見える生地弥惣と同一人物であることは間違いない。生地家は代々庄屋を務めていた家柄で屋敷の大きさもそれを肯定する。また、墓碑287（1705）と検地帳を比較することで作兵衛と市助は兄弟で、父親は次郎左衛門であることがわかる。このように墓碑と検地帳は互いを補う資料となりうる。

表や分布図をもとに家系図を作れるであろうか。庄屋であった生地家の家系図の作製を試みてみよう。生地家の墓碑には戒名に居士・大姉の脚字を刻み、墓碑には屋根様のものを乗せているものが多い。また、報告書Iで述べたように生地家の墓碑は分布図中の91番から102番までと174番から199番まで（以下それぞれA、Bゾーンとする）のそれぞれの間にかたまっており、これがいわゆる生地家の墓域と呼ばれる部分である。生地家は近代に入って熊野村から姿を消し家系図などの文書類は現存しないが、上記の点と横嶺村庄屋文書等を参考にして次頁の家系図を作ってみた。名前の横の数字は上

生地家系図（墓碑銘より復原）



が墓碑番号を下が没年の西暦を示す。生地姓を持った墓碑が最初に確認されるのは墓碑394（1694）である。この墓碑は地藏浮彫型であることから女性か子供の墓と考えられる。しかし、俗名の生地弥惣以下4文字が判読できずどちらともいえない。次に確認できるのは先述した生地弥惣の墓碑である。さらに次に確認できるのは墓碑93（1716）である。この墓碑が享保かどうか判読に苦しむところであるが、その位置関係から享保と考え弥惣の母にあててみた。また、俗名等には生地亦七母と刻まれているが、亦七本人の墓碑は熊野墓地で確認できなかった。この亦七の母に対して父はどの墓碑に相当するのかを考えてみると墓碑98（1706）が浮かんでくる。この墓碑の俗名等は判読できなかったが、墓碑の型式、位置などから最適かと思われる。いずれにしても弥惣と直接結び付く資料も存在せず、破線で結んでおく。次の儀左衛門と弥惣も同じく破線である。儀左衛門の母の墓

碑91（1745）は存在するがこの母が弥惣の妻であるかどうかはわからない。しかし、儀左衛門が母よりも早く亡くなり墓碑の位置もAゾーンからBゾーンへと離れてしまうのに対して、遅れて亡くなる母の墓碑はAゾーンへ建てられる。この位置に建てなければならない理由は、夫の墓が近くにあるからだと考えられる。つまり、弥惣と儀左衛門の間にくる墓碑もないことから弥惣の妻となる。ここで、亦七の母の墓碑が享保でなく正保か天保であればそれぞれ古すぎまた新しすぎる。寛保元年（1741）であれば、儀左衛門の母の墓碑と二基が存在することになりおかしい。それで享保と考え弥惣の母とした。儀左衛門と儀作の関係は、儀作の母の墓碑175（1748）が存在し、しかも儀左衛門の墓碑174（1734）のすぐ近くにあり他に相当する墓碑もないことからこの二基が夫婦の墓であることは間違いなく、それで儀作は儀左衛門の子供となる。また、天保5年に書かれた宝暦2年（1752）田染祭礼出米割府帳の写し（報告書I掲載）には庄屋として生地儀左衛門の名が見える。しかし、儀左衛門はこの時すでに亡くなっていることから、その子供である儀作が改名して父親と同じ儀左衛門を名乗ったと考えられる。お勝の墓碑190（1789）には生地家と直接結び付くような文字は刻まれていない。しかし、墓碑

の位置や脚字あるいは生地家の代々の妻たちが田染以外から嫁いで来る場合にその生国を墓碑に刻む特徴にも合致することから儀作の妻である可能性は非常に高い。儀作と祐左エ門の関係は、墓碑180(1761)には生地祐左エ門父としか刻まれていないが、墓碑の位置とその戒名の中に儀の一字が見えることから儀作(儀左衛門)の墓碑であることは間違いなく、祐左エ門は儀作の子供となる。祐左エ門とその妻や子供については墓碑から確認できる。祐左エ門と祐蔵の関係も墓碑の位置やそれに祐左エ門の子が祐蔵であるのはごく自然でもあることから父と子とした。祐蔵とその妻は墓碑から確認できる。祐蔵と弥惣助の関係については墓碑から判断できない。天保2年(1831)田染三所八幡宮祭礼改正規定書(報告書I掲載)には庄屋として生地大三郎の名が見える。しかし、大三郎の墓碑は熊野墓地では確認できなかった。一方、前述した割府帳に天保5年(1834)の庄屋として生地弥惣助の名が見える。祐蔵と弥惣助の間には年齢的に大きく開きがあることから大三郎を一代置くことも考えられる。また、大三郎が改名して弥惣助を名乗るとも考えられる。可能性としては後者の方が高からう。弥惣助とその妻や子供お文については墓碑から確認できる。弥惣助と順作の関係は直接結び付くような資料は存在しないが、二人の戒名にそれぞれ翁の一字が見え、かなり高齢まで生存していたことがわかり、さらにその没年の開きもあまりないことから兄弟と考えられる。斉十郎の墓碑にも他と関係するような文字はなく、かりに弥惣助や順作と兄弟だとすると戒名の中に翁の字があってもおかしくはない。また、弥惣助の子供であれば弥惣助が生存していた時期でもあり、その子お文の墓碑と同様なんらかの繋がりを示す銘文が刻まれていたはずである。とすれば順作の子供の可能性が高い。弥六郎とその母については墓碑198(1870)から確認できる。すでに弥惣助の妻の墓碑195(1850)が存在することから弥六郎は弥惣助の子供でなく順作の子供と考えられる。

墓碑の俗名等に生地家〇代〇〇と刻まれたものがある。5代が一人で6、7、8代がそれぞれ二人である。しかも、このように書かれた墓碑の主はほぼ全員が後藤姓である。生地家の次男、三男が生地家を出て後藤姓を名乗るのかとも考えたが判然としない。いずれにしても生地家と深い繋がりがあことは間違いがない。

熊野墓地(Ⅰ)(Ⅱ)の刻銘年代表

墓番	没年月日	西暦	戒名	俗名等	碑型	材
145	大永七年八月十七日	1527	法印忍秀 戒名		国東塔	安
94	天文六年丁酉五月十八日	1537		施主敬白	石殿	凝
92	峯天文十年辛丑三月六日	1541		道浄	〃	〃
151	天正十五	1587		浄〇妙融	国東塔	〃
423	万治四年辛丑八月十八日	1661	涼山妙貞尼靈位	弥〇母〇や	板碑	安
200	延宝五〇〇十月〇〇	1677		〇女	地浮	〃

408	延宝六戊午天三月五日	1678	華月妙盛尼靈位	をかつ母	板碑	安
339	延宝六戊午天五月二十八日	〃	景秋道雪靈位	〇生地五代 後藤四郎左エ門	〃	〃
400	延宝七庚申天十一月十一日	1679	了本妙法尼灵位	市之助母	位牌	〃
298	天和二年五月八日	1682	一鏡妙心信女灵		板碑	〃
299	天和二壬戌天八月二十二日	〃	了翁自得靈位	〇〇〇	〃	〃
390	貞享四天卯四月二十一日 元禄四天未十二月三日	1687 1691	高巖宗心靈 林冬妙実	八十二 六代目	自然石	〃
104	元禄四辛未天十一月初八日	1691	覚巖円山居士灵位	〇生地家六代 与右門 立之 当所住人後藤氏 名惣左衛門 弥惣介 〇〇や	位牌	〃
293	元禄四癸未天十一月十四日	〃	弘道廣心居士〇〇	俗名太郎右門尉久 太右門 〇〇をや	舟	〃
394	元禄七甲戌天八月九日	1694		生地弥惣〇〇〇〇	地浮	〃
334	元禄七年戌八月二十九日	〃	秋覚禅定門灵	俗名松本六兵衛父	位牌	〃
374	元禄七甲戌天九月一日	〃	高月稚閑童子	つち四介	板碑	〃
152	元禄十丁丑年九月十三日	1697	権律師豪尚法眼和尚位		位牌	〃
121	元禄十〇〇十一月十九日	〃	養運道久禅定門靈	後藤四郎〇〇 惣三良〇〇	板碑	〃
348	元禄十二年十二月二十日	1699	峯雪妙仙禅定尼灵	〇〇	〃	〃
211	元禄十三年辰六月九日	1700	空峯浄西信士灵		位牌	〃
341	元禄十五天午七月二十一日	1702	願心妙用信女靈位		板碑	〃
59	元禄十六未天十月二十六日	1703	江月霜雲禅定門	俗名井堀六右衛門 子仁介 弥万四	位牌	〃
63	宝永元申三月八日	1704	梅雲空〇禅定門	井堀才兵衛父	板碑	〃
66	宝永元天甲申三月二十四日	〃	坂元西入禅定門	井堀元四郎〇〇	〃	〃
103	宝永元甲申十月二日	〃		惣〇〇	地浮	〃
157	宝永元甲申天十一月十五日	〃	僧権律師清海和尚位	〇〇坊 施主 妹 あき 後藤氏 子志ち	位牌	〃
287	宝永二乙酉天二月五日	1705	右京道円居士靈位	後藤次郎左衛門 作兵衛 父 市之助	〃	〃
100	宝永三〇〇天二月十六日	1706		〇之安	地浮	〃
98	宝永三丙戌九月十日	〃	高運院月江寿光居士靈	〇〇	屋円	〃
290	宝永四丁酉天二月四日	1707	春法妙西禅定尼靈位	恵〇郎 〇助母 同羽七三郎	板碑	〃

47	宝永五年 _子 五月十七日	1708	弘春光妙善禪定尼	井堀市兵衛さい 施主 同善兵衛 立之 母	板 碑	安
127	宝永五 _子 天六月六日	〃	弘香花蓮空禪定尼	金勝院才 惣三郎□□□	〃	〃
109	宝永六 _子 三月七日	1709		□□久七三男□□	地 浮	〃
349	宝永六 _子 天八月二十二日	〃		生地家八代 後藤兵右エ門子 兵吉	〃	〃
300	宝永六 _子 天十月八日	〃		□□□ を□キ	〃	〃
284	宝永七年五月九日	1710	弘蓮性寛休居士灵	七代目俗名後藤市之介 行歳五十九才 子同名市右門 立之	板 碑	〃
282	宝永七年八月二十四日	〃	弘清月妙敬信女灵	□右エ門母	〃	〃
213	正徳元年 _卯 八月十八日	1711	弘峯月妙玉信女灵		位 牌	〃
353	正徳元年十二月十八日	〃	弘梅山逝無禪定門灵位		板 碑	〃
95	正徳四 _甲 天八月十五日	1714	弘悟峯淨運居士灵	生地弥惣	笠塔婆	〃
167	正徳六 _丙 甲五月八日	1716	弘華月妙秀信女灵	後藤清七 同六三郎母	板 碑	〃
19	享保元天 _丙 五月十二日	〃	弘照山智寂禪定門灵位	七代目後藤与右エ門 子清七 六三郎 立之	〃	〃
170	享保元 _丙 甲五月十七日	〃	弘元心智峯童子灵位	井堀市郎□ 庄七子□六	〃	〃
122	享保元 _丙 甲天七月二十六日	〃	弘一葉妙心禪定尼灵	後藤氏 金勝院胎元 母志兵米 南無阿弥陀仏	位 牌	〃
173	享保元年 _甲 八月二十九日	〃	弘秋岸宗伯居士灵位	小林弥四良	板 碑	〃
48	享保元 _丙 甲九月七日	〃	弘幽露童子	松斗傳右衛門子 権五郎	〃	〃
93	享保元年	〃	弘法普妙喜禪定尼灵位	生地亦七母	笠塔婆	〃
240	享保二天 _丙 甲九月十五日	1717	弘秋光逝月信士	四□右エ門 母	位 牌	〃
168	享保三 _戊 戌天三月十七日	1718	弘春花童女灵	井堀与兵衛娘	板 碑	〃
281	享保三年 _丙 甲十月十一日	〃	弘白相妙屋信女灵位		位 牌	凝
351	享保六年十月二十九日	1721	弘休巖宗清法師灵	後藤権三郎	板 碑	安
305	享保六年十二月二日	〃	弘妙蓮禪定尼灵		位 牌	〃
319	享保七 _壬 寅天五月六日	1722	弘夏月自照禪定尼灵	与兵母	〃	〃
294	享保七年 _寅 寅十二月二十二日	〃	弘宥現道通居士灵位		〃	〃
424	享保八 _天 卯十月十七日	1723	弘寿光□門信士灵位	又□	〃	〃

320	享保十一 _丙 丙歲三月六日	1726	弘宗玄了雲禪定門灵位	松計与兵衛親	笠塔婆	安
291	享保十一 _丙 丙天五月五日	〃	弘淨普宗雲信女	阿部□左エ門母 立石村 惣右衛門	位 牌	〃
288	享保十二年十二月二十一日	1727	弘梅空宗岸童子	後藤□	〃	〃
128	享保十三年 _甲 正月朔日	1728	弘惠覚性蓮信女灵位		〃	〃
11	享保十四年 _己 酉天四月二日	1729	弘曾月惠林信女灵位	藤原氏後藤仁右衛門母	〃	凝
289	享保十四年 _酉 酉七月二十二日	〃	弘昔養照岸居士覚	後藤市右衛門	尖 角	安
132	享保十六 _丙 丙天十二月二十六日	1731	弘時光宗説信士	俗名甚左衛門	位 牌	〃
310	享保十八年三月十二日	1733	春光寿照信女	後藤惣□内	〃	〃
208	享保十八年 _丑 六月十三日	〃	□惠白自仙信女灵		屋地浮	〃
296	享保十八年 _丑 七月五日	〃	弘露白妙教禪定尼灵		板 碑	〃
330	享保十九年 _寅 三月十六日	1734	弘玄照了雪信士	□□氏俗名松本平六	位 牌	〃
174	享保十九年 _寅 七月十六日	〃	弘鉄現宗心居士覚灵	生地儀左衛門	笠塔婆	〃
171	享保二十年 _卯 八月十一日	1735	弘自覚童子灵		〃	〃
278	元文元年 _辰 二月十二日	1736	峯玉妙程信女	市左衛門娘	地 蔵	〃
154	元文三 _戊 戊天十月六日	1738	弘権少僧都胎元和尚位		無縫塔	凝
172	元文四年三月四日	1739	弘妙円童女灵位		板 碑	安
318	元文五年 _甲 九月六日	1740	弘勝屋妙敬信女灵		位 牌	〃
169	寛保元年 _酉 五月十日	1741	弘鉄岸宗栄禪定門灵	俗名松本武左衛門貞勝	〃	凝
311	寛保二年 _酉 七月二日	1742	輪月自光信女灵位	後藤理右門母	〃	〃
302	寛保二年八月初一日	〃	弘廣普自徳禪定門	をたつ	〃	安
395	寛保二年 _戌 八月三日	〃	弘智善童子灵位		〃	〃
67	寛保三 _癸 癸天三月十八日	1743	弘園隠□教信士	生地	〃	〃
344	延享元 _甲 子天四月十三日	1744	弘実岸宗仙信士灵位	藤原氏後藤仁右エ門	〃	〃
91	延享二 _乙 乙五月二十五日	1745	弘宝誉松屋大姉灵位	儀左衛門母	〃	〃
270	延享二 _丑 丑天五月二十九日	〃	宗玉玄清信士灵位	藤原氏後藤利右門父	〃	凝

18	延享二年八月十八日	1745	弘廣原宗觀	俗名生地伊平	位牌	凝
295	延享乙丑天九月八日	〃	弘了智童子		〃	安
26	延享二乙丑天十月九日	〃	弘空原妙窟信女靈位	□□□□	〃	〃
279	延享三年三月初日	1746	弘惠海了順信女		〃	〃
6	延享五年辰二月十三日	1748	弘清林道説信士	俗名後藤伊左門	〃	凝
175	寛延元年辰七月二十一日	〃	弘秋月宗道大姉	生国立石平原村 儀作母	〃	安
69	寛延元戊辰天十月十六日	〃	弘真月了心信士	松計□□	板碑	〃
25	宝曆二己酉天九月二日	1752	弘秋月道智信士	生地六三良	位牌	〃
266	宝曆三年酉十一月十三日	1753	冬妙清信女	後藤市左衛門才女	天地浮	凝
277	宝曆三年酉十一月二十二日	〃	無量妙伯童女	後藤市左衛門娘	〃	〃
27	宝曆五乙亥天正月十一日	1755	弘西岸浄円信士靈位	藤原氏松斗僧右門	位牌	安
255	宝曆五乙亥天二月八日	〃	弘樂峯浄安信士靈位	俗名後藤市左門父	〃	〃
256	宝曆五乙亥天二月八日	〃	弘実岸妙円信女靈位	俗名後藤市左門母	〃	〃
156	宝曆五乙亥天九月十日	〃	弘大阿闍梨良胤和尚位		無縫塔	凝
179	宝曆八己酉天二月二十八日	1758	西岸順道信士靈位		位牌	安
292	宝曆九卯天四月十二日	1759	南無觀世音菩薩	当村住人俗名後藤□左工門 藤原氏後藤利右工門 □□之	〃	〃
176	宝曆十辰天五月二十九日	1760	弘□円浄永信士	俗名松本武右門	〃	〃
308	宝曆十辰天七月十一日	〃	弘雪岩陽真居士	藤原氏□郎兵衛	〃	〃
180	宝曆十一辛巳歲三月二十三日	1761	弘善廣儀貞居士靈位	生地祐左衛門父	〃	〃
303	宝曆十一辛巳天八月五日	〃	弘秋月妙仙信女靈位	後藤千蔵母	〃	〃
23	宝曆十三未天正月十八日	1763	弘春妙光信女	伊左工門妻	〃	〃
33	宝曆十四甲申天四月二十八日	1764	弘華山妙蓮信女靈	松計藤□□母	〃	〃
253	明和元甲申天七月九日	〃	弘妙清童女		〃	〃
34	明和元甲申天七月十日	〃	弘実相貞心信女靈	□□	〃	〃
126	明和二乙酉天十二月□日	1765	弘実岸宗善靈		〃	〃

191	明和三丙戌天正月二十二日	1766	弘華屋浄蓮信女	松斗傳□母	位牌	安
252	明和三丙戌天三月十日	〃	弘春光宗□信士靈	俗名□□工門	〃	〃
385	明和六己丑年二月十九日	1769	弘西念浄願信士靈位	父安右工門	〃	〃
360	明和六己丑二月二十六日	〃	弘貞心相久信士		〃	凝
355	明和七寅天三月十五日	1770	弘陽岸泰運信士		〃	安
312	明和七庚寅天四月二十九日	〃	弘輝岸妙貞信女		〃	凝
250	明和八辛卯十二月十一日	1771	弘実岸貞心信女靈位	藤原後藤作兵工娘 利平女房	〃	安
388	明和九壬辰天六月二十六日	1772	弘慈海澄順信士靈位		〃	凝
182	明和九壬辰天十一月十一日	〃	法山妙窟信女		地浮	〃
235	安永三天甲午九月九日	1774	秋岸宗善信士	後藤□右工門	位牌	安
71	安永三年天十一月十日	〃	弘廣月妙桂信女	弥平子	〃	〃
226	安永三甲午天十一月二十六日	〃	弘夏屋妙林信女	四良右工門女房	〃	〃
189	安永四未天二月二十五日	1775	弘春花宗覚信士	俗名喜代七	〃	〃
184	安永四乙未天六月十六日	〃	弘勘備妙忍信女	俗名□□	〃	〃
231	安永四未天七月七日	〃	覚園順清信士		〃	凝
186	安永四乙未天七月二十四日	〃	弘雲月浄知信士	太右門子	〃	安
30	安永四天十二月十日	〃	珠光妙寛信女	□□□	地藏	凝
315	安永四乙未天十二月二十四日	〃	弘寿幻童子		位牌	〃
307	安永六丁酉八月二十七日	1777	智泉童子靈位		笠塔婆	安
306	安永七戌天五月十二日	1778	妙幻童女	宝作娘	位牌	〃
70	安永七戌天十月八日	〃	応宗源信士	俗名源蔵	〃	〃
379	安永七戌天十二月四日	〃	弘西岸宗円信士	父後藤林蔵	〃	〃
76	安永八亥天正月二十五日	1779	心月宗清信士		〃	〃
230	安永八己亥天三月十七日	〃	弘寿幻童子	六左工門子	〃	〃
237	安永八己亥天七月三日	〃	弘秋月妙清信女	下屋敷 権三郎内 俗名さん	〃	凝

45	天明元 ^辛 天十月二十四日	1781	弘清岸宗栄信士	松斗弥平	位牌	安
43	天明二 ^寅 天六月八日	1782	円山了光信士	後藤兵衛 亓	〃	〃
131	天明三年九月八日	1783	秋月妙順信女	甚 ^口 工門子喜め	〃	〃
8	天明四 ^辰 天九月二十五日	1784	恵覚妙順信女	六 ^匠 郎女房	〃	凝
403	天明五 ^乙 天二月十二日	1785	弘西岸知寂信士 灵位	後藤太右 ^工 門	〃	安
227	天明五 ^己 年十月十九日	〃	弘心月宗善信士	四郎右 ^工 門	〃	凝
228	天明六 ^丙 年正月二十三日	1786	弘宗岸知寂信士		〃	〃
229	天明六 ^丙 年歳正月二十三日	〃	弘宗岸知寂信士	生地家八代尊後藤六左 ^工 門 着子軍平 次男圓四良	〃	安
316	天明六 ^午 年二月九日	〃	昔養宗栄士	藤原氏後藤利右 ^工 門	〃	〃
74	天明六 ^丙 年十二月十日	〃	智善童子信士	喜平子	〃	〃
13	天明七 ^未 天正月二日	1787	弘春岸童女	幸右門子	〃	凝
254	天明七 ^未 三月六日	〃	華山妙敬信女	七平才	〃	安
80	天明八 ^申 年十月十五日	1788	弘自岸妙清女		〃	〃
190	寛政元 ^己 天正月二十四日	1789	弘梅屋妙空大姉 灵位	生国杵築中野村 当村 お勝	〃	〃
58	天明九 ^酉 天八月十五日	〃	弘秋月妙意女		〃	〃
153	寛政元 ^己 歳十二月二十五日	〃	弘権少僧都良精法眼和尚位		無縫塔	〃
313	寛政二 ^庚 年八月二十日	1790	弘早世秋夢童子 灵位		位牌	凝
259	寛政三年 ^亥 七月七日	1791	早世如幻童女	新吉小 をつや	〃	〃
188	寛政三 ^辛 天八月朔日	〃	弘自念童女	祐左 ^工 門子	〃	安
301	寛政三 ^辛 天八月二十四日	〃	弘了空智玉信士 灵位		〃	凝
378	寛政四 ^子 四月八日	1792	実岸妙善信女		〃	〃
68	寛政四 ^壬 子七月二十八日	〃	弘善妙童女		〃	〃
3	寛政四 ^子 天八月初四日	〃	秋山道清信士	後藤政平事	〃	〃
204	寛政五 ^癸 天六月十二日	1793	陽運珠光信士 灵位	後藤長左衛門	〃	安
32	寛政六 ^寅 七月二十日	1794	一屋妙證信女		〃	凝

283	寛政六 ^甲 天十一月七日	1794	弘覚山唯教信士 灵位	市左衛門	位牌	凝
239	寛政七 ^乙 卯天六月二十四日	1795	夏月妙雲信女	下ノヤシキ 権三郎母	〃	安
73	寛政九 ^巳 天三月二十八日	1797	理中童子	喜平子	〃	〃
29	寛政九 ^丁 巳七月十三日	〃	弘秋峰即證信士位		〃	凝
369	寛政九 ^丁 巳天十月十七日	〃	弘寒 ^口 童子 灵位	林藏子	〃	〃
205	寛政十 ^午 天正月七日	1798	新門寂春崔自順信士		〃	〃
370	寛政十 ^戊 午天十月十日	〃	道実明照信士	松本武左 ^工 門	〃	〃
251	寛政十一 ^己 八月九日	1799	秋月自光 ^口	利 ^口	無縫塔	〃
304	寛政十一 ^己 未天八月十六日	〃	諦室静念信士塔	後藤幸助 亓	位牌	安
265	寛政十一 ^己 未天八月二十一日	〃	如幻童女		〃	凝
410	寛政十一 ^己 未天八月二十三日	〃	弘秋山教説居士 灵位		笠塔婆	安
81	寛政十一 ^未 天八月二十八日	〃	秋夢童女	喜平子	位牌	〃
413	寛政十一 ^己 未天十二月初八日	〃	弘恵 ^困 童子		〃	凝
181	寛政十二 ^申 歳六月十八日	1800	憲室智章大姉	生地祐藏室	笠塔婆	安
415	享和元 ^辛 酉天八月七日	1801	早世涼栄童女		位牌	凝
269	享和二 ^戌 年九月七日	1802	早世智光童子 灵位		天地浮	〃
399	享和三 ^癸 亥天五月十二日	1803	弘清山悟道信士 灵位	後藤安平	位牌	〃
20	享和三 ^癸 亥五月二十四日	〃	実岸妙心信女	仙右門女房	〃	安
232	享和三 ^亥 天七月朔日	〃	弘寿永童女		〃	〃
387	享和三 ^癸 亥八月十二日	〃	弘秋峯童子	後藤林藏子 徳次良	〃	〃
384	享和三 ^亥 天九月十四日	〃	弘 ^口 達妙相信女	後藤林藏母	〃	〃
367	文化元 ^甲 子天八月二十五日	1804	弘秋峯宗玄信士	松本宇右 ^工 門	〃	〃
416	文化元 ^甲 子天九月二十五日	〃	弘秋香妙安信女	民藏母	〃	凝
418	文化元 ^甲 子天十月二十五日	〃	弘初冬智覚信女	民藏妹	〃	〃
79	文化元 ^甲 子歳十二月四日	〃	弘楽岸浄安信女 灵位	ヲセキ	〃	安

407	文化三丙寅天六月二十二日	1806	無尽妙燈信女位		笠塔婆	安
402	文化四丁卯二月二十四日	1807	一円童女	清四郎子	位牌	凝
193	文化四丁卯天四月十日	〃	円峯観道居士	生地祐左エ門	〃	安
207	文化四卯天九月二十六日	〃	実相妙蓮信女	後藤長平母	〃	〃
2	文化四丁卯十月十日	〃	寂霜岸妙養信女	吾藤幸右衛門才	〃	凝
177	文化四丁天	〃	自性院寿信尼		無縫塔	安
398	文化五辰天三月二十一日	1808	山教知信士	□□□	位牌	〃
361	文化五辰天閏六月十六日	〃	是生童子	庄助子	〃	凝
272	文化五年辰七月五日	〃	秋山妙清信女	後藤磯平母	〃	〃
234	文化八未天六月二十六日	1811	華乘童子	後藤富助子	〃	〃
414	文化十酉天九月二十一日	1813	栄室寿繁信女	後藤兵右衛門母 分	〃	安
366	文化十酉天十一月二十九日	〃	寒月西教信女	松本宇右エ門娘	〃	〃
192	文化十酉歲十二月八日	〃	仮峰妙空大姉	生地祐蔵母	〃	〃
417	文化十一甲戌天八月二十一日	1814	室浄休信士	後藤兵右衛門	〃	〃
382	文化十一甲戌天八月二十四日	〃	秋月西教信士	後藤林蔵子 俗名□□	〃	〃
196	文化十二亥天七月二十四日	1815	放一浄光居士	生地祐蔵	〃	〃
28	文化十三丙子天四月二十四日	1816	放一源空信士	後藤仙エ門	〃	〃
409	文化十三丙子天十二月二十七日	〃	恵輪童女	清四良娘	〃	〃
368	文化十五戊寅天二月十六日	1818	栄室浄休信女	松本宇右エ門女房	〃	凝
345	文政元寅天八月十一日	〃	秋峯童子	九二	〃	〃
321	文政元寅天八月二十一日	〃	量白童女	松本太め助子	〃	〃
335	文政二卯正月十五日	1819	春峯靈華信士		〃	〃
221	文政三辰天七月二十六日	1820	秋峯當岳信女	後藤郡平母	〃	〃
56	文政三辰天八月二十四日	〃	安養童子	松本牧太郎	〃	〃
135	文政四辛巳天二月九日	1821	絃室寿光大姉	後藤礼蔵母	〃	安

258	文政六未歲八月二十九日	1823	賢翁円覚道者	新吉 亥	無縫塔	凝
144	文政七申天六月十六日	1824	権律師実山□	甲州八代郡小里□村 自福院慈□第子	冑	〃
14	文政七申天六月二十八日	〃	自光童子	〃	位牌	〃
411	文政十亥天閏六月十九日	1827	夏雲童女	清四郎娘 コユ□	〃	安
404	文政十三年九月九日	1830	紅謬円融信士	秀助 門	〃	凝
327	天保三辰天六月十七日	1832	泰雲妙川信士	後藤氏 園天	〃	〃
401	天保三辰歲六月十七日	〃	夏雲川休信士	長蔵子	〃	〃
241	天保三壬辰年八月十七日	〃	秋峯鉄隣信士	後藤林蔵	〃	〃
267	天保四□年七月七日	1833	帰活童子		〃	安
224	天保六未天十一月二十八日	1835	雪道童子	郡平子	〃	〃
242	天保六乙未曆十二月八日	〃	謬空園孤信女	市作母	〃	凝
249	天保六未天十二月十一日	〃	碎鏡童子	富助孫	〃	安
129	天保七□申十月二十九日	1836	鐘伯鑑光居士	後藤惣左エ門	〃	〃
286	天保八丁酉歲六月二十一日	1837	夏岳恵生信女	ヤシ良女房	〃	〃
82	天保九戌祀八月四日	1838	粧紬紅雲信女	松計里吉女房	〃	〃
262	天保十亥五月十日	1839	冷報観通信士		〃	凝
22	天保十亥天七月九日	〃	実相妙道信士	後藤幸右エ門	冑	安
163	天保十一子年二月七日	1840	玄心自徹法尼	行院母	無縫塔	〃
194	天保十二辛丑天七月七日	1841	童女	生地弥惣助子 お文	位牌	凝
225	天保十二丑天七月十七日	〃	円光童子	栄三良子	〃	〃
222	天保十二丑天七月二十一日	〃	秋覚童子	栄三良子	〃	〃
12	天保十二丑天八月十八日	〃	円宝秋光信女		〃	安
1	天保十二丑天八月二十七日	〃	宗掾信女	井堀紋之助内	〃	〃
261	天保十四卯四月五日	1843	掖到理夏信女	作右エ門母	〃	凝
220	天保十五辰正月四日	1844	青山円通信士	後藤栄三良	〃	安

219	天保十五辰年正月五日	1844	弘春山妙空信女	平内	位牌	安
393	天保十五辰年正月六日	〃	弘円峯貴空信士	後藤郡平	〃	〃
244	天保十五辰二月三日	〃	弘青玉珠光信士	後藤作右工門	〃	凝
405	天保十五辰年二月六日	〃	弘寛山珠光信士	後藤民藏	〃	安
263	天保十五辰年八月十九日	〃	弘知賢童女	茂藏孫	〃	凝
331	弘化三年四月九日	1846	弘鮮輪童女	伝之助娘	〃	〃
375	弘化三丙午年七月二十七日	〃	弘秋峯信士	俗名後藤利喜藏	〃	〃
4	弘化四未天十月十日	1847	弘寒月妙永信女	後藤貞藏母	〃	安
264	弘化四丁未天十月二十七日	〃	弘寒山鏡説信士	後藤磯平	〃	〃
271	嘉永元戊申天十月二十日	1848	弘真玉梅養信士	後藤梅次良	〃	〃
243	嘉永二己酉天十一月十二日	1849	弘雪円珠道信士	俗名後藤友藏	冑	凝
391	嘉永三戊三月六日	1850	台峯一空信士	後藤市作	位牌	〃
324	嘉永三戊九月二十日	〃	秋山信女	後藤市作才	〃	〃
195	嘉永三庚戌年十月二十七日	〃	霜節珠光大姉	生地弥惣助妻 日出家中安藤百内孫女 養子梅峯為養女実八坂 長工藤久太郎女子也	笠塔婆	〃
314	嘉永六丑年六月三十日	1853	弘秋峯円空信女	民藏才	位牌	〃
16	安政二乙卯天三月十二日	1855	弘春山妙光信女	後藤清四郎内	〃	安
7	安政二年卯十一月八日	〃	弘実相清光信士	清四良	〃	凝
268	安政四己五月二日	1857	弘楽邦妙蓮禪定尼	後藤磯平内	〃	〃
317	安政四己年八月二十九日	〃	弘秋山浄光信女	民藏子 チヨ	〃	〃
36	安政四丁巳十二月十六日	〃	弘賢翁覚雲信士	伊堀条助事	〃	安
209	安政六未年正月五日	1859	弘春山浄林信士	後藤長平	〃	凝
397	安政六未二月十日	〃	弘実相信士	長造	〃	〃
197	安政六己未天七月十五日	〃	弘賢翁常休居士	生地順作墓	冑	〃
88	安政七申四月二十八日	1860	円室常光信士	松胴里吉	位牌	〃
276	安政七申九月二十九日	〃	弘円室珠光禪定門	後藤栄造	〃	〃

147	文久二戌四月六日	1862	弘権律師龍信賢徳			無縫塔	凝
117	文久二戌天閏八月二十四日	〃	弘秋月清光信士	後藤礼藏	同苗金六建之	冑	〃
260	文久三癸丑年六月五日	1863	弘夏屋妙意信女	後藤長助母		位牌	〃
123	文久四子天二月七日	1864	光岳貞心信女	禮造才		冑	〃
199	慶応二寅天四月二十一日	1866	胎寿白道居士	生地育十良		〃	〃
247	慶応三年六月二十六日	1867	鍊敬厚節信士	後藤林作父 徳次郎		位牌	〃
236	慶応三卯十月二十四日	〃	秋誉妙栄信女			〃	〃



生地家墓域Aゾーン



生地家墓域Bゾーン

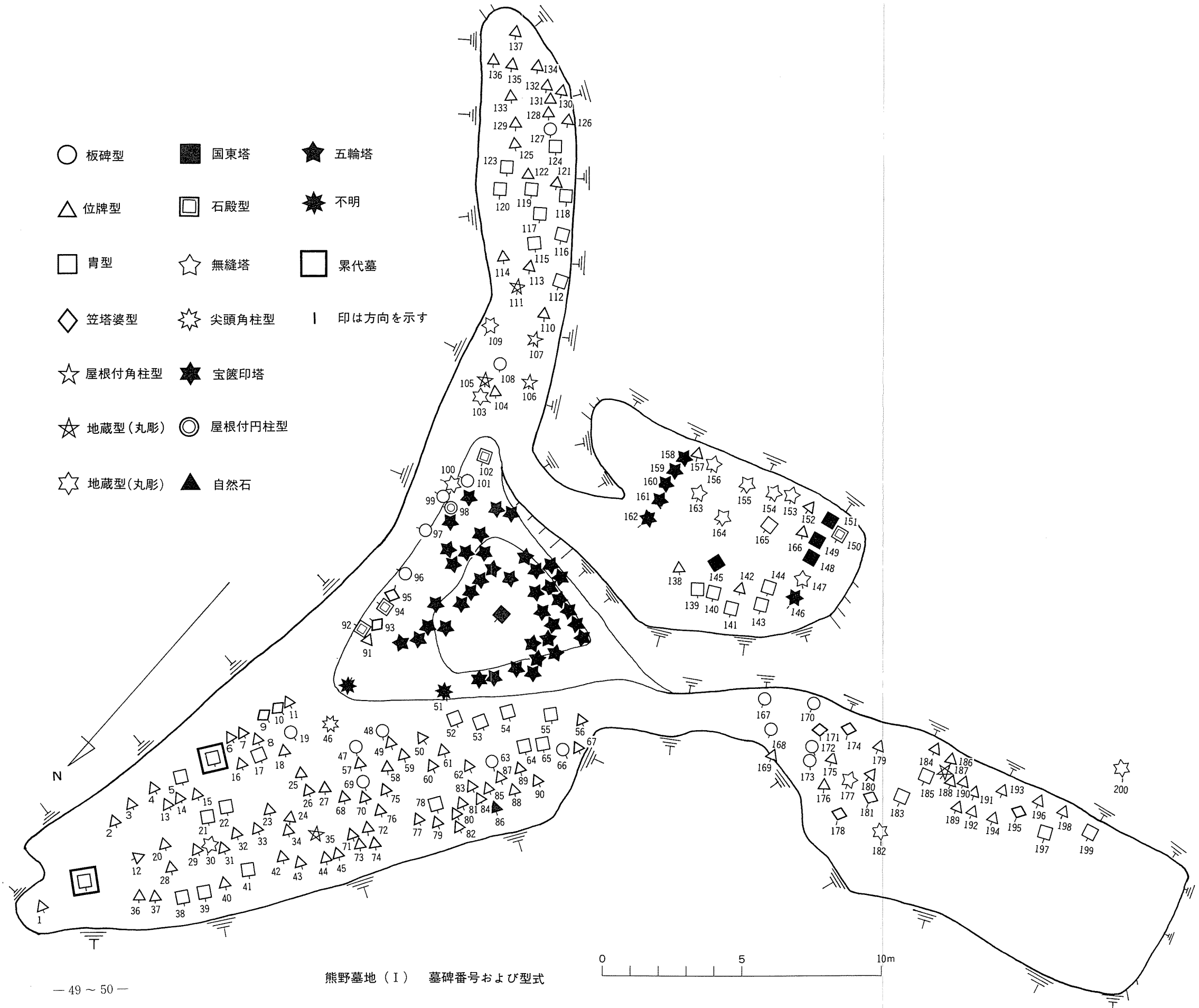


墓碑98 (1706)



墓碑95 (1714)

- | | | |
|-----------|----------|---------|
| ○ 板碑型 | ■ 国東塔 | ★ 五輪塔 |
| △ 位牌型 | □ 石殿型 | ✪ 不明 |
| □ 冑型 | ☆ 無縫塔 | □ 累代墓 |
| ◇ 笠塔婆型 | ✪ 尖頭角柱型 | 印は方向を示す |
| ☆ 屋根付角柱型 | ✪ 宝篋印塔 | |
| ☆ 地藏型(丸彫) | ◎ 屋根付円柱型 | |
| ☆ 地藏型(丸彫) | ▲ 自然石 | |





熊野墓地 (II) 墓碑番号および型式



4 明治21年土地利用図と小字境界図

はじめに

昭和56年度より着手された豊後国田染荘の調査は、中世村落の景観的復原を目的の一つにしている。その手掛りとして表題のような「明治21年土地利用図」と「小字境界図」を作成した。このうち前者については、元禄2年村絵図の復原作業の基礎資料となり、後者については附図(1:10000)に収録した。

特に「明治21年土地利用図」については、『豊後国田染荘の調査Ⅰ』のⅡ-7「近世村落景観の復原—地籍図と村絵図—」(出田和久執筆)に詳述されており、第82図・第84図・第85図でそれぞれ小崎村・中村・観音堂・大曲村について紹介されている。ここでその作成過程について述べておきたい。

報告書第3集『豊後国田染荘の調査Ⅰ』でも紹介しているが、大分県下では明治21年から明治22年にかけて作成した地籍図が現在も法務局の各出張所に保存されている。

この地籍図から明治21年当時の土地利用図と小字境界図を作成することにより、圃場整備等の開発が進む以前の明治時代の村落が復原できる。さらに、それ以前の様子をも伺い知ることができ、中継点的な役割をはたす資料となるという点においても、この2種の図の作成は非常に重要な意味を持つ。また田染荘のみならず、他地域においても村落遺跡の復原は急を要するものであり、必然的に、土地利用図及び小字境界図も大いに作成し、利用されなければならないといえよう。

田染荘の調査の一環として行なったこの作業は、56年より当資料館で継続的になされてきたが、その作業手順は試行錯誤の連続であった。今ここに、一応の確立をみた手順、作業上の注意点等を記しておく。

(1) 税務課所蔵字図の複写

豊後高田市役所税務課には明治21年地籍図の副本をもとに昭和42年頃作成した字図があり、現在行政事務に利用している。これは明治21年地籍図と字界線・筆界線は共通するもので、以下法務局にある明治21年地籍図は法務局字図、市役所の字図は税務課字図と呼ぶことにする。

この字図は、縮尺は $\frac{1}{600}$ で、1枚の紙につき1つの小字を載せている。(領域の小さい小字については2つが併載される場合もある。)そして1枚の小字ごとに資料1のような表示と方位を記入している。資料1の見方は、まず上の字牛王手・下酒屋は、1枚の紙に牛王手と下酒屋という隣接した2つの小字が描かれていることを示し、相原1、2番の1番は牛王手を、2番は下酒屋をさす。この2つの小字は1枚の図として描かれているので、整理番号は1番となる。これらの隣の小字である流田は、小字の通し番号は3番、整理番号は2番となる。このように2種類の番号が使用されていることに注意しなければならない。

資料館では豊後高田市役所に調査協力を依頼する文書を出し、この税務課字図を大字単位で乾式コピーにより複写した。原寸でB4判の用紙を用いたが、ほとんどの字図は用紙におさまりきれず、部分毎に複写した。この際、資料1と方位は必ず落さないようにした。

(2) 税務課字図複写の縮小

次に作業を行ないやすくするため、当資料館でB4判からB5判の用紙に縮小した。これで70%の縮小となり、字図は $\frac{1}{600}$ から約 $\frac{1}{857}$ となる。

以後はB5判のもののみを使用するが、B4判の方は黒表紙を付けてとじ、「豊後高田市役所 字図 大字相原」と表書きして、照合の必要が生じた時のために保存した。

(3) 縮小小字図の作成

B5判の字図を貼りあわせて、1つの小字を作る(資料2)。おもての図中に資料1の略号と方位を書きこむ。資料1の略号は資料2を例にとると、「⑫上屋敷9」となる。縮尺が $\frac{1}{600}$ のものは記入する必要はないが、それ以外の $\frac{1}{1200}$ や $\frac{1}{3000}$ などは図中に注記しなければならない。上述の処理の後、小字図を輪郭にそって切りぬく。この時小字図の周囲に記入されている、隣接する小字名とその通し番号及び隣接する村落名を切り残すようにした。

こうして切りぬいた各小字図は、封筒(ここでは当資料館専用の33cm×24cmのもの)に折りたたんで入れる。折った時、裏面の見える位置に資料1の略号(⑫上屋敷9など)を書く。小字図の量に応じて封筒がいくつかできるが、それぞれに「西国東郡相原村 No.1~No.3 整理No.1~No.10」のように表書きする。また字図には1冊ごとに小字名に整理番号をふって列記した表がついており、最初の封筒のおもてにこの表を貼りつけた。

(4) 法務局字図との照合

税務課字図は作成過程で省略や錯誤があり、また地目が変化したり分筆されたりするにつれ幾度も訂正を加えているため、明治21年地籍図との間に相違がある。そこで、切り貼りした税務課字図を法務局字図の通りに訂正せねばならない。

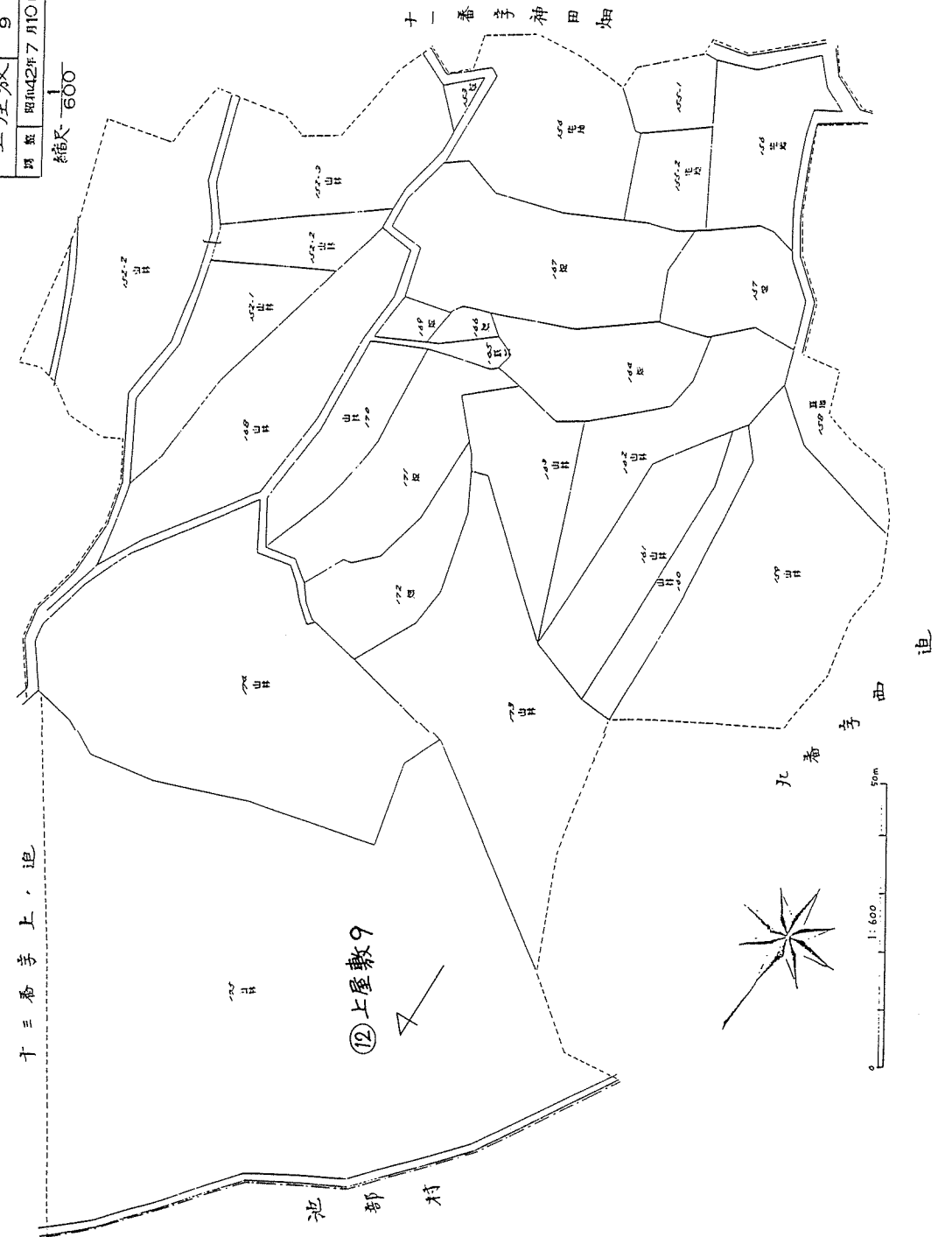
法務局字図の冒頭には、凡例と共に字図調製年と製図者名が載っている(資料3)。これを1冊めの封筒のおもてに書く。凡例中及び図中の川・溝・溜池は水色に着色していた。

資料1 字図表示(大字相原)

大字相原 1.2番	
牛王手 下酒屋	整理番号 1
調査	昭和42年7月10日
縮尺 $\frac{1}{600}$	
大字相原 3番	
流田	整理番号 2
調査	昭和42年7月10日
縮尺 $= \frac{1}{600}$	

大字相原 12番	整理番号 9
上屋敷	昭和42年7月10日
調査	
縮尺 $\frac{1}{600}$	

資料2 税務課字図(大字相原上屋敷)



小字図を1枚ずつ照らしあわせ、①地目、②筆界線、③水路…など、税務課字図を原図の通りに書き直していく。

しかし、法務局字図にも多数の修正の跡が認められる。分筆により墨で線を書き足したり紙を貼り新たに書き直したり、変化した地目は墨でぬりつぶしてあるか、けずりとしてあり、田の左に火へんをつけて畑としてある例もある。いずれの場合でも本来の姿をつかんで訂正する必要がある。

法務局字図における「埋葬地」は、税務課字図で「墓地」となっていたため総て「埋葬地」に書き直した。溜池・池沼地・堂地・社地は、税務課字図では線でできられてはいたが、ほとんどが地目が記入されていなかった。筆界線すらひかれていない例もあった。また、池・沼は昔から変化しにくいものと判断し、必ず優先して書きとめた。

次に法務局字図の縮尺についてふれておく。各字図には「曲尺壹分ヲ以テ壹間トス」と明記されており、特に注意書きのないもの、つまりほとんどの字図はこれにならう。曲尺は一尺が30.3cmであるから、その壹分=0.303cmを壹間（六尺）とすると $\frac{1}{600}$ となる。以下他の縮尺の相原地区の例をあげておく。

曲尺五厘ヲ以テ壹間トス

字 柳ヶ谷・地藏ヶ尾 $\frac{1}{1200}$

曲尺壹分ヲ以テ貳間トス

字 葉山 $\frac{1}{1200}$

曲尺壹分ヲ以テ五間トス

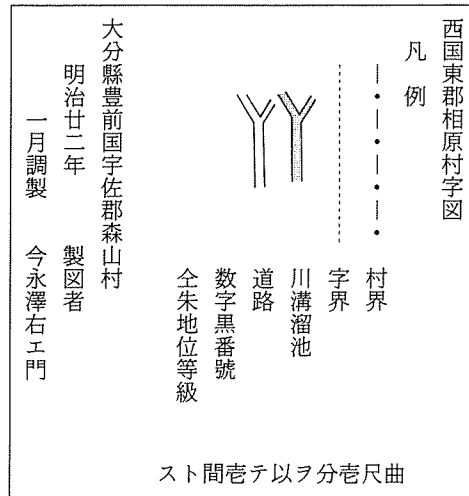
字 西原河内・三ツ石 $\frac{1}{3000}$

縮尺は、 $\frac{1}{600}$ 、 $\frac{1}{1200}$ 、 $\frac{1}{3000}$ の3種類が用いられている。 $\frac{1}{1200}$ や $\frac{1}{3000}$ は、宅地・田畑等がほとんどなく、一面に山林や原野が広がっている大きな小字に適用されている。相原の西原河内のように、中心部に川にそって田が連なりその周囲が広範囲にわたって原野の場合、周辺部の原野のみを $\frac{1}{3000}$ であらわし、中心部の田は別紙に $\frac{1}{600}$ であらわしているものもある。

(5) 縮小字図の地目別色わけ

税務課字図を法務局字図の通りに総て訂正しおえると、書き直した地目にそって色鉛筆で色をぬる。ここでこの過程をはぶいても小字境界図の作成は可能であるが、小字図に色をぬっておくと土地の様子がつかみやすく現地調査や

資料3 法務局字図凡例（大字相原）



資料4 地目の色分け

水田	緑色
畑地	黄色
池・水路	青色
宅地	赤色
埋葬地	灰色
寺社	桃色
山林	茶色
原野	黄土色
芝地	肌色
未墾地	紫色
官有地	赤紫色
秣場	橙色
藪	黄緑色

小字界の決定が比較的容易になるため、必ず行なうようにした。色指定は資料4の通りである。

(6) 縮小字図の接合

今までバラバラだった小字図をいよいよ1つの大字にする作業が始まる。小字図を一枚一枚床に広げて、ジグソーパズルのようにくみあわせていく(写真)。ここでは、それぞれの字図に書きこんだ方位、周辺に切り残した隣接する小字名が手がかりになる。

しかし何分にも、明治21年当時の測量は平板実測のため誤差が生じやすい。それぞれの小字図もきれいにかみあわず、あちらこちらに隙間ができる。また縮尺も $\frac{1}{600}$ 、 $\frac{1}{1200}$ 、 $\frac{1}{3000}$ とまじっているため、1つの大字は完全な形としてはできあがらない。

(7) 小字境界図の作成

次に $\frac{1}{5000}$ の地形図を各大字ごとに切り貼りし、(6)で接合した字図をみながら小字境界線をおとしていく。航空写真測量の $\frac{1}{5000}$ 地形図にくらべ、床に広げた字図は先述のように、どうしても不正確になる。また土地利用も変化しており、小字界をおとすことは非常に困難を要した。それでも田畑については昔ながらの形をとどめているものも多く、一筆一筆たどりながら境界線が引けるが、山間部にな縮小字図の接合



ると目安となるものがほとんどなく非常にむずかしくなる。山間部では山の稜線が小字界になっている場合が多い。そのため多少図と違った形になっても、稜線にそって線を引くようにした。こうして小字境界線を引きおわると、地図上に各小字名と小字の通し番号を記入した。

(8) 土地利用図の作成

小字境界図とは別に、もう1枚 $\frac{1}{5000}$ の地形図を用意する。先に色ぬりした小字図をみながらその通りに色をぬり、明治21年当時の土地利用図を作成した。

明治21年と現在との土地利用の変化を大字相原を例にあげてみよう。まず畑地は、明治21年の段階では山間部でかなり広範囲にわたって広がっていたことがわかる。また畑地から水田に開発された箇所も多数認められた。

水田も畑地同様山間部で大きな変動がみられる。明治21年当時本谷の字鶉ヶ迫・タフノ木迫・吉ヶ迫には迫田の存在が確認され、また朴ノ木迫・竹之迫にも奥地に小さな水田があり、本谷では北よりも南側斜面において湧水が強いことがわかる。

一方、明治21年土地利用図では字地藏ヶ尾にある大河内池から大内ヶ迫にかけて畑地が連なっているが、大河内池の存在も確認できる。ここは現在全て水田に開発されており、大河内池は明治22年をあまり遡らない段階で造築されたものである可能性が高い。

宅地は畑地・水田にくらべさほどの変化はないが、字天久保・柳ヶ谷・桜山等では消滅しているものもあり、若干の変動が認められた。

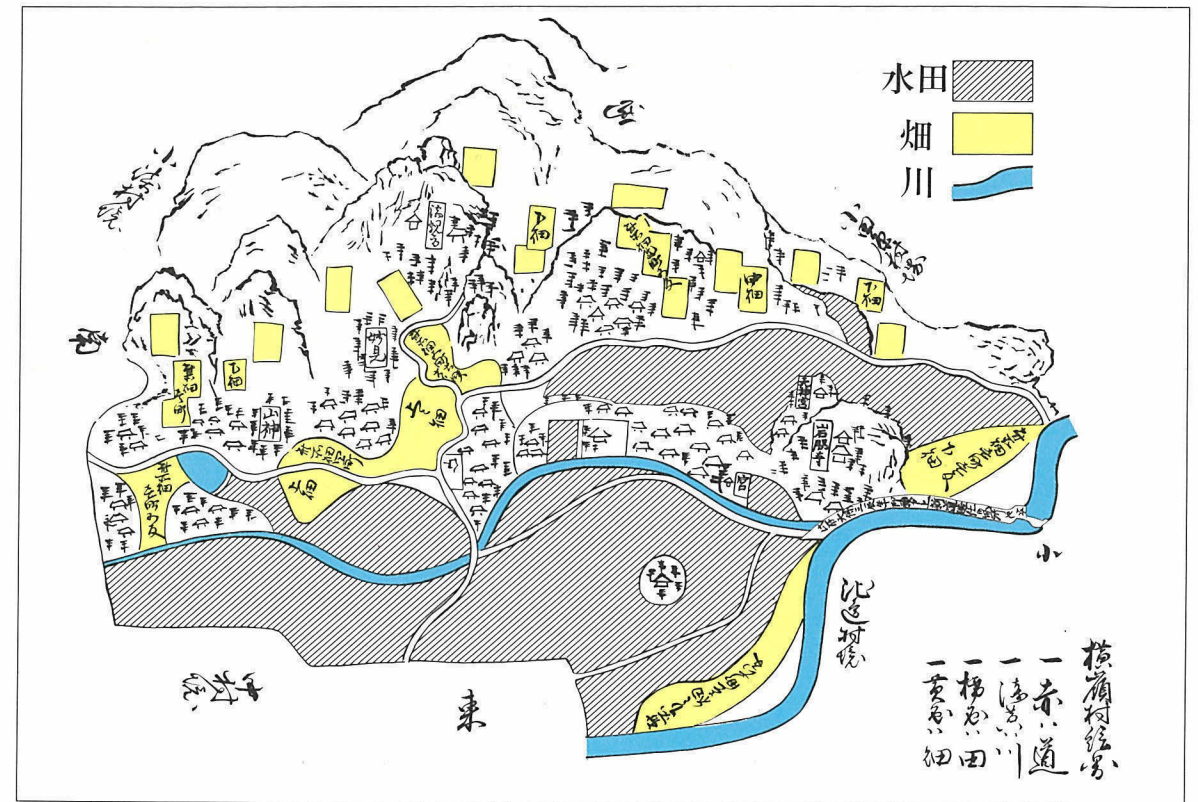
(9) 小字境界図(1:10000)の作成

(7)で作成した各大字毎の $\frac{1}{5000}$ の小字境界図を最後に総てまとめて、 $\frac{1}{10000}$ の地形図に小字界をおとししていく。各小字には、小字名と共に小字の通し番号をしるす。ここに、田染荘全域の小字境界図が1枚になり、完成したわけである。

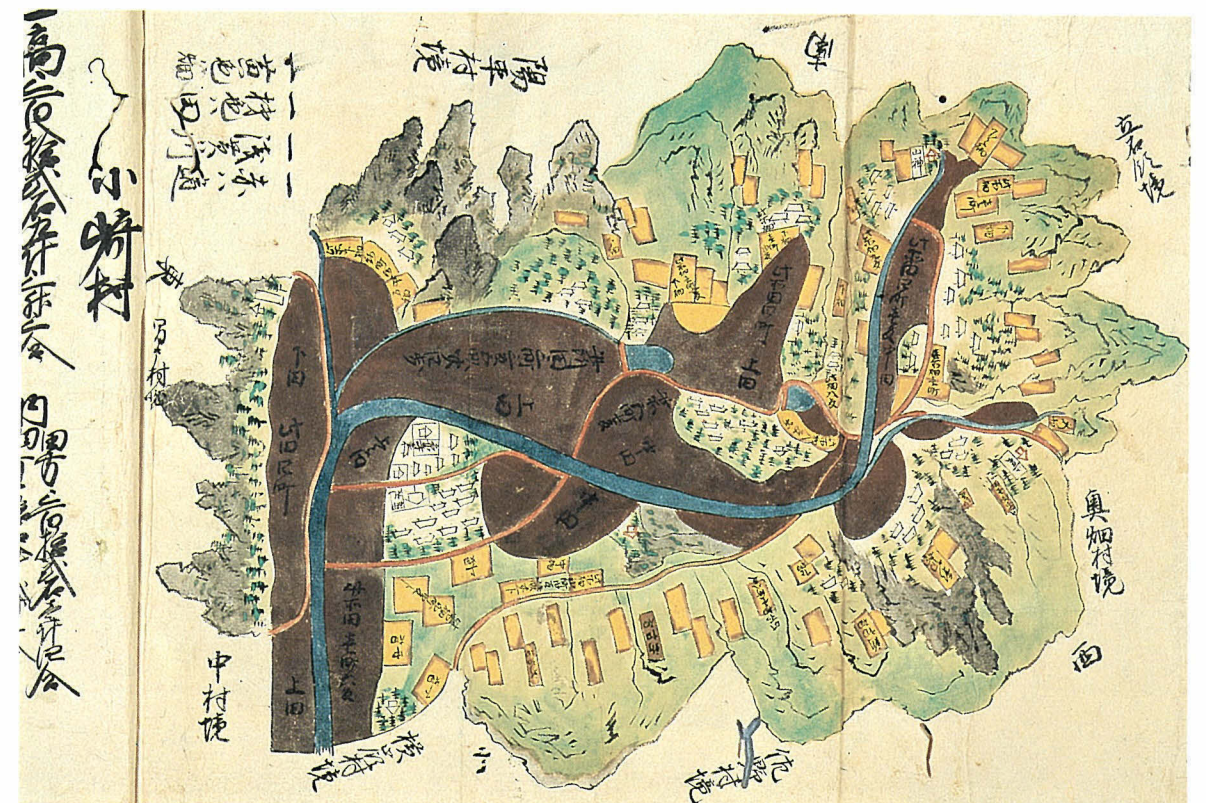
以上が明治21年の土地利用図と小字境界図作成過程である。完成した地図が明治21年の様子を伝えている。

日々急速なスピードで景観は変化している。圃場整備の影響はもちろんのこと、土地利用図を作ってみてその変化のはげしさに驚く。土地利用の変化は小字界にも少なからぬ影響を与える。例えば、相原にある田染中学校は小石原と流田という2つの小字上に建てられており、今ではその2つの境界線はわからなくなっている。このような場合、現地の古老から聞き取り調査を行なう必要があることをつけ加えておく。

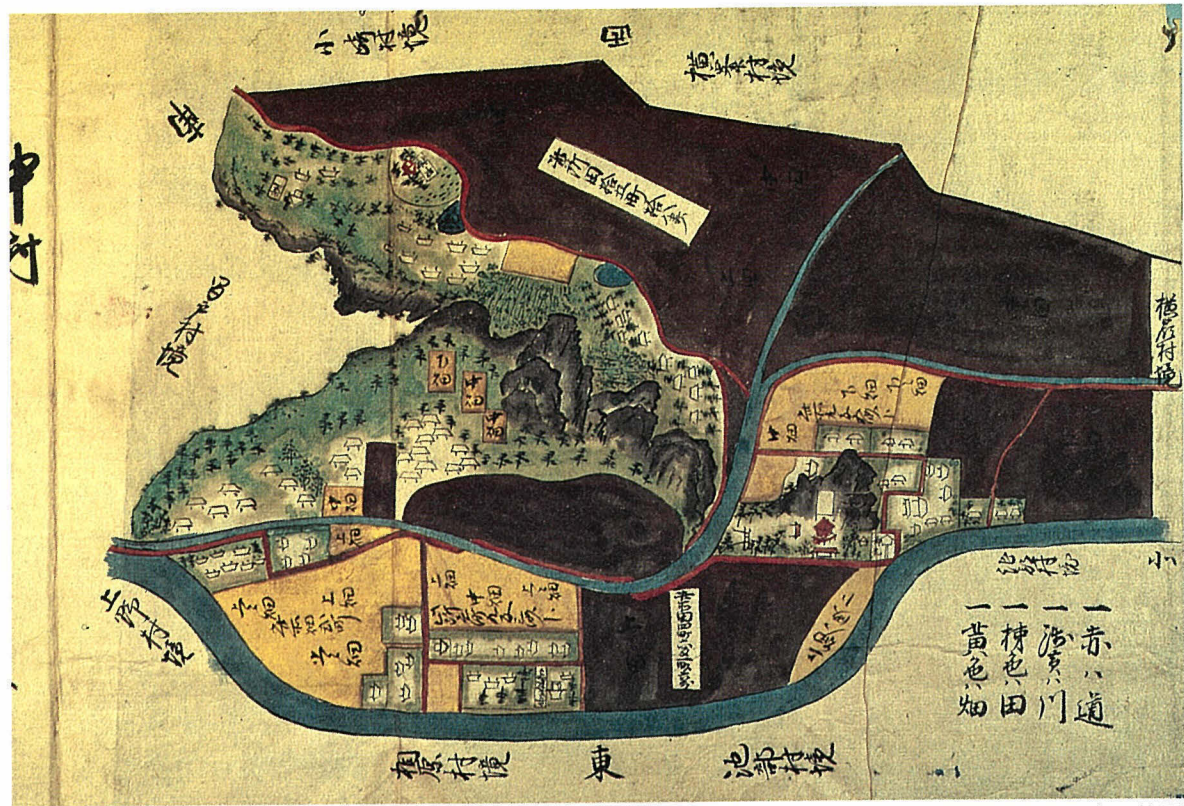
(附) 豊後国田染組村々絵図



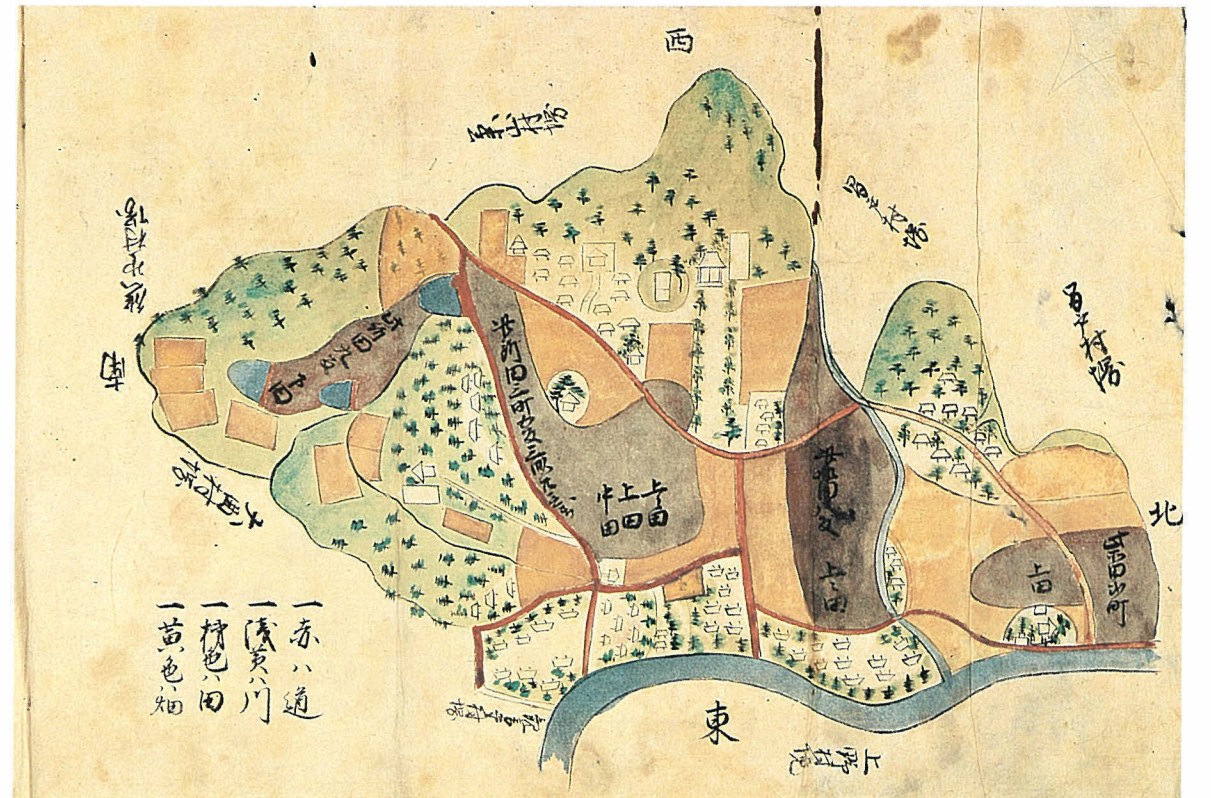
1 豊後国田染組横瀬村絵図 (トレース)



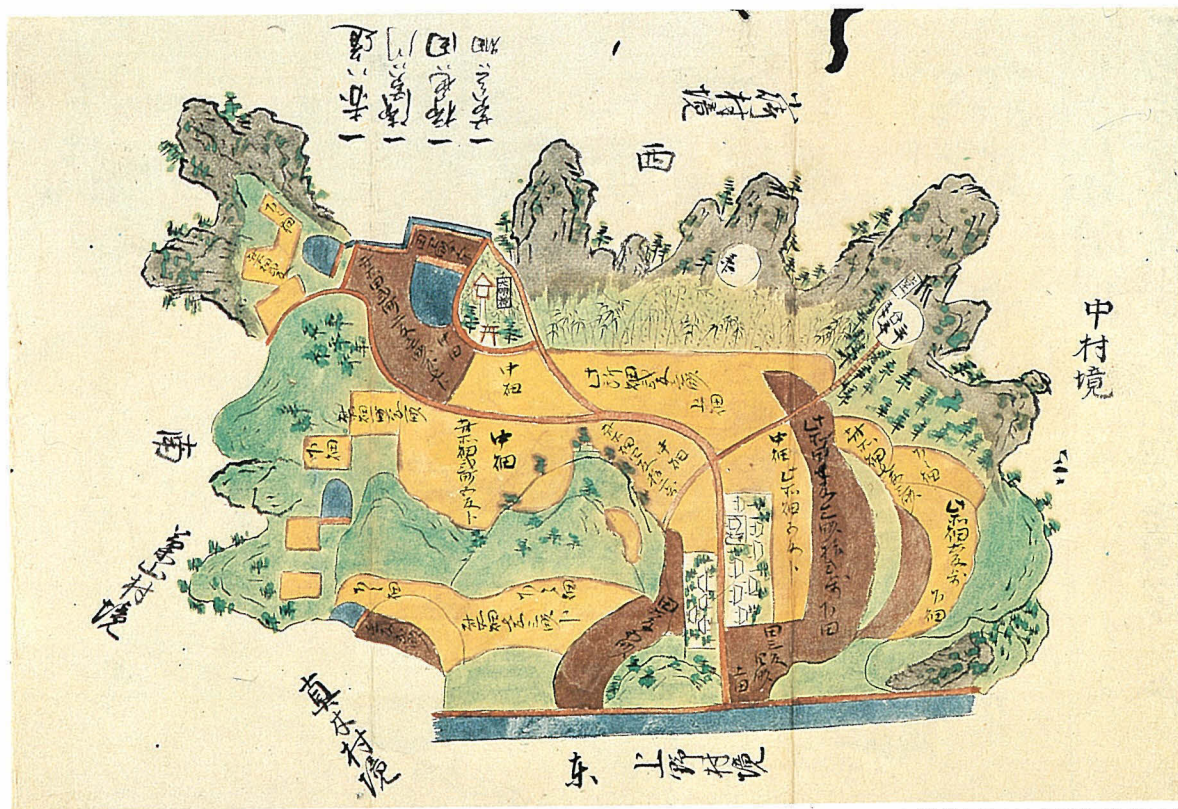
2 豊後国田染組小崎村絵図



3 豊後国田染組中村絵図



5 豊後国田染組真木村絵図



4 豊後国田染組間戸村絵図



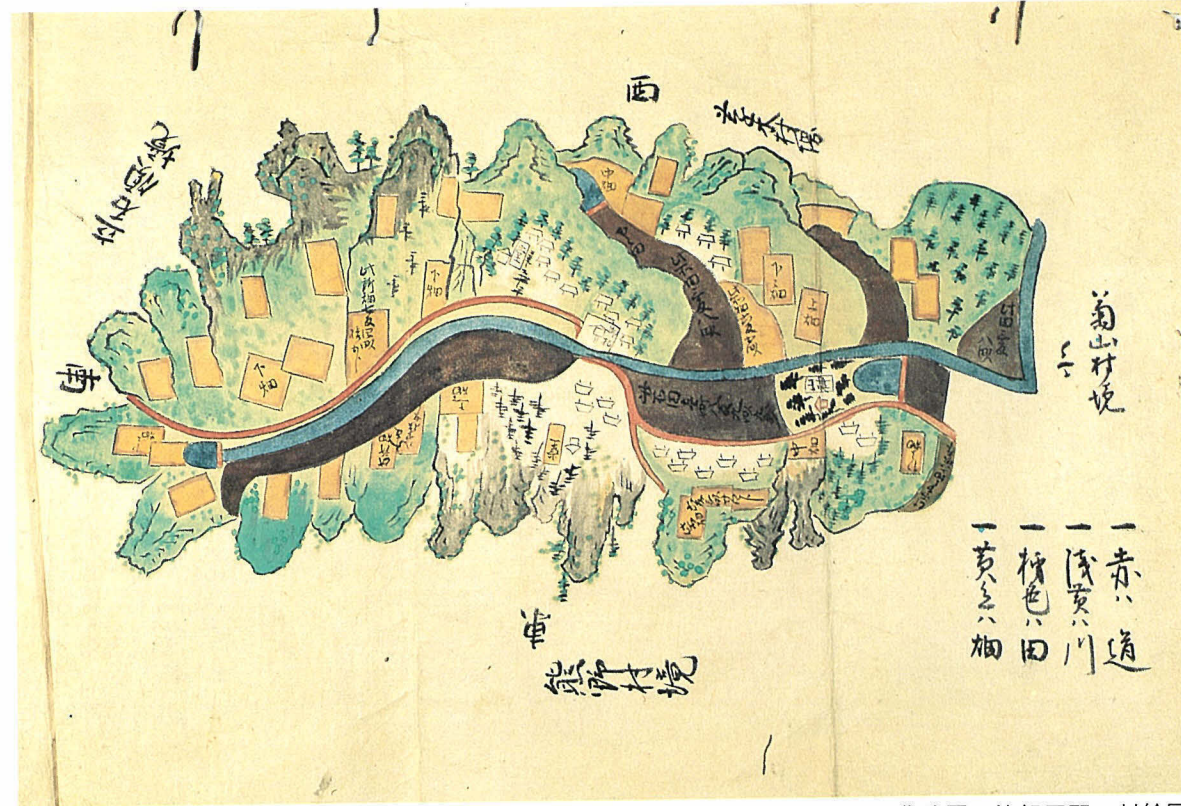
6 豊後国田染組陽平村絵図



7 豊後国田染組菌木村絵図



9 豊後国田染組熊野村絵図



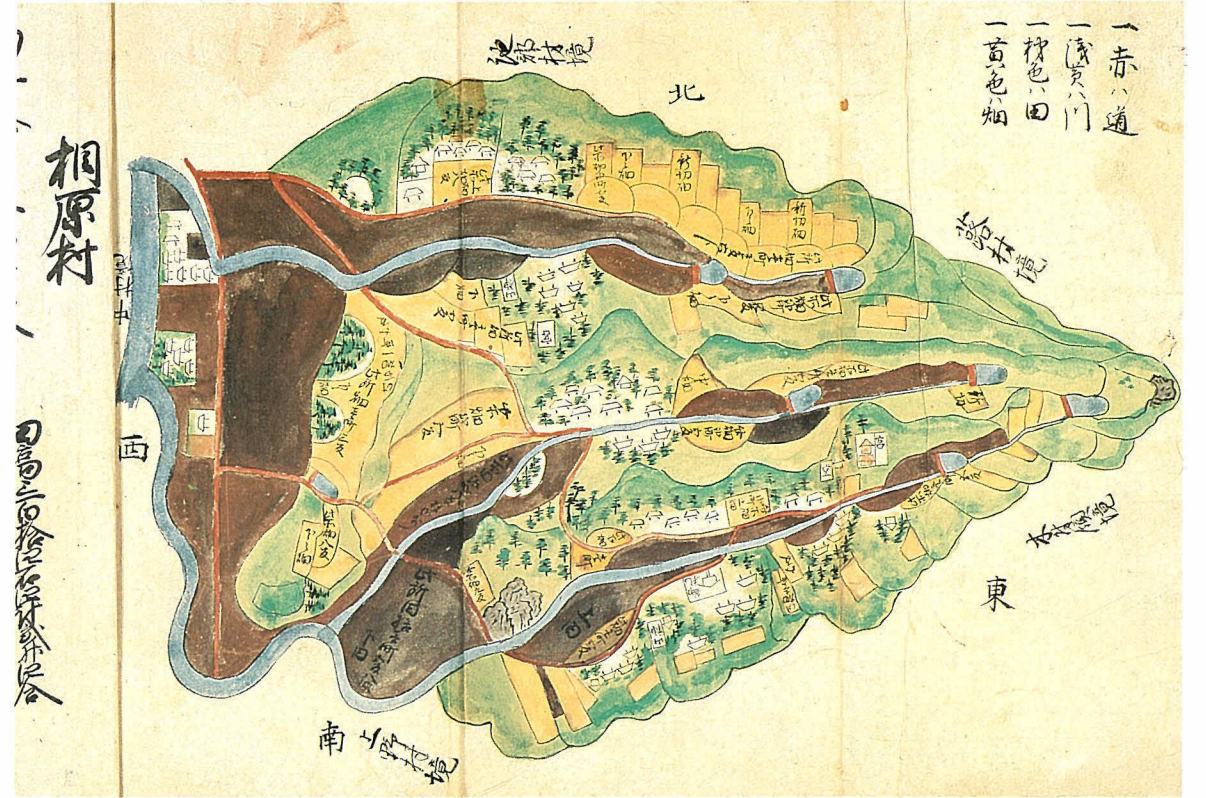
8 豊後国田染組田野口村絵図



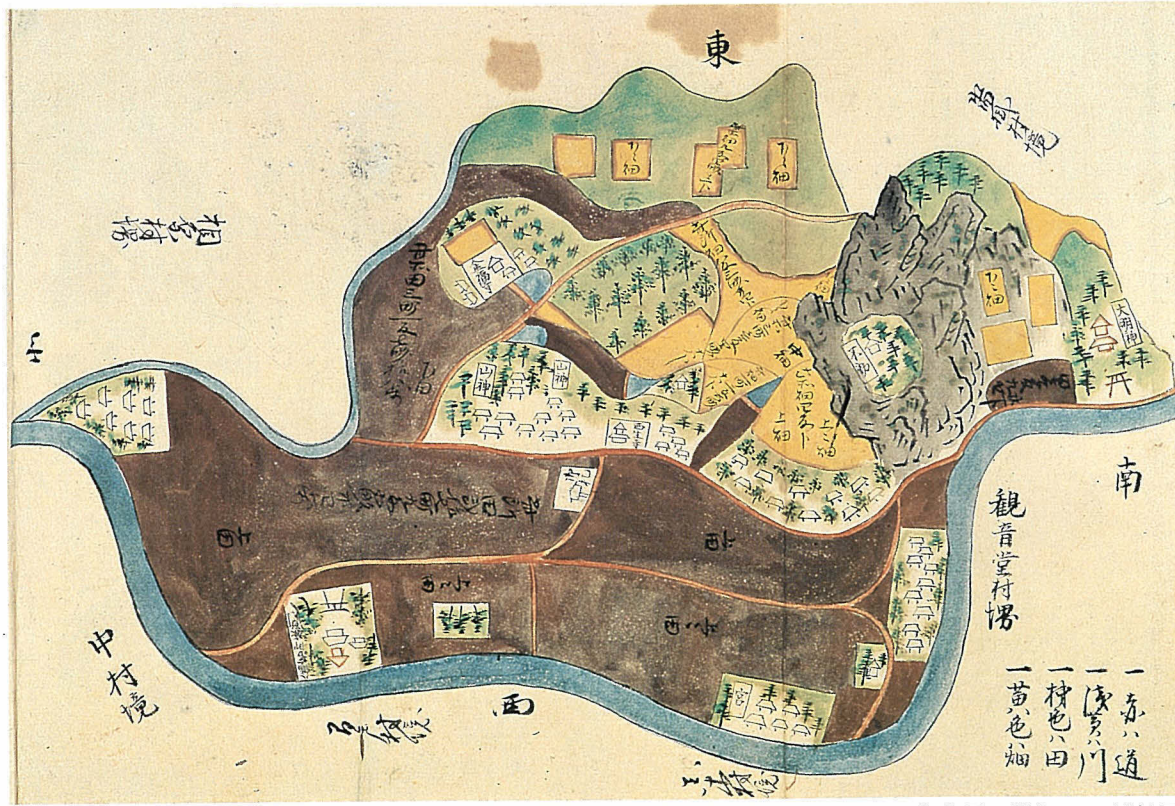
10 豊後国田染組大曲村絵図



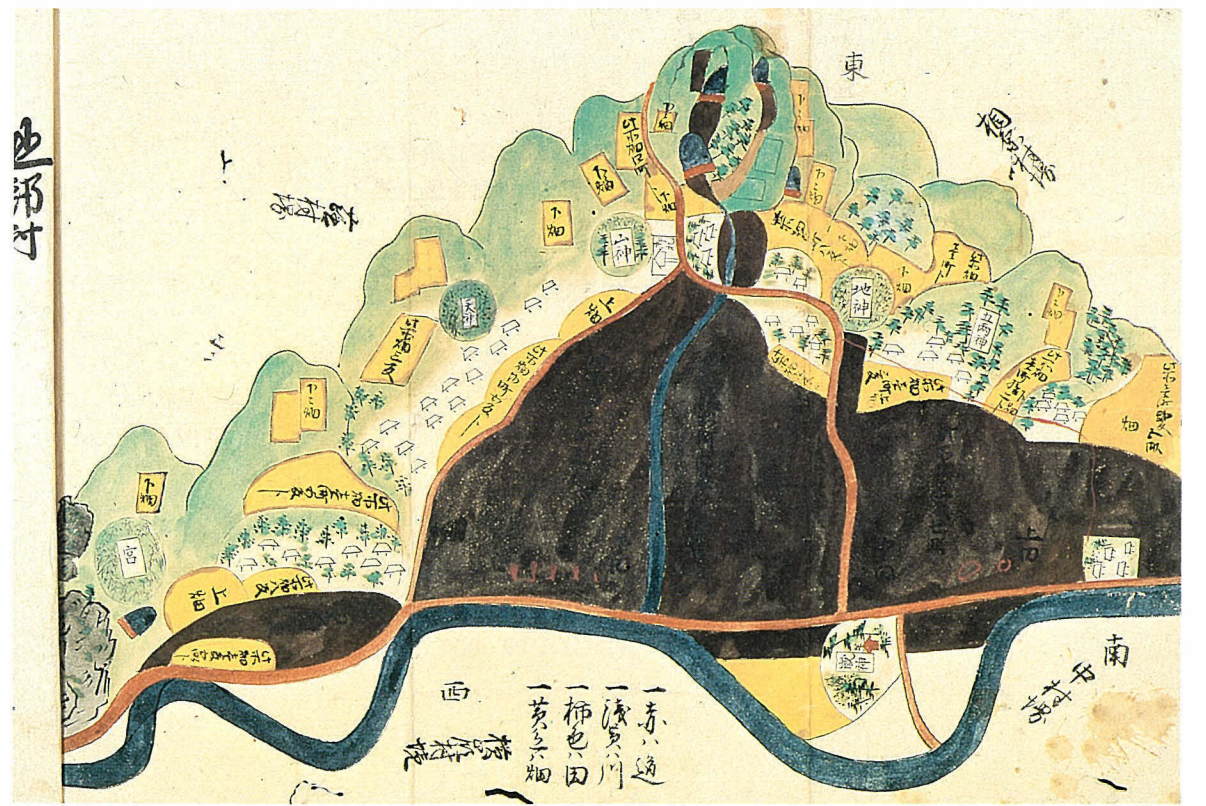
11豊後国田染組観音堂村絵図



13豊後国田染組相原村絵図



12豊後国田染組上野村絵図



14豊後国田染組池部村絵図

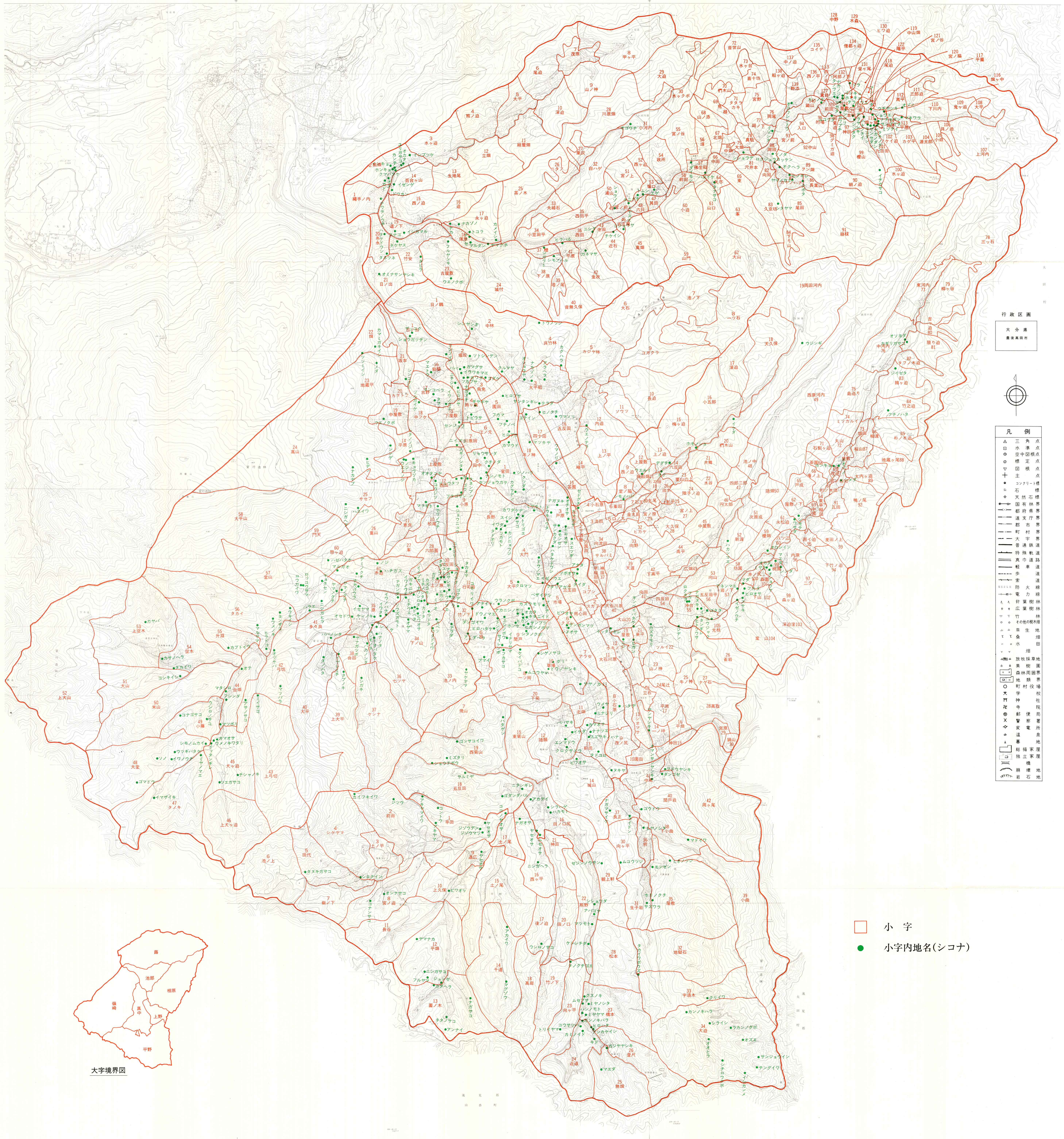
大分県立宇佐風土記の丘
歴史民俗資料館 報告書第6集

豊後國田染荘の調査II

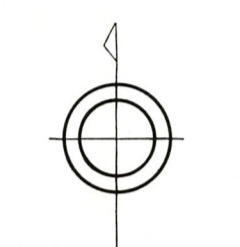
発行日 昭和62年3月31日

発行 大分県立宇佐風土記の丘
歴史民俗資料館
宇佐市大字高森字京塚 〒872-01
Tel 0978(37)2100

印刷 合資会社 興栄社
大分県別府市富士見町10-20 〒874
Tel 0977(21)4111



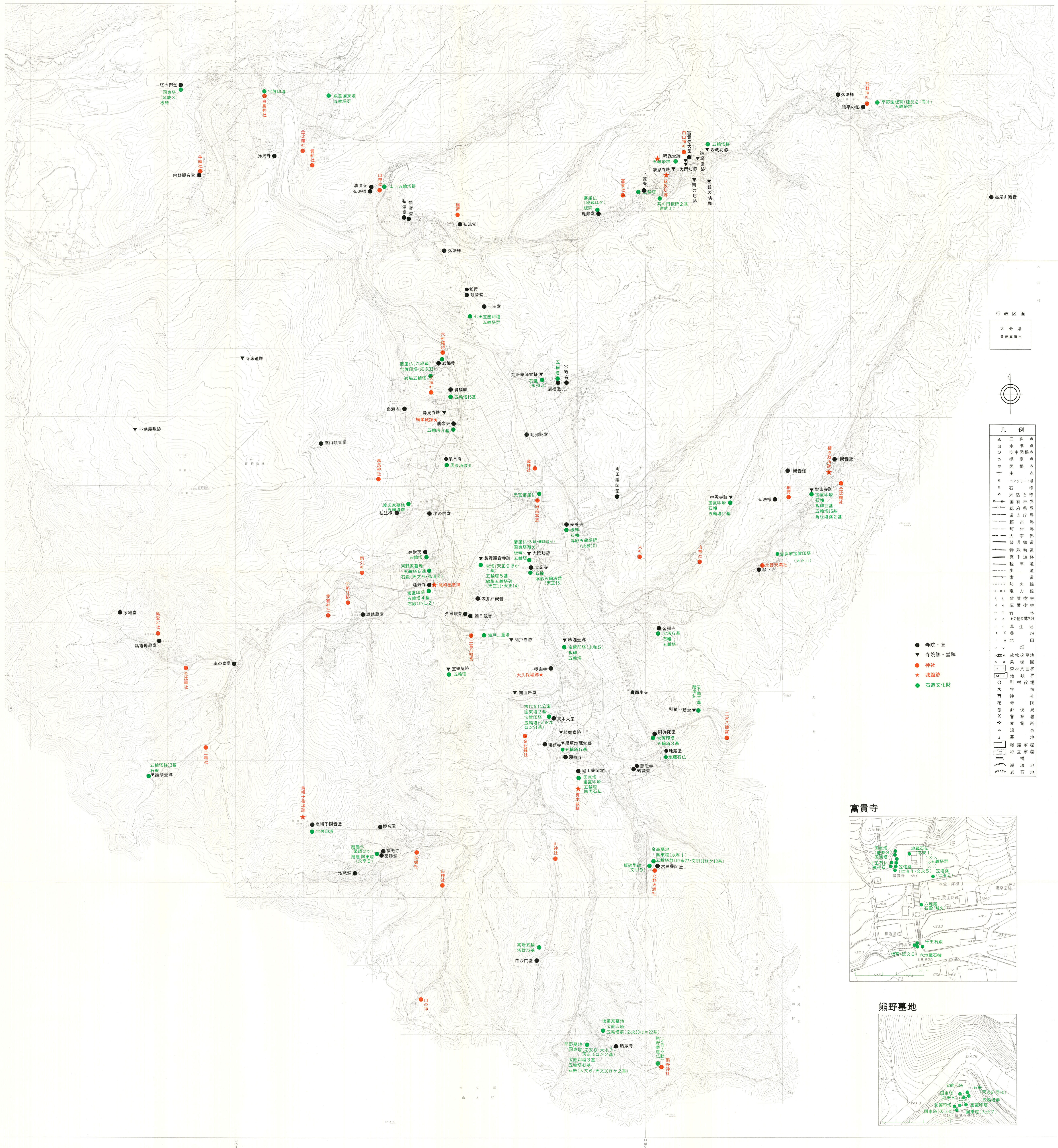
行政区画
大分県
豊後高田市



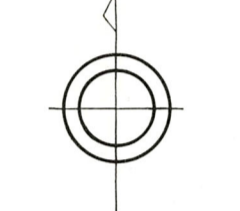
- 凡例
- △ 三角点
 - 水準点
 - 空中根拠点
 - 地籍点
 - ⊙ 主点
 - ⊕ 十字
 - 三角点
 - 石
 - ◆ 天然石
 - ◆ 国有林界
 - ◆ 都府県界
 - ◆ 道支庁界
 - ◆ 市界
 - ◆ 町界
 - ◆ 村界
 - ◆ 大字界
 - ◆ 普通鉄道
 - ◆ 特殊軌道
 - ◆ 真中道路
 - ◆ 軽便道
 - ◆ 歩道
 - ◆ 雲
 - ◆ 防火線
 - ◆ 電力線
 - ◆ 針葉樹林
 - ◆ 広葉樹林
 - ◆ その他樹木
 - ◆ 草地
 - ◆ 森林
 - ◆ 畑
 - ◆ 牧草地
 - ◆ 森林園
 - ◆ 森林園
 - ◆ 地籍界
 - 町役場
 - 学校
 - 神社
 - 寺院
 - 郵便局
 - 警察署
 - 安電所
 - 温泉
 - 松尾家屋
 - 独立家屋
 - 崖
 - 崩落

□ 小字
● 小字内地名(シコナ)



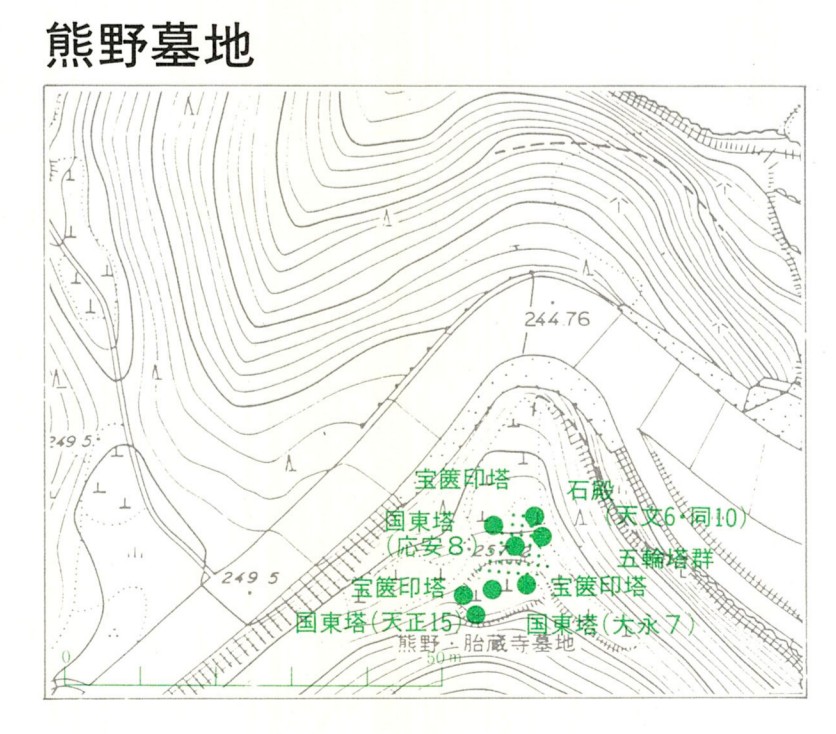
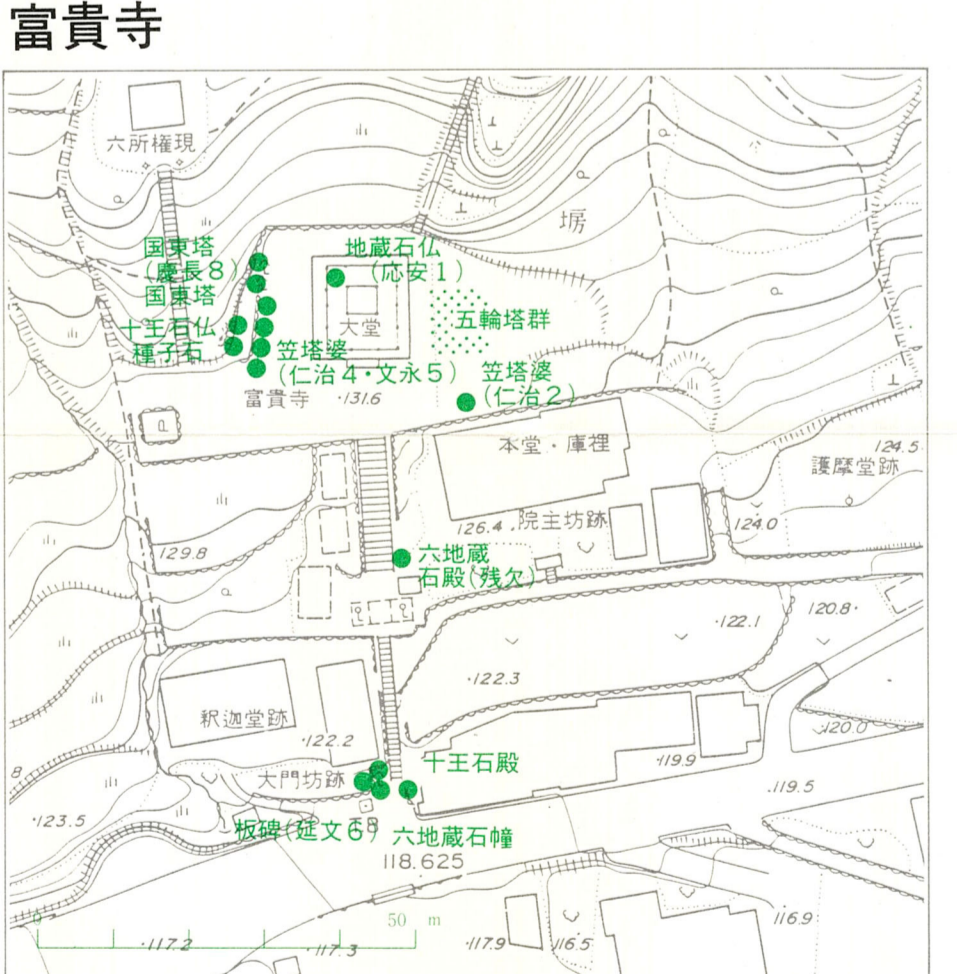


行政区域
大分県
豊後高田市

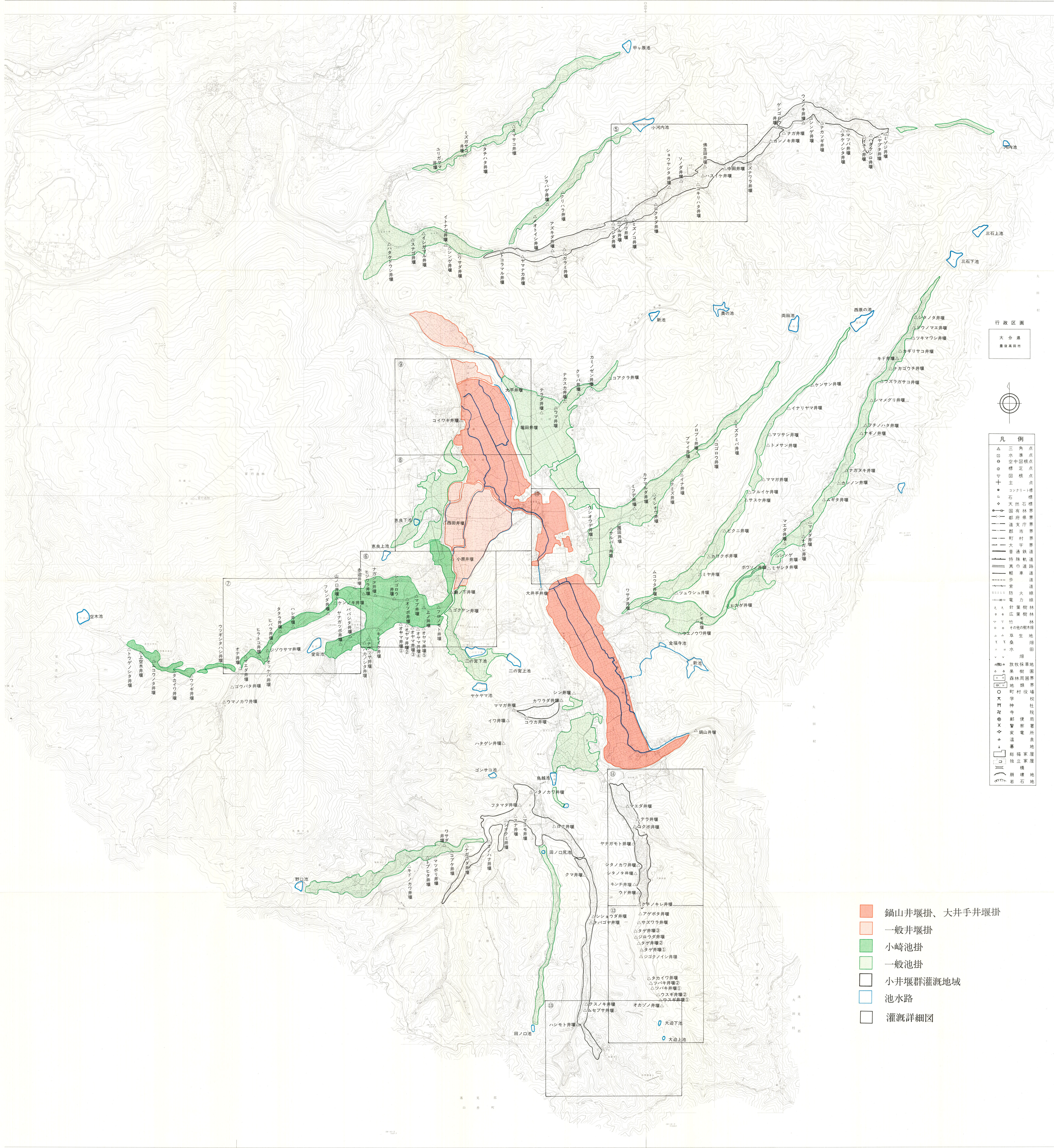


凡例

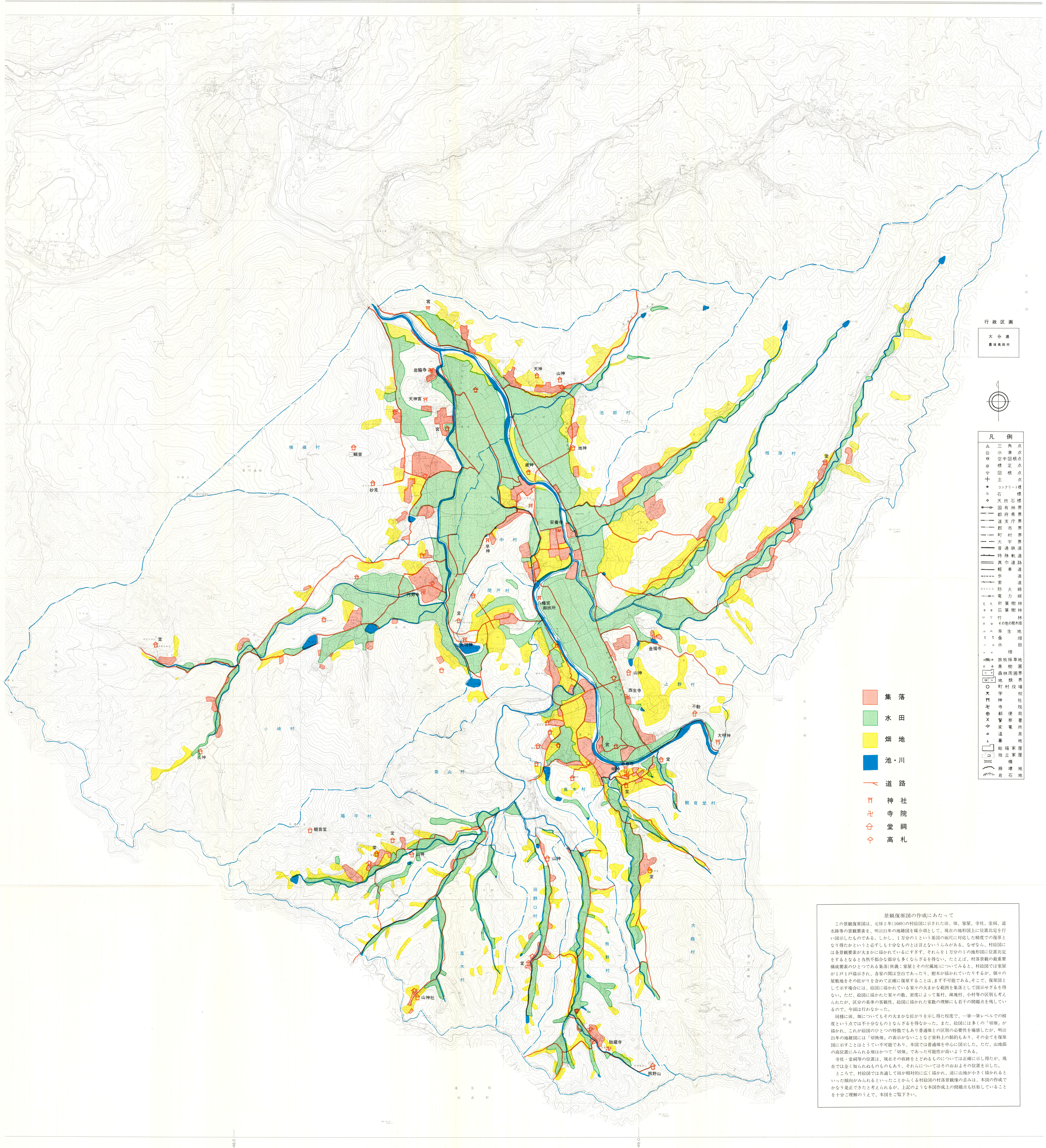
△	三角点
○	水準点
○	空中図根点
○	標定点
○	根点
○	主
○	五ツツリ
○	天然石橋
○	国有林界
○	都府林界
○	道支庁界
○	郡市界
○	町村界
○	大字界
○	普通鉄道
○	特殊鉄道
○	真中道路
○	幹線道路
○	歩道
○	雲道
○	防火線
○	電力線
○	針葉樹林
○	広葉樹林
○	その他樹林
○	草地
○	田
○	畑
○	放牧草地
○	果樹園
○	森林境界
○	町界
○	村界
○	学校
○	神社
○	寺院
○	郵便局
○	警察署
○	変電所
○	温泉
○	築地
○	独立家屋
○	築地
○	石



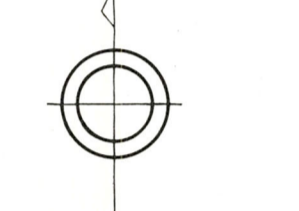
田染地域灌漑概況図



村落景観復原図(元禄2年村絵図による)



行政区画
大分県
豊後高田市



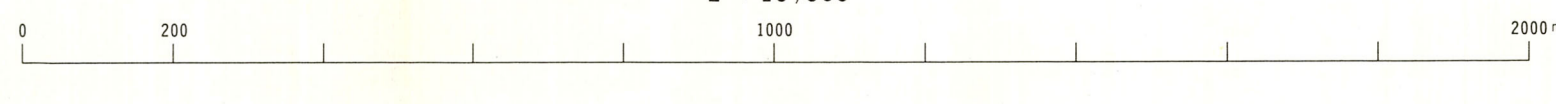
- 凡例
- △ 三角点
 - 水準点
 - ◎ 空中根点
 - ⊙ 橋頭点
 - ① 三ノ角点
 - ⊕ 十字点
 - コントロール点
 - ◇ 天然石標
 - ◆ 国有林界標
 - ◎ 都府県界標
 - ◎ 支庁界標
 - ◎ 市界標
 - ◎ 町村界標
 - ◎ 大字界標
 - ◎ 普通鉄道
 - ◎ 特殊鉄道
 - ◎ 真中鉄道
 - ◎ 軽便鉄道
 - ◎ 歩道
 - ◎ 雲
 - ◎ 防火線
 - ◎ 電力線
 - ▲ 針葉樹林
 - △ 広葉樹林
 - 竹
 - その他の樹木
 - 草生地
 - 桑田
 - 水
 - 池
 - 牧草採草地
 - 森林園地
 - 地籍界
 - 町役場
 - 学校
 - 神社
 - 寺院
 - 郵便局
 - 警察署
 - 温泉
 - 崖
 - 崖地
 - 崖地
 - 崖地

- 集落
- 水田
- 畑地
- 池・川
- 道路
- ⊙ 神社
- ⊙ 寺院
- ⊙ 堂
- ⊙ 祠
- ⊙ 高札

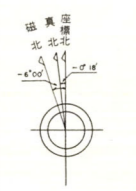
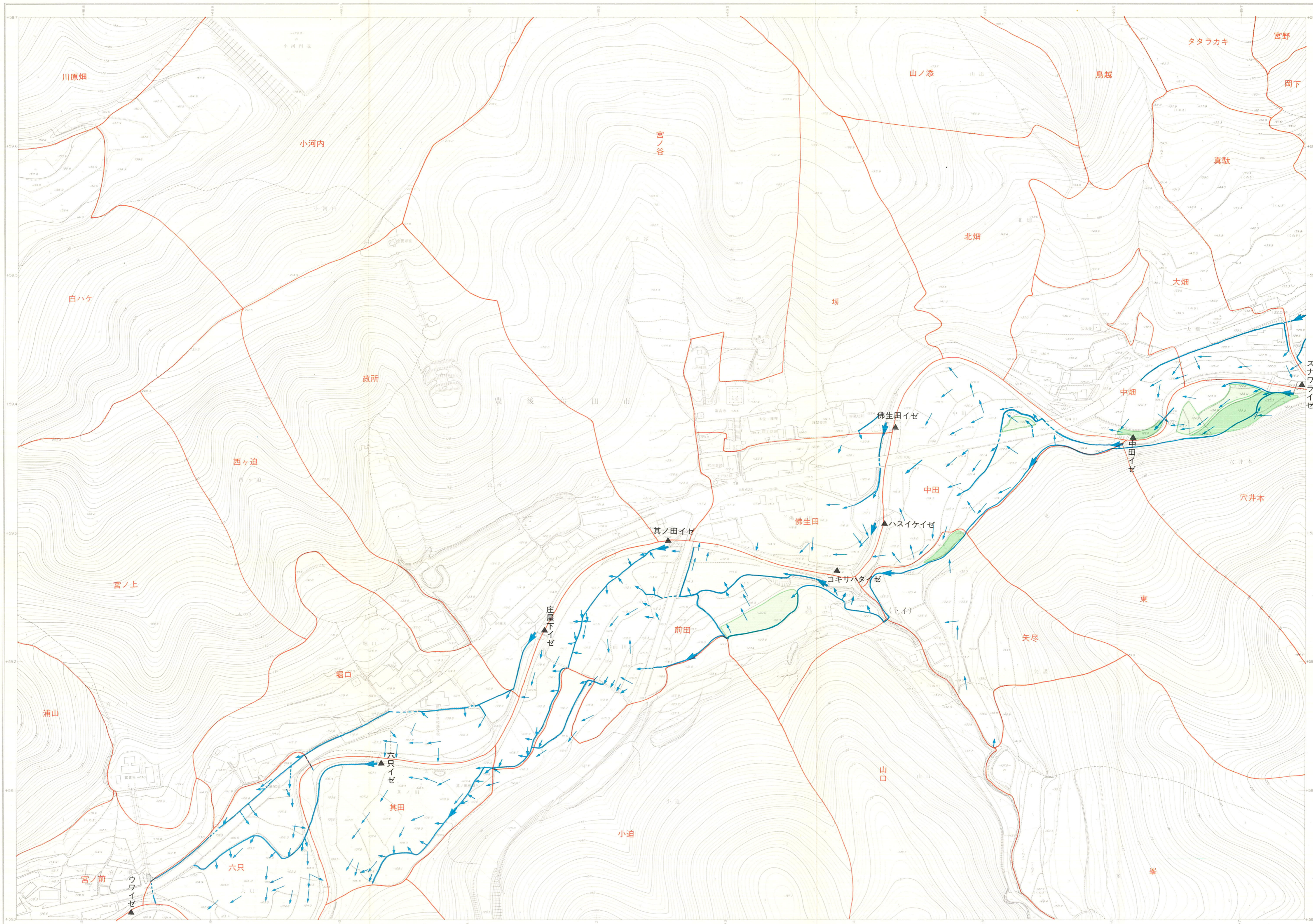
景観復原図の作成にあたって
この景観復原図は、元禄2年(1689)の村絵図に示された田、畑、家屋、神社、堂祠、道水路等の景観要素を、明治21年の地籍図を媒介項として、現在の地形図上に位置比定を行い図示したものである。しかし、1万分の1という基図の縮尺に比して位置比定精度での復原となり得たかという点必ずしも十分なものは言えない。なぜなら、村絵図には各景観要素が大量に描かれてはいるが、それらを1万分の1の地形図上に位置比定をするとなると当然不都合な部分も多くなる。たとえば、村落景観の最重要構成要素のひとつである家屋(狭義：家屋とその付属地)についてみると、村絵図では家屋が1戸1戸描かれ、各家の間は空白であったり、樹木が描かれていたりするが、個々の屋敷地をその縮尺を含めて正確に復原することは、まず不可能である。そこで、復原図として示す場合には、絵図に描かれている家々の大まかな範囲を村落として図示せざるを得ない。また、絵図に描かれた家々の数、密度によって集落、疎塊村、小村等の区別も考えられたが、区分の基準の客観性、絵図に描かれた家数の理解にも若干の問題点を残している。今回は行わなかった。

同様に田、畑についてもその大まかな縮尺を示し得た程度で、一律一律レベルでの精度という点では十分なものは得られなかった。また、絵図には多くの「切畑」が描かれ、これが絵図のひとつの特徴でもあり普通田との区別の必要性を痛感したが、明治21年の地籍図には「切換地」の表示がないことなど資料上の制約もあり、その全てを復原図に示すことはとて不可能であり、本図では普通畑を中心に図示した。また、山地部の高位置にみられる畑はかつて「切畑」であった可能性が高い。また、山地部の高位置にみられる畑はかつて「切畑」であった可能性が高い。また、山地部の高位置にみられる畑はかつて「切畑」であった可能性が高い。

神社・堂祠等の位置は、現在の縮尺をとめるものについては正確に示し得たが、現在では全く知らぬものもあり、それらについてはそのおおよその位置を示した。とて、村絵図では共通して田が相対的に広く描かれ、逆に山地が小さく描かれるといった傾向がみられることからの村絵図の村落景観の読み、本図の作成でかなり最近だと考えられるが、上記のような本図作成上の問題点を指摘していることを十分ご理解のうえで、本図をご覧下さい。



落地区灌漑詳細図



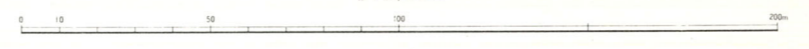
- 記号
- 境界
 - 境界
 - △ 境界
 - ▽ 境界
 - ◇ 境界
 - 境界
 - △ 境界
 - ▽ 境界
 - ◇ 境界
 - 境界
 - △ 境界
 - ▽ 境界
 - ◇ 境界
 - 境界
 - △ 境界
 - ▽ 境界
 - ◇ 境界
 - 境界
 - △ 境界
 - ▽ 境界
 - ◇ 境界

アジア航測株式会社調製

大分県宇佐郡土記の丘原町民俗資料館

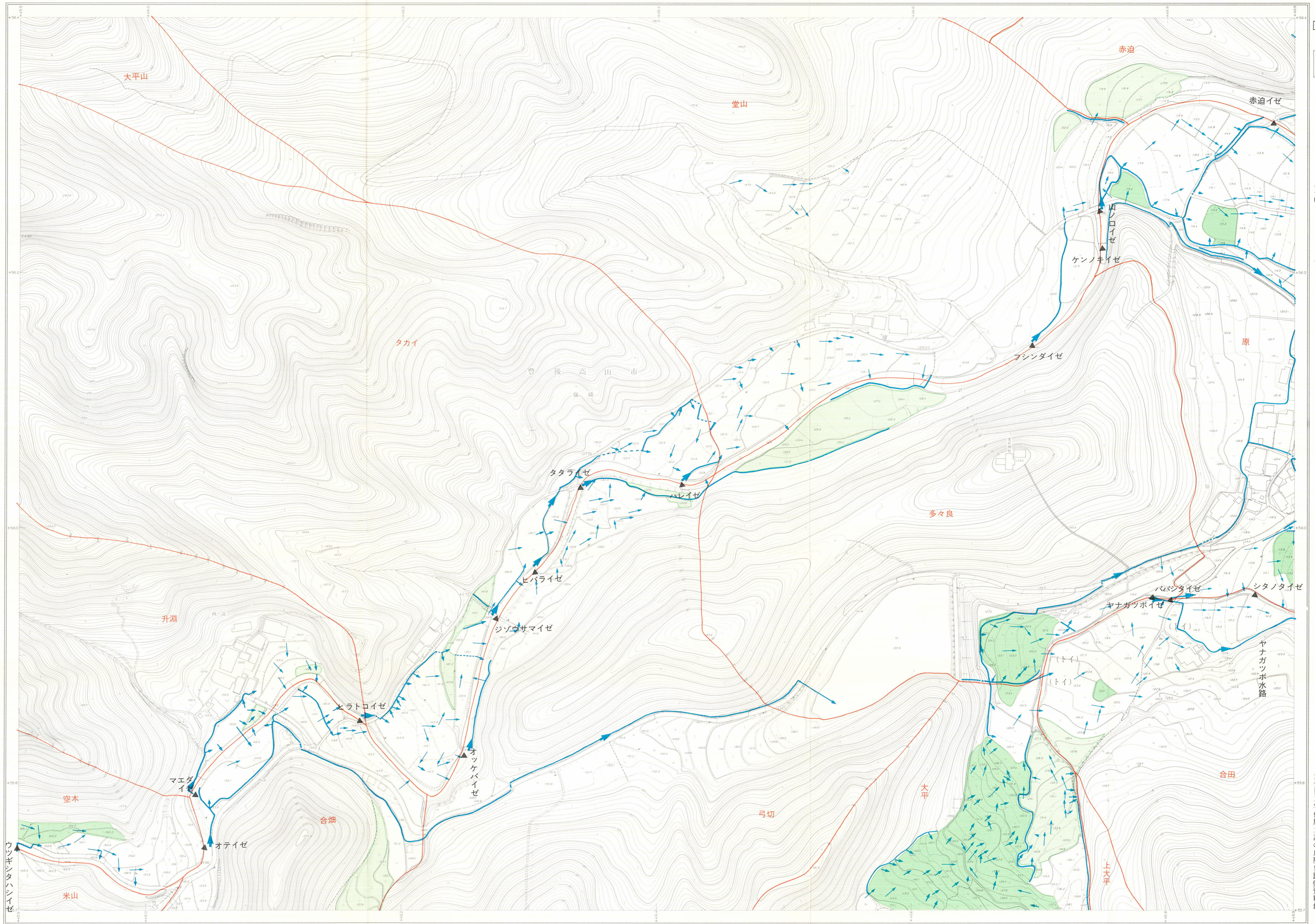
測量 昭和 60 年 8 月
 編纂 昭和 60 年 9 月
 オートグラフィ A7、ステレオプロッター A8 等高級機器 1/4

1:2,000



凡例
 強湿田
 湿田
 水路

嶺崎地区灌漑詳細図(其ノ二)



行政区画
 大分県
 豊後高田市

記号
 点
 線
 面

凡例
 強湿田
 湿田
 水路

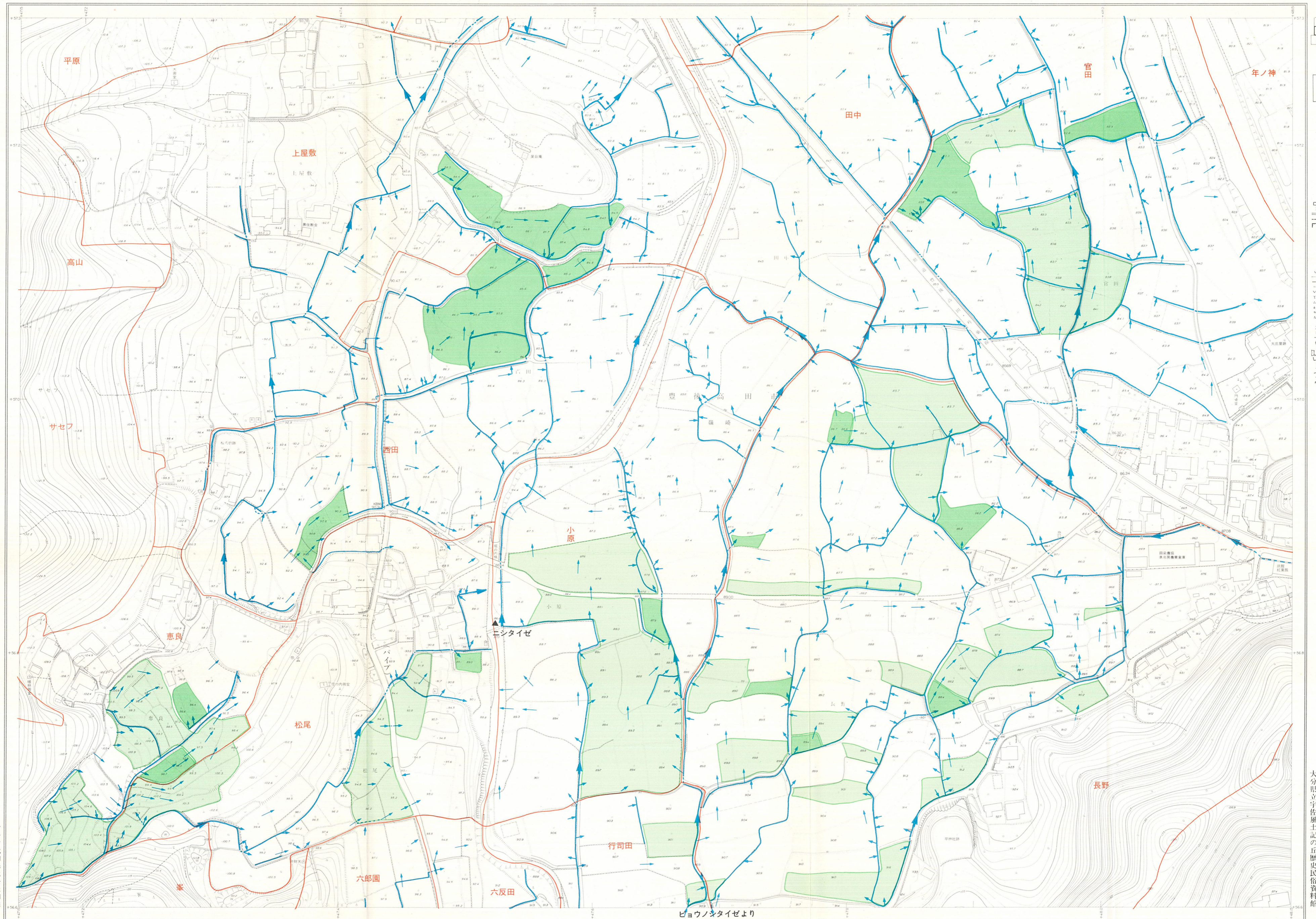
アジア航測株式会社調製

縮尺 昭和58年3月
 製図 昭和58年6月 オートグラフA7、ステレオプロッターA8 豊後高田市

1:2,000
 0 10 20 30 40 50 100 200

大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館

嶺崎地区灌漑詳細図(其ノ三)



行政区画
 大分県
 豊後高田市

記号
 市道
 町道
 村道
 河川
 水路
 田舎
 畑
 雑木林
 雑草
 雑樹林
 雑草
 雑樹林

アジア航測株式会社調製

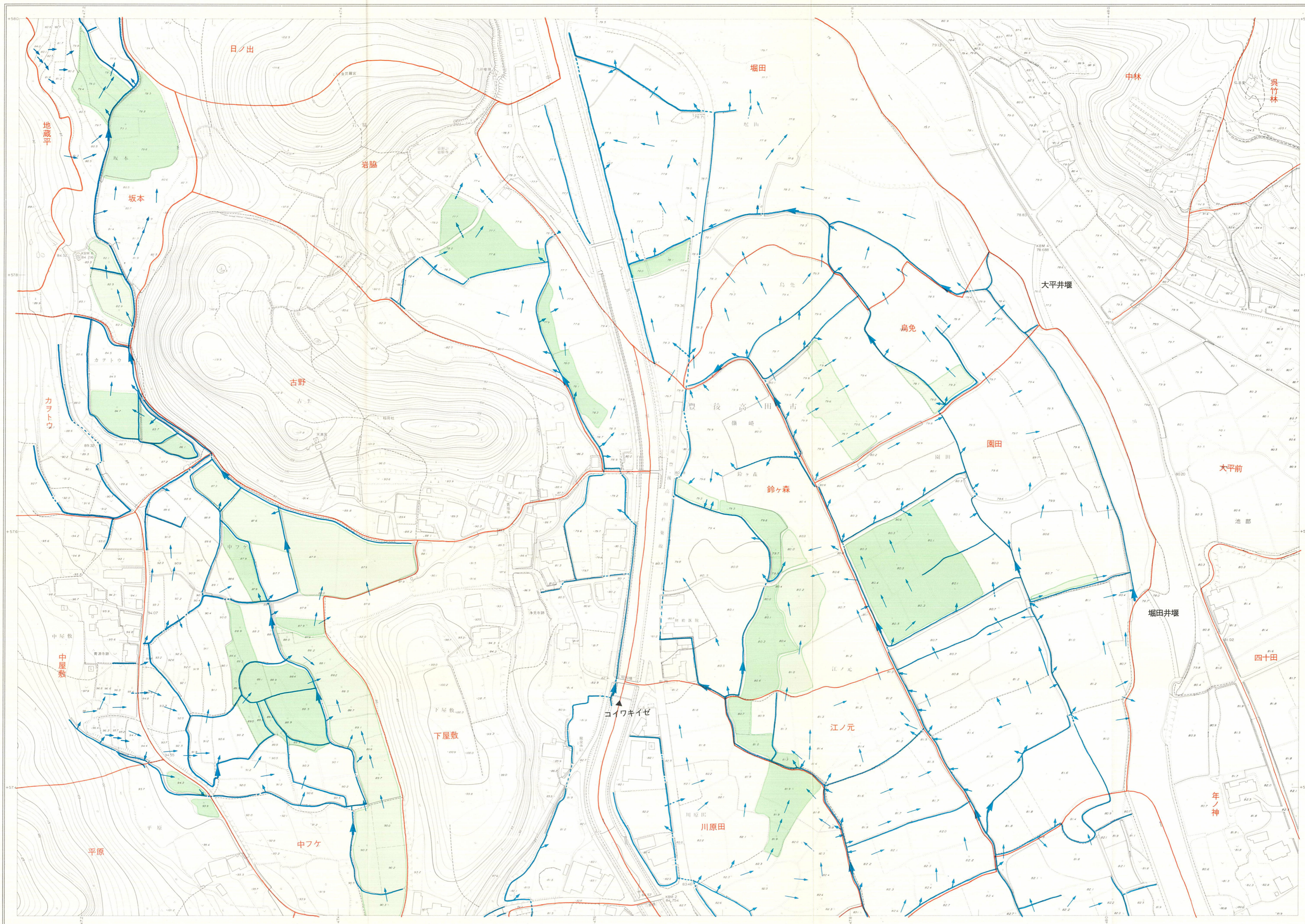
撮影 昭和58年7月
 測図 昭和58年7月 オートグラフA7、ステレオプロッターA8 標高誤差1m

1:2,000
 0 10 20 30 40 50 100 200

凡例
 強灌田 (Dark Green)
 灌田 (Light Green)
 水路 (Blue line with arrow)

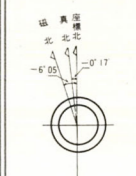
大分県宇佐風土記の丘歴史民俗資料館

嶺崎地区灌漑詳細図(其ノ四)



4
3

行政区画
大分県
豊後高田市



記号

- 高田
- 中屋敷
- △ 下屋敷
- ◇ 川原田
- ▽ 江ノ元
- ◇ 鈴ヶ森
- ◇ 園田
- ◇ 大平井堰
- ◇ 堀田
- ◇ 堀田井堰
- ◇ 中林
- ◇ 呉竹林
- ◇ 年ノ神
- ◇ 大平前
- ◇ 池部
- ◇ 四十田
- ◇ 古野
- ◇ 坂本
- ◇ 岩脇
- ◇ 日出
- ◇ 平原
- ◇ 中フケ
- ◇ 中屋敷
- ◇ 下屋敷
- ◇ 川原田
- ◇ 江ノ元
- ◇ 鈴ヶ森
- ◇ 園田
- ◇ 大平井堰
- ◇ 堀田
- ◇ 堀田井堰
- ◇ 中林
- ◇ 呉竹林
- ◇ 年ノ神
- ◇ 大平前
- ◇ 池部
- ◇ 四十田
- ◇ 古野
- ◇ 坂本
- ◇ 岩脇
- ◇ 日出
- ◇ 平原
- ◇ 中フケ
- ◇ 中屋敷
- ◇ 下屋敷
- ◇ 川原田
- ◇ 江ノ元
- ◇ 鈴ヶ森
- ◇ 園田
- ◇ 大平井堰
- ◇ 堀田
- ◇ 堀田井堰
- ◇ 中林
- ◇ 呉竹林
- ◇ 年ノ神
- ◇ 大平前
- ◇ 池部
- ◇ 四十田

大分県立佐風主記の丘歴史民俗資料館

アジア航測株式会社調製

撮影 昭和59年7月
測量 昭和59年7月 オートグラフA7、ステレオプロッターA1 等高線間隔 1m

1:2,000
0 10 20 30 40 50 100 200

凡例
強溼田
溼田
水路

